様式２

令和６年度　岡崎城公園及び村積山自然公園(奥殿陣屋)
事業報告書

公の施設名称	岡崎城公園
施設の設置目的、役割	歴史的施設等の保護と市民の観察・観賞のための施設
施設の所在地	岡崎市康生町 561－1
施設規模	敷地面積:10.14ha 施設: (巽閣、葵松庵、城南亭、岡崎城二の丸能楽堂、岡崎城、三河武士のやかた家康館、岡崎城公園駐車場、その他施設) ※その他(売店のうち観光みやげ店、巽閣お休み処)管理
公の施設名称	村積山自然公園(奥殿陣屋)
施設の設置目的、役割	市民の休息及び鑑賞の場所の提供と歴史施設との観察のための施設
施設の所在地	岡崎市奥殿町雑谷下十番地
施設規模	敷地面積:2.4ha 施設: (案内所、書院、金鳳亭、資料展示室、花火資料室、屋外便所、蓬莱の庭、花ぞの苑、駐車場、倉庫、その他施設) ※その他(陣屋の茶屋のうち売店、飲食スペース)管理
指定管理者	名　称　：一般社団法人岡崎パブリックサービス 所在地　：岡崎市朝日町３丁目 17 番地 代表者　：代表理事　天野　徳夫
指定期間	令和６年４月１日　～　令和 11 年３月 31 日

目次

1　岡崎城公園業務 - 4 -
(1)　事業の実施状況 - 4 -
1）　利用者の増加を図るための取り組み - 4 -
2）　利用者サービスの向上について - 5 -
3）　提案事業等利用促進イベント - 7 -
4）　自主事業 - 8 -
(2)　施設の利用状況 - 17 -
1）　利用状況 - 17 -
2）　利用状況に対する自己評価 - 18 -
(3)　収支状況 - 18 -
1）　収支状況 - 18 -
2）　収支状況に対する自己評価 - 18 -
(4)　市民意見の聴取・反映及びセルフモニタリング（利用者アンケート結果） - 19 -
1）　実施概要 - 19 -
2）　アンケート結果概要 - 19 -
3）　アンケートに対する自己評価 - 20 -
(5)　その他の自己評価 - 20 -
1）　利用者へのサービスに対する自己評価 - 20 -
2）　利用者のニーズの把握に対する自己評価 - 21 -
3）　苦情対応等に対する自己評価 - 21 -
2　岡崎城・家康館業務 - 22 -
(1)　事業の実施状況 - 22 -
1）　提案事業等 - 22 -
2）　自主事業 - 30 -
(2)　施設の利用状況 - 30 -
1）　利用状況 - 30 -
2）　利用状況に対する自己評価 - 31 -
(3)　収支状況 - 31 -
1）　収支状況 - 31 -
2）　収支状況に対する自己評価 - 32 -
(4)　市民意見の聴取・反映及びセルフモニタリング（利用者アンケート結果） - 33 -
1）　岡崎城 - 33 -
2）　家康館 - 35 -
(5)　その他の自己評価 - 38 -
1）　利用者へのサービスに対する自己評価 - 38 -
2）　利用者のニーズの把握に対する自己評価（アンケート以外） - 39 -
3）　苦情（要望）対応に対する自己評価 - 39 -
3　観光誘客業務 - 41 -
(1)　事業の実施状況 - 41 -
1）　観光客の誘客及び市内周遊についての取り組み - 41 -
(2)　営業活動 - 54 -
1）　営業活動 - 54 -
(3)　収支状況 - 56 -
1）　収支状況 - 56 -
2）　収支状況に対する自己評価 - 57 -
(4)　市民意見の聴取・反映及びセルフモニタリング（利用者アンケート結果） - 57 -
1）　武将隊認知度アンケート - 57 -

⑸　その他の自己評価 - 57 -
１）　利用者へのサービスに対する自己評価 - 57 -
２）　利用者のニーズの把握に対する自己評価 - 58 -
３）　苦情対応に対する自己評価 - 58 -
4　奥殿陣屋業務 - 59 -
⑴　事業の実施状況 - 59 -
１）　提案事業等 - 59 -
２）　自主事業 - 61 -
３）　その他 - 64 -
⑵　施設の利用状況 - 64 -
１）　利用状況 - 64 -
２）　利用状況に対する自己評価 - 64 -
⑶　収支状況 - 64 -
１）　収支状況 - 64 -
２）　収支に対する自己評価 - 65 -
⑷　市民意見の聴取・反映及びセルフモニタリング（利用者アンケート結果） - 65 -
１）　実施概要 - 65 -
２）　アンケート結果概要 - 65 -
３）　利用者アンケートに対する自己評価 - 67 -
⑸　その他の自己評価 - 67 -
１）　利用者へのサービスに対する自己評価 - 67 -
２）　利用者のニーズ把握に対する自己評価 - 68 -
３）　苦情対応等に対する自己評価 - 68 -

1 岡崎城公園業務

(1) 事業の実施状況

1) 利用者の増加を図るための取り組み

奥殿陣屋との連携事業	事業名	奥殿陣屋との相互割引		
	開催期間	通年		
	概要	お互いの施設に訪れた利用者が施設間を回遊しやすくなる仕組みを構築し、利用者の利便性を向上することで利用促進を図る。		
	自己評価	岡崎城、三河武士のやかた家康館、城南亭で実施しました。奥殿陣屋とは距離があり、利用者の増加は容易ではありませんが、2 つの施設を紹介し、利用していただくきっかけとして引き続き実施していきます。		
	事業名	城南亭立礼席に玄々斎宗室紹介パネルを設置		
	開催期間	通年		
	概要	立礼席を考案した奥殿藩出身の茶道家、玄々斎宗室を紹介するパネルを作成し、立礼席に設置することで、岡崎出身の偉人を紹介し相互の利用向上を図る。		
	自己評価	玄々斎宗室は立礼席を考案した人物として、茶道会ではその功績をたたえられています。その立礼席を見立てた城南亭では立礼席の名前に恥じないよう、お客様をもてなす心を大切に接客しました。玄々斎宗室を紹介することは奥殿陣屋を紹介することにも繋がるため、引き続きパネルを設置していきます。		
有料公園施設や園内を活用した事業の実施	事業名	第 14 回岡崎五万石のつどい	利用施設	二の丸能楽堂
	開催日時	4 月 6 日(土)10 時 30 分～15 時	参加者数	70 人
	概要	岡崎に古くから唄われる民謡「正調岡崎五万石」を唄い、桜まつりを楽しむ。		
	自己評価	《来場者の声》 ・能楽堂の雰囲気に合っていて、生演奏が良かった。 ・普段見ることのできない場所を見学できて良かった。 ・このような催事が行われていることを知らなかった。発表のできる場所があるのは良い。 ・若い人が唄っていたので、初めて覗いてみた。 《自己評価》 今年度初めて演目に取り入れた「えびすくい音頭」では三味線、太鼓、摺鉦(すりがね)の生演奏と生歌を披露しました。渡辺傳次郎先生から民謡の良さや岡崎五万石の唄い方を観客に向けて説明していただき、初めて観覧したお客様にも伝統芸能を身近に感じることのできるイベントとなりました。桜も満開で多くの来園者にご覧いただけました。		
	事業名	K★STAR Dance Studio ダンスショー	利用施設	二の丸能楽堂
	開催日時	4 月 14 日(日)13 時～14 時	参加者数	230 人
	概要	ダンススクールによる日ごろの成果の発表を兼ねたダンスショー。		
	自己評価	《来場者の声》 ・様々な年齢の方々が一緒に踊っていて、自然に笑顔になった。 ・一生懸命な姿が良かった。 ・二の丸能楽堂の雰囲気に合っていて良い。 ・元気の出る楽曲と踊りが励みになる。 《自己評価》 開演前に園内放送や出演者による呼び込みを実施し、多くの観客がありました。アンケートでは、能楽堂の雰囲気と合っていて非常に良かったとご意見をいただきました。明るい楽曲や曲に合わせた衣装やメイクも好評でした。多くの若年層にイベントを観覧していただき、施設の良さをアピールすることができました。		
	事業名	お江戸でダンス	利用施設	二の丸能楽堂
	開催日時	9 月 7 日(土)18 時～19 時	参加者数	250 人
	概要	岡崎女子大学・岡崎女子短期大学ダンス部による子ども向けミュージカルと創作ダンスの公演。		
	自己評価	保育士を目指す岡崎女子大学・岡崎女子短期大学ダンス部と連携した子ども向けのイベントです。前年度からの課題であった熱中症対策として、猛暑のなかでも安全に開催		

		できるよう2日間の公演を予定し、開演時間を18時に変更しましたが台風接近のため延期し、1 日公演に変更しました。講師と協力しながらお客様に案内することで特に混乱なく変更できました。受付では、「オカザえもんオリジナルメダル」を作成できるワークショップを実施しました。人気の曲を選定し、終始飽きさせない演出で手拍子の絶えないミュージカルを披露しました。創作ダンスでは、若者の視点で捉えた世界観や考えをダンスで表現しました。出演者の皆様からも能楽堂の舞台で演技できることが嬉しいとの声をいただきました。学生の部活の成果を発表できる場を提供することは有意義であるため、今後も連携を深め、継続して開催できるよう取り組んでいきたいと思います。		
	事　業　名	二胡木戸銭コンサート	利 用 施 設	二の丸能楽堂
	開 催 日 時	10月6日(日) 14時～15時	参 加 者 数	94人
	概　　要	地元演奏家による二胡のコンサートを「岡崎城公園木戸銭方式」で開催する。		
	自 己 評 価	《来場者の声》 ・アットホームな感じが良かったです。 ・二胡の演奏を始めて聞きました、とてもここちよい音色で感動しました。 ・中村さんのトークがとても良かったです。 《自己評価》 前年度までは「二胡ワンコインコンサート」として開催していましたが、今年度から「岡崎城公園木戸銭方式」を取り入れ、「二胡木戸銭コンサート」としました。「岡崎城公園木戸銭方式」とは、演奏を鑑賞した後に、お客様自身で対価を決めて支払っていただく方式です。事前にアナウンスを入念にした結果、大きな混乱や問題なく実施できました。アンケートは演奏に対して好評を多数いただき、木戸銭の金額は 1 人あたり約 700 円お支払いいただけました。今後もイベント内容に応じて、金額の徴収方法を決めたいと思います。		
	事　業　名	Kiraz Dance School ～秋のダンスまつり～	利 用 施 設	二の丸能楽堂
	開 催 日 時	11月10日(日)14時～16時	参 加 者 数	300人
	概　　要	ダンス教室と連携した様々なジャンルのダンスを楽しめるイベントを開催します。		
	自 己 評 価	《来場者の声》 ・皆が楽しそうに踊っているのが、最高でした。 ・様々なパフォーマンスを見ることができてとても楽しかったです。来年も楽しみにしています。 ・ベリーダンスが好きで来ました。キッズたちのダンスも可愛く素敵でした。 ・ステキな舞台で素敵なダンスが見れてとても幸せなひと時でした。能楽堂の伝統的な舞台と近代的なダンスの融合が素晴らしかった。 《自己評価》 能楽堂でダンス教室と連携して、生徒の成果の発表の場を兼ねた様々なジャンルのダンスを楽しめるイベントを開催しました。当日は天候にも恵まれ、ダンス参加者の家族や友人を中心に、300人ほどの観客がありました。今回は舞台後方にレーザーを配置し、光の演出も加えました。ダンスはレベル別に分け、小学生低学年のキッズダンス、中級は高学年から中学生のヒップホップ、ベリーダンスは大人の方の組み合わせとし、全 23 曲のダンスを披露しました。多くの観客も見込めることから、来年度も開催したいと考えます。		

2)　利用者サービスの向上について

事　業　名	GPSガイドマップ	施　設	園内
開　始　日	11月1日(金)		
概　　要	スマホで使えるガイドマップを導入する。		
自 己 評 価	堀が入り組んで複雑な構造をしている城址公園を来園者が迷わず歩けるように、GPS ガイドマップを園内に設置しました。日本語の看板が読めない外国人にも利用していただけるように英語にも対応しています。インバウンドで外国人の来園者に向けた取り組みとして、継続して設置します。		

事業名	雨天用テントの設置	施設	二の丸能楽堂
実施日	6月2日(日)		
概要	雨天時にテントを設置し稼働率向上を図る。		
自己評価	4月から6月の雨天時に能楽堂の利用があった時に、観客席後方にテントを設置しサービス向上と能楽堂の稼働率向上を図りました。実際には雨天時は利用のキャンセルも多く、実施日はわずかでしたが観客には喜んでいただくことができました。イベント中の急な雨への対応として、今後も通年での実施を検討していきます。		

事業名	立礼席のサービス充実	施設	城南亭立礼席
実施期間	通年		
概要	城南亭立礼席のメニューの充実化を図る。		
自己評価	前年度に引き続き、季節の和菓子だけでなく「抹茶ぜんざい」「開運だんご」「大学芋」を販売しました。週末には「家康ロール」、夏は「くずきり」「くずバー」、冬は「チョコテリーヌ」など季節に応じて和菓子以外の甘味も提供し、メニューを充実させました。岡崎城と家康館の入館者への割引、奥殿陣屋との相互割引も継続して実施し、他施設の利用を促しました。		

事業名	情報発信	施設	休憩所 園内 有料公園施設
実施期間	通年		
概要	岡崎城公園のパンフレットの配布や市内イベントのポスター、チラシを設置する。		
自己評価	市内の回遊性向上のため、休憩所に市内イベントのポスター掲示、チラシの配架をしました。2ヶ月ごとにイベント情報を記載したチラシを作り、配布や掲示をしました。イベント情報チラシは岡崎城公園でどんな催しが開催されるか近隣住民に周知していくためにも引き続き作成、配布します。		

事業名	駐車場の案内サービス強化	施設	バス駐車場 平面駐車場
実施期間	通年		
概要	駐車場職員が「岡崎城公園ガイドマップ」を携帯し、来園者のスムーズな案内や写真撮影の支援を行う。		
自己評価	駐車場利用者にとって岡崎城公園の玄関口である駐車場では、職員に施設への道を尋ねられることが多々あります。常にガイドマップを携帯させ、スムーズに対応できるように努めました。バス優先駐車場では大手門を背景に記念写真を撮る方も多く、写真撮影の支援の声かけや依頼を快く受けるようにしています。		

事業名	駐車場における満車時の対応	施設	バス駐車場 平面駐車場
実施期間	通年		
概要	公園駐車場が満車になった場合、周辺マップを使って他の駐車場を紹介するほか、車両の整理も行う。		
自己評価	繁忙期やイベント開催時は警備員を配置し、満車時に国道一号線が渋滞しないように車両の整理に努めました。他の駐車場の場所について問い合わせがあった時にすぐに案内できるように心がけて接客しました。混雑時はスムーズに出庫できるように精算機に職員がついて精算の補助をしました。		

事業名	駐車場における深夜・早朝の対応	施設	バス駐車場 平面駐車場
実施期間	通年		
概要	遠隔操作による出庫システムを利用し、職員が不在となる時間帯でも利用者のトラブルに対応する。		
自己評価	職員不在時にトラブルで出庫できないという事態にならないように、深夜と早朝は遠隔操作で出庫できるように対応しています。駐車券の紛失や手持ちの金額の不足等、理由は様々でしたがどの車両も大きなトラブルなく出庫できました。		

事　業　名	散策支援サービス	施　設	バス駐車場 平面駐車場
実施期間	通年		
概　要	来園者が安全、快適に園内を散策できるように杖・車いす・傘の貸し出しを行う。		
自己評価	高低差がある園内をお年寄りや足が不自由な方でも散策できるように杖と車いすの貸し出しをしました。雨天時にも園内を快適に散策できるように傘も貸し出しました。どちらも来園者から喜ばれているので、破損品を更新しながらサービスを継続していきます。		
事　業　名	ミストシャワーサービス	施　設	園内
実施期間	7 月 20 日(土)～9 月 16 日(月祝)10 時～16 時		
概　要	夏季にミストシャワーを設置し来園者の熱中症対策を行う。		
自己評価	暑さの厳しい夏に、熱中症対策として園内にミストシャワーを設置しました。夏休み期間はミストシャワーの前で涼んでいる子どももいました。引き続き厳しい暑さが予想されるこれからの夏に向けて継続していきたい取り組みです。		
事　業　名	巽閣お休み処の活用	施　設	本丸茶屋
実施期間	11 月 2 日(土)～3 月 31 日(月)　※定休日月・火、12 月 29 日～31 日		
概　要	休憩所としての機能を残しながら江戸の茶屋をイメージした「岡崎城本丸茶屋」として活用する。		
自己評価	巽閣お休み処の活用と来園者サービスの一環として、「岡崎城本丸茶屋」をオープンしました。店内をのれんや和傘で装飾し気軽に立ち寄れる和テイストなカフェスペースの創作と、徳川家康公生誕の地にちなんだ出世開運わらび餅を中心としたメニューで、近隣店舗との差別化を図りました。若者をターゲットにした映えメニューとして、あおいねこのシュークリームを用意することで、若い世代の集客にも繋がりました。岡崎城が延長営業する際には延長営業も行いました。今後は季節に合わせたメニューも準備し、来園者の満足度向上に繋げていきたいと考えます。		

3)　提案事業等利用促進イベント

事　業　名	もっと家康公“ど”まんなかプロジェクト江戸のふるさと岡崎文化祭 2024 第 26 回岡崎城公園文化祭		
開催日時	9 月 14 日(土) 音楽と踊りのコラボレーション:13 時～15 時 三河万歳:15 時～16 時 「武将を探せ！」デジタルスタンプラリー:10 時～15 時 昔あそびの紹介と体験:10 時～15 時 「書写体験会」～家康の想いと共に～:10 時～15 時 秋の抹茶体験会:10 時～15 時 特産品　ぶどう販売:10 時 30 分～	参加者数	音楽と踊りのコラボレーション:127 人 三河万歳:42 人 「武将を探せ！」デジタルスタンプラリー:150 人 昔あそびの紹介と体験:100 人 「書写体験会」～家康の想いと共に～:46 人 秋の抹茶体験会:52 人 特産品　ぶどう販売:35 セット(完売)
概　要	岡崎城公園の施設全体を使ったイベントを行い、本公園の知名度と市民交流を図る。		

自己評価	《参加者の声》 ・スタンプラリーで園内を順番に楽しめた。 ・書写体験会がとても貴重な体験会だった。 ・毎回新しい魅力や発見がある。抹茶体験会、書写体験会は穏やかな時間を過ごすことができた。 ・岡崎城に来たかったので、歌舞伎公演にあわせて来園した。みなさん話しやすくて接しやすかった。 《自己評価》 家康公「ど」まんなかプロジェクト江戸のふるさと岡崎文化祭 2024 の関連イベントとして「第 26 回岡崎城公園文化祭」を開催しました。二の丸能楽堂では日本舞踊西川流家元が主催する舞踊団「おどり夢」による舞台と国の重要無形民俗文化財にも指定されている三河万歳の公演、巽閣では昔あそびの紹介と体験、城南亭では秋の抹茶体験会、葵松庵では書写体験会、園内では「武将を探せ！」デジタルスタンプラリーと岡崎の特産品であるぶどうの販売と、有料貸館施設や公園全体を活用してイベントを開催しました。葵松庵での書写体験会は今年度初めてということで入念に準備をして臨みました。それぞれ多くの参加者がありましたが暑さが厳しいなかでの開催だったので、熱中症対策として次回から開催時期をずらすことも検討していきます。

4)　自主事業

教室事業	事業名	着物着付教室	利用施設	巽閣
	開催日時	月２回	参加者数	58 人
	概要	日本の伝統文化の紹介と着衣した魅力に磨きをかける着物着付け教室を開催		
	自己評価	《参加者の声》 ・教え方が丁寧でありがたい。 ・着物でいろんなイベントに参加したくなります。 《自己評価》 丁寧な指導で人気の教室となっています。初級と中級に分かれており、自分自身の技術の上達に合わせて学べるようになっています。岡崎城公園という和のロケーションでの着物教室は人気があるので継続して開催していきます。		
	事業名	太極拳教室	利用施設	巽閣
	開催日時	月２回	参加者数	69 人
	概要	岡崎城公園で景色を楽しみながらの体力づくりを開催		
	自己評価	《参加者の声》 ・健康のために毎年参加しています。 ・岡崎城の四季を楽しみながら参加できるのがうれしいところです。 《自己評価》 太極拳のゆっくりとした動きは老若男女問わず挑戦できます。多くの方に参加いただけているため、来年度も継続して開催していきます。		
	事業名	二胡教室	利用施設	巽閣
	開催日時	月２回	参加者数	43 人
	概要	中国楽器「二胡」の上達を目指す二胡教室		
	自己評価	《参加者の声》 ・弾ける曲が増えてくると上達が実感できる。 ・講師のような演奏ができるように頑張ってます。 《自己評価》 初級から上級まで受講生のニーズに合わせた教室を開催しています。発表会を二の丸能楽堂で開催し、家族や友人に見ていただくことで受講生のモチベーション向上に繋がりました。来年度も継続して開催していきます。		

イベント事業	事　業　名	岡崎城公園から街をきれいに～岡崎城でプロギング～	利用施設	二の丸広場
	開催日時	4月28日(日)10時～11時 5月26日(日)10時～11時 7月28日(日)9時～10時 8月25日(日)9時～10時 10月27日(日)10時～11時 11月24日(日)10時～11時 12月14日(土)8時30分～10時 ※QURUWA一斉清掃の一環 12月22日(日)10時～11時 1月26日(日)10時～11時 2月16日(日)10時～11時 3月23日(日)10時～11時	参加者数	各日約6人
	概　要	岡崎城公園をスタート、ゴール地点として岡崎城公園、近隣道路のゴミを拾いながらフィットネスを行い美化意識の向上を図る。		
	自己評価	《参加者の声》 ・意外とゴミが落ちていて驚いた。 ・自分たちの手で公園がキレイになるのはうれしいです。 ・健康的でいい取り組みだと思う。 《自己評価》 岡崎城公園周辺の美化活動と運動を目的として実施しました。参加者を増やすためにSNSでの宣伝や、複数回参加すると城南亭立礼席で抹茶の呈茶券をプレゼントする企画も実施しました。年間を通して活動することで岡崎城公園周辺の美化に繋がりました。今後も継続して開催し、ゴミのないきれいな岡崎城公園を目指します。		
	事　業　名	桜まつり賑わいイベント	利用施設	二の丸広場
	開催期間	4月1日(月)～5日(金)10時～21時		
	概　要	桜まつりで賑わう岡崎城公園で来園者に向けてイベントを開催することで、岡崎城公園の滞在時間の延長、更なる賑わいの創出、楽しさの演出を図る。		
	自己評価	桜まつりに合わせて二の丸広場ではキッチンカー出店、猿回し、ストリートコラボレーションライブによる歌と楽器の演奏、岡崎城前で大道芸を開催しました。桜も満開も迎え、多くの来園者に見ていただくことができました。桜まつり期間中の園内での賑わい創出の取り組みとして今後も継続して開催していきます。		
	事　業　名	よさこいイベントキッチンカー出店	利用施設	二の丸広場
	開催期間	4月7日(日)10時～17時		
	概　要	家康行列、二の丸広場でのよさこいイベントの開催に合わせてキッチンカーの出店やくつろぐことができるようにテーブルとイスを設置することで観客及び来園者へのおもてなしとサービス向上を図る。		
	自己評価	桜も満開で二の丸広場には、よさこいのイベントの来場者だけでなく多くの来園者が訪れました。乙川右岸のキッチンカーや屋台出店も5日で終了したため、どのキッチンカーも賑わい、長蛇の列を作っていました。イベントの支援のためテーブルとイスで喫食スペースを設けたところ、たくさんの来園者に利用していただくことができました。今後も多くの来場者の入場が見込めそうなイベントに対しては積極的にキッチンカー等の出店支援を行っていきたいと思います。		
	事　業　名	二の丸広場キッチンカー出店	利用施設	二の丸広場
	開催日時	4月8日(月)～9日(火)10時～17時		
	概　要	桜まつり終了後も見頃が続くことが予想されるため、花見客に対するおもてなしとサービス向上を図る。		
	自己評価	桜の開花が例年より遅く、桜まつり終了後も桜の見頃は続き多くの花見客が訪れることが予想されたので、来園者へのサービス向上のために二の丸広場でキッチンカーの出店を行いました。天候が崩れる予報だったため、予想よりも出店者数は少なく、4店舗の		

		出店となりました。キッチンカー以外にも、集客のためにストリートコラボレーションライブによる歌と楽器の演奏も行いました。両日ともに天気の崩れる時間帯もありましたが、晴れている時は花見客がおり、キッチンカーの利用もありました。引き続き、園内で集客を見込める季節やイベントがあるときには、来園者へのサービス向上のために様々な対応を考えていきたいと思います。		
	事　業　名	ポニー乗馬体験	利用施設	二の丸広場
	開催日時	4月29日(月祝)11時～17時 5月3日(金祝)11時～17時 5月4日(土祝)11時～17時 5月6日(月祝)11時～17時 5月18日(土)11時～17時 5月25日(土)11時～17時 5月26日(日)11時～17時 6月16日(日)11時～17時 6月22日(土)11時～17時 6月29日(土)11時～17時	参加者数	112人
	概　要	二の丸広場で子供向けにポニーの乗馬体験を実施し、お城と馬という歴史情緒溢れる組み合わせで参加者の思い出に残るコンテンツを提供する		
	自己評価	ゴールデンウィーク中は多くのお子様が参加してくれました。二の丸広場を出発して清海掘りを歩き岡崎城をバックに記念撮影をするコースを中心に回りました。参加者はポニーとのふれあいや記念撮影を楽しんでいました。しかし、ゴールデンウィーク後の暑さや園内でイベントがないときの集客の難しさが課題となりました。本来は通年で開催する予定でしたがイベント実施主体の希望もあり、6 月までの開催でいったん休止としました。岡崎城と馬という組み合わせはとても親和性の高いイベントなので、引き続き藤まつり期間やゴールデンウィークでの開催を検討していきたいです。		
	事　業　名	QURUWA ALOHA FESTA 2024	利用施設	多目的広場 二の丸広場
	開催日時	6月2日(日)10時～17時		
	概　要	地元自治会と共同で多数のフラダンス教室の発表会を開催する。フラダンス以外にも、ハワイアンフードのキッチンカーやマルシェの出店も行う。		
	自己評価	QURUWA エリアのマネジメントを行っている株式会社 Q-NEXT と地域住民の会議体である 7 町広域連合会　次世代の会と実行委員会を作り、岡崎城公園多目的広場でフラダンスのイベントを開催しました。観客がフラダンス以外も楽しめる取り組みとして会場内にキッチンカーやマルシェも出店しました。イベント当日は天候が不安定だったため、午後から二の丸能楽堂に急遽会場を移しました。突然の決定でしたが、出演者やキッチンカーの移動、来場者へのアナウンスなど連携を取りながらスムーズに進めることができました。晴天のなかで開催できなかったのが残念ではありますが、悪天候のなかでも多くの方に来ていただくことができました。		
	事　業　名	ボランティアの活用		
	開　催　日	6月2日(日) 9月14日(土)		
	概　要	イベント実施の際にボランティアの協力を得て事業を実施することで費用対効果を高める。		
	自己評価	「QURUWA ALOHA FESTA 2024」では高校生まちづくりプロジェクトに所属している学生にボランティアスタッフとして協力していただきました。MC をやってみたいがまだ自信がないということで、メイン MC ではなく、サブ MC という形で実際にマイクを手に取ってしゃべっていただきました。「第 26 回岡崎城公園文化祭」では人間環境大学附属岡崎高等学校インターアクト部に所属している学生にイベントの運営スタッフとして協力していただきました。ボランティアスタッフの活用はイベントの経費削減という側面もありますが、それだけでなく協力していただけるボランティアスタッフにもなにかメリットがあると、よ		

		り参加していただきやすくなると考えます。今回はボランティアスタッフのやってみたかったことにチャレンジできる場所を提供できました。今後もイベントを実施する際にはボランティアの活用を検討していきます。		
	事　業　名	第1回巽閣寄席	利用施設	巽閣
	開催日時	6月23日(日)13時～15時	参加者数	42人
	概　　要	触れる機会の少ない講談を岡崎で楽しめる機会を提供する。		
	自己評価	《来場者の声》 ・素人でもわかりやすく、次々と展開が変わって飽きなかった。 ・講談後の学芸員の話で、より理解が深まった。またコラボ企画を実施して欲しい ・初めて寄席を聞いた。とても楽しかった。 ・大河ドラマを見て、歴史・家康の興味が持てる機会となった。 《自己評価》 家康館の企画展「家康合戦譚～いくさにまつわるエトセトラ～」の関連イベントとして開催しました。寄席の演目を企画展に合わせて家康の戦噺にした結果、定員数を超えるお客様に楽しんでいただくことができました。企画展との関連イベントということで、ポスターやチラシに掲載したことによる宣伝効果もあって観客数が伸びました。講談の噺の合間に学芸員による歴史解説は好評で、また企画展と絡めたイベントを実施して欲しいという意見を多数いただきました。		
	事　業　名	巽閣熱中症対策	利用施設	巽閣
	開催日時	7月20日(土)～9月16日(月祝)10時～16時		
	概　　要	園内での熱中症予防対策のため、巽閣の利用予約以外の時間帯に空調を入れ、無料休憩所として開放し有料公園施設を活用する。		
	自己評価	市街地にあり暑さの厳しい岡崎城公園において、熱中症対策として巽閣を利用のない日はクーリングシェルターとして無料開放しました。前年度に引き続き、家族連れが利用しやすいようにおもちゃを設置しました。今年度も厳しい暑さだったので多くの方に利用していただくことができました。これからも夏は厳しい暑さが予想されるので、公園施設の有効な活用手段として継続して実施を検討していきます。また、期間終了後も暑い日が続いたので開催期間については調整していきます。		
	事　業　名	熱中症対策飲料配布	利用施設	二の丸広場
	開催日時	7月28日(日)10時～14時30分 9月5日(木)10時～11時 9月6日(金)10時～15時	参加者数	2,440人
	概　　要	夏の岡崎城公園に訪れた来園者に対して熱中症対策の呼び掛けと、協賛企業からいただいた冷たい飲料を配布する。		
	自己評価	岡崎城公園内の自動販売機設置業者から協賛をいただき、来園者に対する熱中症対策として飲料配布を実施しました。配布に合わせて園内放送で熱中症の注意喚起とこまめな水分補給を呼びかけました。葵武将隊も配布に協力し、受け取った来園者に大変好評でした。今回のような取り組みは自社単独での実施は難しいので引き続き、積極的に協賛企業を募り、社会貢献活動を企画したいと思います。		
	事　業　名	岡崎盆踊りフェス	利用施設	多目的広場
	開催日時	9月14日(土)　16時～21時※雨天により中止 9月15日(日)　11時～21時 9月16日(月祝)　16時～21時		
	概　　要	地元自治会と共同で多目的広場で盆踊りイベントを開催する。夏祭りの雰囲気づくりのためにキッチンカーや縁日コーナーの出店も行う。		
	自己評価	QURUWAエリアのマネジメントを行っている株式会社Q-NEXTと地域住民の会議体である7町広域連合会　次世代の会と実行委員会を作り、岡崎城公園多目的広場で盆踊りのイベントを開催しました。櫓を組んで市内のご当地盆踊りやえびすくい音頭を披露し、お祭りの雰囲気づくりのために縁日コーナーやキッチンカーも出店しました。15		

		日は日中にポニー乗馬体験や愛知県立農業大学校の生徒が育てた花の配布、岡崎城二の丸能楽堂も使い、外国人との国際交流イベントや高校生まちづくりプロジェクトのディスカッションも開催しました。14 日は当日夕方に雨の予報だったので、早めにイベントの中止を決定し、SNS とホームページで告知しました。15 日は日中から開催しましたが、厳しい暑さのため夕方以降までなかなか来場者は増えませんでした。巽閣で開催した「浴衣で岡崎城」と連携しながら、浴衣を着た参加者が多目的広場のステージでインタビューやパフォーマンスをしました。夕方から来場者も増えてきて 20 時ごろには櫓を中心に三重の輪を作って参加者は盆踊りを楽しんでいました。16 日も予定通り開催しましたが、月曜日ということもあり前日ほどの来場者はいませんでした。日中の暑さ等反省点もありましたが近隣住民も参加しやすい夜のイベントとして来年度以降も引き続き開催を検討していきます。		
	事　業　名	三河武士の魂を救おう!!夜の岡崎城公園クイズラリー	利 用 施 設	園内
	開 催 日 時	9 月 14 日(土)～16 日(月祝)18 時～21 時 9 月 21 日(土)～23 日(月祝)18 時～21 時 ※9 月 14 日(土)、22 日(日)は雨天のため中止	参 加 者 数	65 組
	概　　要	夜の公園の活性化を目的に、公園全体を巡ることのできるクイズラリーを開催する。		
	自 己 評 価	QURUWA7 町広域連合会　次世代の会と共同で、夜の岡崎城公園を活用したクイズラリーを開催しました。問題と設置物は名古屋デザイナー・アカデミーの生徒が授業の一環として制作しました。夜間のイベントということで三河武士の魂を成仏させることをテーマに歴史とホラーを絡めた問題と設置物を制作しました。事前に生徒たちに岡崎城の歴史や家康公について解説をして、史実や逸話などを問題の制作に反映しました。開催 1 週目には多目的広場で「岡崎盆おどりフェス」も開催し、相乗効果で集客を狙いました。期間中 2 日間雨天のため中止しましたが、早めの決定を心掛けホームページやインスタグラムで周知をしました。夜間のイベントということで、集客に不安がありましたが、家族連れを中心に楽しんでいただくことができました。		
	事　業　名	浴衣で岡崎城	利 用 施 設	巽閣
	開 催 日 時	9 月 15 日(日)13 時～17 時	参 加 者 数	39 人
	概　　要	日本情緒溢れる岡崎城公園内で浴衣を楽しむことができるイベントを開催する。		
	自 己 評 価	日本情緒溢れる岡崎城公園というロケーションを活用して、外国人を対象に巽閣で浴衣の着付けをして、日本文化と触れ合うことのできるイベントを開催しました。事前に予約した方 20 人には浴衣と草履、和傘を貸し出しました。当日は多目的広場で「岡崎盆おどりフェス」を開催したため、予約がなくても浴衣と帯を持参した方には着付けをしたところ、飛び込みの参加者も多数いました。巽閣内では大正琴の演奏体験や抹茶と和菓子を提供し、浴衣を着るだけでなく、日本文化により触れ合えるような工夫をしました。園内ではプロのカメラマンに写真を撮ってもらえるサービスの提供や「岡崎盆おどりフェス」とも連携して、多目的広場のステージで浴衣姿を披露する時間も設けました。		
	事　業　名	武将茶房	利 用 施 設	葵松庵
	開 催 日 時	9 月 21 日(土)14 時～15 時	参 加 者 数	20 人
	概　　要	葵武将隊によるおもてなしとして、葵松庵にて武将によるお茶会を開催する。		
	自 己 評 価	《来場者の声》 ・初めて葵松庵に入りました。本当の茶室の体験がよかったです。 ・にじり口体験楽しかったです。 《自己評価》 本格的な茶室である葵松庵にて、葵武将隊による特別茶会を実施いたしました。当日は、徳川家康に扮した武将が茶道の歴史や作法についてわかりやすく解説し、参加者はにじり口の体験をはじめとした本格的な茶の湯文化に親しむことができました。気温が 38℃を超える厳しい気象条件下にもかかわらず、20 人以上の参加があり高い集客効果を発揮するイベントとなりました。今後も本事業を通じて、茶室の活用促進および来園者満足度の向上に努めてまいります。		

	事　業　名	尾張剣和会抜刀道演武	利　用　施　設	二の丸広場
	開　催　日　時	11 月 3 日(日祝)13 時～14 時	参　加　者　数	200 人
	概　　要	尾張剣和会による真剣での居合斬り演武を行う。		
	自　己　評　価	《来場者の声》 ・刀を振り下ろした時の鋭い音に感動した。 ・演者の緊張感が伝わった。 ・女性演者さんが凄かった。 《自己評価》 二の丸広場で尾張剣和会による真剣を使った居合斬りの演武を実施しました。3 年ぶりに出演した女性演者による居合斬りや、二人が同時に一つの藁を斬る「同時斬り」など難易度の高い技も披露しました。岡崎城下家康公秋まつりやジャズストリートなど他のイベントと同日の開催だったため、相乗効果で多くの来園者にご覧いただくことができました。出演者からも演出に関して積極的な意見をいただいており、今後もこのイベントを継続して開催していきたいと考えています。		
	事　業　名	あいち県民の日限定企画「立礼席お菓子プレゼント」	利　用　施　設	城南亭立礼席
	開　催　日　時	11 月 23 日(土祝)10 時～16 時	参　加　者　数	48 人
	概　　要	あいち県民の日限定企画として、茶券購入のお客様に岡崎老舗店の和菓子をプレゼント。		
	自　己　評　価	愛知県では 11 月 21 日から 27 日までを「あいちウィーク」とし、県内各地でイベントが開催されています。愛知県のイベントに協力するため限定企画として、城南亭立礼席で和菓子のプレゼント企画を実施しました。利用者の満足度アップと有料貸館施設の紹介、あいちウィークへの協力のため、来年度も継続することを検討します。		
	事　業　名	早朝探鳥会	利　用　施　設	園内
	開　催　日　時	11 月 24 日（日）7 時～8 時	参　加　者　数	20 人
	概　　要	桜まつりで賑わう岡崎城公園で来園者に向けてイベントを開催することで、岡崎城公園の滞在時間の延長、更なる賑わいの創出、楽しさの演出を図る。		
	自　己　評　価	岡崎城公園の野鳥を観察する機会を提供するため、地元で活動している講師を招いて探鳥会を計画しました。探鳥会では、参加者が双眼鏡で野鳥を観察するだけでなく、講師から野鳥の生態についてのレクチャーも行われました。また、早朝のイベントにも関わらず、関心を持って参加していただき、今年も多くの野鳥を観察することができました。岡崎城公園の自然に対する関心を深めるため継続して実施を検討していきます。		
	事　業　名	QURUWA エリア一斉清掃	利　用　施　設	岡崎城公園周辺
	開　催　日　時	12 月 14 日(土)8 時 30 分～10 時	参　加　者　数	10 人
	概　　要	今回は「QURUWA エリア一斉清掃」の一つの会場としてプロギングを実施する。		
	自　己　評　価	QURUWA エリア一斉清掃の一環としてプロギングイベントを実施しました。籠田公園・乙川と 3 か所の起点の一つとなりました。そのため普段より多くの方にご参加いただけました。岡崎城公園だけでなく、QURUWA エリア全体の美化意識の向上に繋がったと考えます。		
	事　業　名	岡崎城公園年末年始露店出店	利　用　施　設	龍城神社横
	開　催　日　時	12 月 31 日(火)22 時～26 時 1 月 1 日(水祝)～1 月 5 日(日)10 時～17 時		
	概　　要	岡崎城公園内で年末年始に参拝客で賑わう龍城神社の横に様々なメニューを提供する露店を出店することで来園者へのサービス向上を図る。		
	自　己　評　価	年末年始に多くの参拝客で賑う龍城神社の横に露店の出店を行いました。出店にあたり龍城神社と綿密な打ち合わせを行い、出店場所の確認や留意点の聞き取りをしました。12 月 31 日の夜間は年越しを迎える参拝客がたくさん訪れました。年始も 5 日まで初詣に多くの参拝客がありました。時には鳥居を超えるほど長蛇の列を作っている時間もあり、寒さに震える参拝客に暖かい飲食物を提供することができました。出店数は 1 店舗でしたが利用者のニーズに応えるため複数のメニューを提供しました。		

	事　業　名	消防出初式サテライト会場キッチンカー出店	利　用　施　設	多目的広場
	開　催　日　時	1 月 12 日(日)10 時～13 時		
	概　　要	岡崎城公園多目的広場で開催される消防出初式サテライト会場の参加者へのおもてなしとしてキッチンカーを出店する。		
	自　己　評　価	乙川河川緑地での消防出初式に伴い、岡崎城公園多目的広場ではサテライト会場として様々な催しが開催されました。来園者へのおもてなしとしてキッチンカー等飲食店を出店しました。PR にあたり岡崎市消防本部と協力しながらチラシの作成と配布をしました。当日は消防の PR ブースで起震車体験、ミニ消防服の試着、レッサーくんとの記念撮影が楽しめる他にも、警察や自衛隊もブースを出展し車両の展示や広報活動をしていました。また、会場内では岩津消防団による階梯操法の披露もあり、多くの見学者がいました。乙川河川緑地での一斉放水が終わると多目的広場に多くの方が入り、各店舗は非常に賑わいました。来年度も消防出初式が開催される場合、岡崎市消防本部と連携を取りながら多目的広場の運用を検討していきたいと思います。		
	事　業　名	武将によるお点前	利　用　施　設	城南亭
	開　催　日　時	2 月 16 日(日)14 時～15 時	参　加　者　数	45 人
	概　　要	葵武将隊を活用した来園者へのおもてなしとして、城南亭にて武将がお茶会を開催する。		
	自　己　評　価	《来場者の声》 ・出立前に忠勝様との時間を作っていただき感謝です。 ・忠勝様のお話をゆっくりとお抹茶をいただきながら聞けて良かったです。 《自己評価》 2 月 23 日に本多忠勝が出立を控えているということもあり、武将隊ファンを中心に 45 人が参加しました。人数が多く提供に時間がかかってしまいましたが、武将と一緒に過ごせる貴重な時間をゆっくり堪能することができたと好評でした。武将茶会は人気が高く、茶室の売上や利用率を上げるためにも有効であるため、閑散期の対策としても継続して実施して参ります。		
	事　業　名	第 2 回巽閣寄席	利　用　施　設	巽閣
	開　催　日　時	3 月 9 日(日)13 時 30 分～15 時	参　加　者　数	50 人
	概　　要	触れる機会の少ない講談を岡崎で楽しめる機会を提供する。		
	自　己　評　価	《来場者の声》 ・4 人の話し方が上手で、面白かった。 ・住んでいる場所(県外)では寄席をやっている所がなく、新鮮だった。 ・大河ドラマの余韻を感じることができた。 《自己評価》 今回の演目では時事ネタとして桜を取り上げ、現在の桜の開花状況や桜まつりの紹介も行いました。落語では一流ホテルのコーヒーラウンジでの会話を取り上げた演目、講談では大河ドラマ「どうする家康」に登場した山内一豊を取り上げた演目が好評でした。前日に東海愛知新聞に取り上げていただき、アンケート結果でも「新聞を見て来た」との声が多くありました。チラシや SNS での情報発信だけでなく、新聞などのメディアを活用しながら広報をしていきます。		
	事　業　名	#QURUWA と暮らす 2025	利　用　施　設	二の丸広場
	開　催　日　時	3 月 15 日(土)10 時～13 時(15 日午後、16 日は雨天のため中止)	参　加　者　数	ワークショップ 10 人 子ども縁日 17 人 武将と作るフラワーアレンジメント 70 人
	概　　要	QURUWA 全体のイベントのなかで、岡崎城公園も会場としてイベントを実施する。		
	自　己　評　価	岡崎城公園の二の丸広場にて、幼児から小学生低学年の子どもと親を対象としたイベント、「＃QURUWA と暮らす 2025」を行いました。子ども縁日では子どもだけでなく大人も参加して楽しんでいました。10 時開始時の「武将と作成するフラワーアレンジメント」には多くの方に参加していただきました。途中から雨天で中止となってしまいましたが、		

		QURUWA エリア全体のイベントに引き続き参画し、公園だけでなく周辺地域全体の賑わいの創出に貢献していきたいです。		
	事　業　名	お花見キッチンカー出店	利　用　施　設	二の丸広場
	開 催 日 時	3 月 22 日(土)～25 日(火)10 時～17 時		
	概　　要	岡崎城公園二の丸広場で桜の開花時期に合わせてキッチンカーを出店することで来園者へのサービス向上を図る		
	自 己 評 価	桜の開花が予想される 3 月の 22 日に合わせて、岡崎城公園二の丸広場で桜まつりに先立ち来園者へのおもてなしのためにキッチンカーを出店しました。例年よりも開花が遅れ、期間中の桜はつぼみのままでしたが、春らしい陽気になってきたこともあり普段より来園者が増え、多くの方にご利用いただけました。特に日曜日は武将隊の演武もあり、演武前後に利用する方も目立ちました。		
	事　業　名	岡崎城本丸茶屋テイクアウト専門売り場出店	利　用　施　設	岡崎城本丸茶屋前
	開 催 日 時	3 月 26 日(水)～3 月 31 日(月)10 時～20 時		
	概　　要	桜の開花時期に合わせ、岡崎城本丸茶屋前にテイクアウト専門の売り場を設置し、来園者へのサービス向上を図る。		
	自 己 評 価	園内が賑わう桜まつり期間は、岡崎城本丸茶屋店内の混雑が予想されるため、店前に素早く商品を提供できるテイクアウト専門の売り場を設置し待ち時間短縮を図りました。提供するメニューは手軽な和テイストのスイーツを中心としたことに加え、夜間まで営業したことで、店内の混雑を避けた方に商品を提供することができました。桜のピーク時には、どの店も大変混雑し待ち時間が長い中、素早く商品を提供できたことは、来園者の満足度向上に繋がったと考えます。		
	事　業　名	岡崎城公園多目的広場出店者駐車場	利　用　施　設	多目的広場
	開 催 日 時	3 月 26 日(水)～3 月 31 日(月)8 時 30 分～22 時		
	概　　要	桜まつりの出店者駐車場として岡崎城公園多目的広場を活用することで、出店場所に近い駐車場の提供と一般駐車場を出店者が占有してしまうのを防ぐことを図る。		
	自 己 評 価	桜まつり期間中の乙川河川敷出店者の駐車場として、岡崎城公園多目的広場を活用しました。前回は 71 台が利用しましたが今年度は店舗数の増加や出店者間での口コミにより 89 台の利用がありました。前回の利用で課題となった生活道路に出店者の車両が渋滞を起こして近隣住民の通行の妨げとなってしまった点は、前もって搬入搬出ルートを統一し、生活道路に侵入しないように説明会で念入りに伝えたことで改善することができました。桜まつり期間中はほぼ毎日 80 台以上の利用があり、近隣の駐車場を出店者の車両が圧迫してしまうことを防ぐという目的に対して、一定の効果があったと考えます。来年度も桜まつり期間中の多目的広場の運用方法の一つとして選択肢に入れていきたいと思います。		
	事　業　名	盲導犬啓発活動	利　用　施　設	二の丸広場
	開 催 日 時	3 月 29 日(土)、30 日(日)10 時～17 時		
	概　　要	岡崎城公園が賑わう桜まつり期間に二の丸広場で盲導犬啓発活動を行い、盲導犬育成の支援を図る。		
	自 己 評 価	岡崎城公園内で桜まつり期間中に盲導犬の啓発活動を行いました。盲導犬ユーザーである渡邊裕子氏に協力していただき、パンフレットや募金活動、盲導犬とのふれあい体験を実施しました。桜まつりや二の丸広場で様々なイベントを開催していたこともあり、多くの方にブースに訪れていただくことができました。募金活動で集まったお金は公益財団法人日本盲導犬協会に寄付しました。社会貢献活動として、今後も障害福祉への理解を促進するような催しを企画していきます。		
	事　業　名	桜まつり賑わいイベント	利　用　施　設	二の丸広場
	開 催 日 時	3 月 26 日(水)～3 月 31 日(月)10 時～17 時		
	概　　要	桜まつりで賑わう岡崎城公園で来園者に向けてイベントを開催することで、岡崎城公園の滞在時間の延長、更なる賑わいの創出、楽しさの演出を図る。		

	自己評価	桜まつりに合わせて二の丸広場ではキッチンカー出店、猿回し、ストリートコラボレーションライブによる歌と楽器の演奏を開催しました。キッチンカー出店については乙川河川敷右岸と一緒に募集をしましたが 1 店舗しか応募がなかったので次回はどうするか検討していきます。桜が満開に近づくにつれて、観客も増えてきて、賑わいの創出に繋がりました。		
その他	事業名	高校生まちづくりプロジェクトでの活用推進	利用施設	二の丸能楽堂
	開催日時	9 月 15 日(日)16 時～18 時		
	概要	岡崎のまちづくりをテーマに高校生まちづくりプロジェクトメンバーと市内有識者とのトークセッションを能楽堂で実施する。		
	自己評価	岡崎のまちづくりをテーマに、高校生まちづくりプロジェクトメンバーと市内有識者とのトークセッションを二の丸能楽堂で実施しました。高校生まちづくりプロジェクトメンバーの代表 3 人からの質問に対し、岡崎城公園周辺地域の協議会会長や岡崎青年会議所所属の起業家等の有識者が回答する形式で行いました。高校生からは「学生と協働して進めたい事業は何がありますか」、「自転車で来た方への特典を実施することについて、その効果や課題をどのように考えていますか」等、学生らしい質問がありました。そういった質問に対し、有識者が現状の説明や具体的に行っている活動など丁寧に回答していました。まちづくりに関わっている方々と、今後、次世代を担っていく高校生の交流は有意義であったと感じました。今後も岡崎のまちづくりがさらに活性化するよう、こういった場を提供していきたいと考えます。		
	事業名	岡崎歌舞伎公演記念「岡崎城お練り」	利用施設	二の丸広場
	開催日時	9 月 14 日(土)10 時～12 時		
	概要	市民会館で行われる「岡崎歌舞伎公演」の前に、岡崎城公園の龍城神社にて成功祈願をした後、「お練り」を開催した。		
	自己評価	《来場者の声》 ・今後岡崎に来ることがないので、ぜひこの機会に見てみたいと思いました。 ・市川中車さんが見れてうれしかった。 ・岡崎を舞台にした歌舞伎のお練りを見て興奮しました。 ・たくさんの人が見に来ていましたが、人力車に乗った中車さんや青虎さんを見れてよかったです。 《自己評価》 岡崎市民会館との連携事業として、14 日と 15 日に市民会館で行われた「岡崎歌舞伎公演」のお練りを岡崎城公園で初めて開催しました。開始前から多くの人が岡崎城前に集まり、関心の高さが伺えました。味噌六太鼓の演奏を開始の合図として、横断幕を先頭に中車さん、青虎さん、葵武将隊、オカザえもん、味噌人会、呉服組合、えびすくい音頭隊が順番に岡崎城前を出発し、二の丸広場を目指して行進しました。二の丸広場では式典が行われ、盛況のなかで終了しました。今後も他施設と連携したイベントを開催していきたいです。		
	事業名	桜の季節の宴会利用促進	利用施設	城南亭
	設置期間	3 月 26 日(水)～3 月 31 日(月)9 時～21 時		
	概要	花見などの宴会会場として一般利用の促進をする。		
	自己評価	チラシを掲示し利用を促しましたが、桜まつり期間中の土日はすでに予約で埋まっている日が多く、利用促進には繋がりませんでした。今後は平日の利用促進を図っていきたいと考えます。		
	事業名	団体旅行の昼食会場誘致	利用施設	城南亭
	開催日時	2 月 8 日(土)～3 月 9 日(日)9 時～17 時		
	概要	旅行会社と連携し、団体客の昼食会場としての利用を促進する。		
	自己評価	団体客の昼食会場として城南亭を活用するために旅行会社の添乗員と打ち合わせをしたところ、椅子席 20 人ではバス 1 台分の人数に足りないこと、人数の確定が直前までできず食事のキャンセル時に間に合わないなどの課題があり、条件が一致する会社が見つかりませんでした。		

(2) 施設の利用状況

1) 利用状況

① 有料公園施設

(ア) 利用回数及び稼働率

	利用回数				稼動率		
	実績(回)		増減		実績(%)		増減
	R6 年度	R5 年度	%	回数	R6 年度	R5 年度	%
巽　　閣	341	409	83.4	△68	35.7	42.0	△6.3
葵 松 庵	92	90	102.2	2	9.9	9.3	0.6
城 南 亭	471	538	87.5	△67	25.2	27.5	△2.3
能 楽 堂	241	307	78.5	△66	25.4	31.0	△5.6
計	1,145	1,344	85.2	△199			

(イ) 利用者数

	実績(人)		増減	
	R6 年度	R5 年度	%	人数
巽　　閣	8,290	15,284	54.2	△6,994
葵 松 庵	1,724	3,369	51.2	△1,645
城 南 亭	4,430	6,017	73.6	△1,587
能 楽 堂	14,673	21,222	69.1	△6,549
計	29,117	45,892	63.4	△16,775

(ウ) 利用料金

	実績(円)		増減	
	R6 年度	R5 年度	%	円
巽　　閣	1,353,350	1,708,050	79.2	△354,700
葵 松 庵	401,700	363,900	110.4	37,800
城 南 亭	788,940	1,020,240	77.3	△231,300
能 楽 堂	1,455,220	1,794,040	81.1	△338,820
計	3,999,210	4,886,230	81.8	△887,020

② 駐車場

(ア) 利用台数

	実績(台)		増減	
	R6 年度	R5 年度	%	台数
バ ス	1,350	5,053	26.7	△3,703
乗用車	172,950	192,311	89.9	△19,361
計	174,300	197,364	88.3	△23,064

(イ) 利用料金

	実績(円)		増減	
	R6 年度	R5 年度	%	円
駐 車 場	88,670,140	119,324,060	74.3	△30,653,920

2)　　利用状況に対する自己評価

前年度と比較すると、有料公園施設の利用状況は、葵松庵を除き全体的に減少しました。主な要因としては、前年度に開催されていた大河ドラマ館関連の事業や自主事業が終了したことが挙げられます。

また、駐車場の利用台数についても、大河ドラマ館の閉館に伴ってバスツアーの数が減少したことから、バスの利用台数は大きく減少しました。乗用車の利用台数についても大幅な減少が懸念されましたが、前年度に引き続き、土日や繁忙期には多目的広場に臨時駐車場を設けたことや、大河ドラマ館閉館に伴い、従来バス専用であった駐車場が乗用車にも開放されたことにより、バスと比べて減少幅は小さく抑えられました。

前年度は大河ドラマ館の開館効果により、有料公園施設の利用が大きく伸びたため、単純な比較は難しいものの、来年度の利用状況は今年度と同程度になると見込まれます。

今後は、自主事業における有料公園施設の活用に加え、積極的な施設 PR により新規利用者の獲得を目指します。また、利用者一人ひとりに寄り添った丁寧な対応を心がけ、リピーターの増加に繋げていきます。

(3) 収支状況

1)　　収支状況

	項目	内訳	決算額(円)
収入	指定管理料収入		100,886,705
	利用料金収入		93,710,830
	事業収入		4,600
	便益施設に関する収入	売店収入、自動販売機収入	14,217,666
	その他収入		1,480
収入計			208,821,281
支出	直接管理運営費	直接人件費、光熱水費、消耗印刷費、修繕費、清掃等委託料、保険料等	181,242,140
	(うち光熱水費・修繕費)	※精算項目	(7,112,705)
	事業費	事業に係る経費	398,116
	その他	本部経費、当期余剰金等	27,181,025
支出計			208,821,281
差引			0

2)　　収支状況に対する自己評価

利用料収入は前年比 74.6%と前年度を下回りましたが、目標比は 116.0%と上回りました。その他の収入も前年度を下回りました。収入が減少した要因として「どうする家康 岡崎 大河ドラマ館」が閉館したことで来園者やツアーの減少、大河ドラマ関連事業も無くなったことが挙げられます。ただ、今年度も引き続き繁忙期には多目的広場を乗用車の臨時駐車場として活用したこと、自動販売機設置業者をプロポーザル方式で募集して手数料率の見直しを図ったことで減少の幅を抑えることができたと考えます。

支出については人件費の高騰や昨今の物価上昇の影響を受けて厳しい状況でしたが、適切な人員配置や各種消耗品の節約などに努めて前年比 86.3%と削減することができました。

(4) 市民意見の聴取・反映及びセルフモニタリング（利用者アンケート結果）

1) 実施概要

実施期間	回答者数	目標値	アンケート実施方法
4 月 1 日（月）～3 月 31 日（月）	547 人	400 人	職員が配布

2) アンケート結果概要

① 属性

①住所

項目	県内	県外	未回答	合計
回答数	154	381	12	547
割合	28.2	69.6	2.2	100

②年齢

項目	中学生以下	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 歳以上	未回答	合計
回答数	18	19	125	45	66	98	174	2	547
割合	3.4	3.5	22.8	8.2	12.1	17.9	31.8	0.3	100

③性別

項目	男性	女性	未回答	合計
回答数	302	241	4	547
割合	55.2	44.1	0.7	100

② 調査結果

④来園回数

項目	初めて	2 回目	3 回目以上	未回答	合計
回答数	335	70	142	0	547
割合	61.2	12.8	26.0	0	100

⑤交通手段

項目	自家用車	バス	電車	徒歩	その他	未回答	合計
回答数	480	7	31	13	16	0	547
割合	87.7	1.3	5.7	2.4	2.9	0	100

⑥誰と

項目	1 人	家族	友人	団体	未回答	合計
回答数	64	371	111	1	0	547
割合	11.7	67.8	20.3	0.2	0	100

⑦滞在時間

項目	1 時間未満	1～2時間	3～4時間	4時間以上	未回答	合計
回答数	108	303	89	26	21	547
割合	19.7	55.4	16.3	4.8	3.8	100

⑧目的

項目	歴史の学習	自然散策	イベント参加	その他	未回答	合計
回答数	149	192	31	167	8	547
割合	27.2	35.1	5.7	30.5	1.5	100

⑨好きな所、良い所

項目	お城	自然	食べ物	その他	未回答	合計
回答数	285	164	49	36	13	547
割合	52.1	30.0	8.9	6.6	2.4	100

⑩不快に思う違反（複数回答）

項目	犬糞の不始末	たばこのポイ捨て	猫のエサやり	枠外駐車	喫煙所以外での喫煙	ごみのポイ捨て	火気の使用	その他	未回答	合計
回答数	212	237	58	105	135	238	69	2	1	1057
割合	20.0	22.4	5.5	10.0	12.8	22.5	6.5	0.2	0.1	100

記述回答

評価事項	要望事項
・とても暑かったので、冷房の効いた無料休憩所があって助かりました。 ・茶室の音楽や雰囲気が良かった。スタッフもとても感じがよく好感が持てた。 ・混雑した日だったが、臨時駐車場に駐車できて良かった。 ・トイレの清掃が行き届いていて奇麗でした。 ・お城の近くにお店ができたので気軽に立ち寄れました。	・雨宿りできる屋根のあるスペースが少ない。 ・公園内の屋外トイレに洋式を増やしてほしい。 ・駐車場から喫煙所が遠い。場所もわかりにくい。 ・飲食店の案内看板が少ない。

3)　利用者アンケートに対する自己評価

利用者アンケートは目標枚数 400 枚を大幅に上回る 547 枚の回答が得られ、目標対比は 136.7%となりました。アンケートの評価事項について、ソフト面に対しては一定の成果が得られていると感じています。要望事項については、以前同様、屋外トイレの洋式化といったハード面の整備に関するものが多いため、早急に対応することは難しいと考えますが、引き続き岡崎市に報告していきます。また案内看板については、景観も考慮し簡易的な掲示物を増設することで対応しました。

今後もアンケートによる来園者の貴重なご意見やニーズを把握することが重要であると考えます。アンケートの結果については岡崎市と情報共有し管理運営に反映させることで、来園者の満足度向上に繋げています。

(5) その他の自己評価

1)　利用者へのサービスに対する自己評価

項目	自己評価
利用案内	来園者に気軽に手に取ってもらえるよう、園内各所に各施設のパンフレットや園内マップを配置しました。またスマートフォンでQRコードを読み取るだけで使用できるGPSガイドマップを導入し、来園者に現在地の表示や施設案内、見どころなどをお知らせすることができました。こちらについては多言語にも対応しており、コロナ終息で増えつつある外国人観光客にも対応できたと考えます。
利用支援	前年度に引き続き、車椅子、ベビーカー、傘、杖の無料貸し出しを実施して、来園者の園内回

	遊を支援しました。有料公園施設では貸し出し物品の更新を随時行い、施設の利用を支援し、利用者サービスの向上に繋げました。
安全安心	園内の利用者の安全を確保するために、園内巡視時に枯れ枝、支障枝の確認など行い対処しました。熱中症対策としてミストシャワーの設置や飲料水の無料配布を実施しました。台風や路面凍結など気候による影響がある場合は臨機応変な対策を行い安全確保に努めました。
情報提供	ホームページや SNS(インスタグラム)を積極的に活用し、岡崎城公園の情報発信をすることができました。特に関心度の高い桜や藤については、毎日画像を更新し最新の情報を提供しました。また 2 ヶ月ごとにイベントをまとめたチラシを発行して近隣住民に配布し、園内の看板にチラシを貼り出すなど、イベント情報の周知にも努めました。

2)　利用者のニーズの把握に対する自己評価

項目	自己評価
施設管理	定期的に施設・設備に不具合がないか確認するとともに、軽微な設備補修については可能な限り直営で補修することで、迅速な対応と安全・安心な施設を提供してきました。
事業運営	指定管理者が主体となる事業の参加者に対してはアンケート調査を行い、ご意見や要望を把握しました。また新しい事業に関しては協力団体と直接ヒアリングの結果を基に検証し結果、施設利用に関する問い合わせや下見については、内容に応じた提案を行い利用促進に繋がるよう努めました。

3)　苦情対応等に対する自己評価

主な苦情内容	対応
乙川河川敷夜間イベントによる乗用車駐車場周辺道路の渋滞について、近隣住民から苦情が入る。	すぐに現場状況を確認し、臨時駐車場を開放するとともに職員を増員し渋滞車両を誘導しました。またバス優先駐車場にも入庫待機車両があったため、臨時駐車場へ回っていただくよう案内し渋滞緩和に努めました。
《苦情対応に対する自己評価》 来園者や近隣住民からの苦情につきましては、公園を管理運営していくうえで貴重な意見として真摯に受け止めます。苦情については早急に対応することで一定の理解を得られていると考えます。また周辺施設の管理団体とイベント情報等を共有し、可能な限り対応策を施すことが信頼に繋がるものと考えています。	

2 岡崎城・家康館業務

(1) 事業の実施状況

1) 提案事業等

① 利用者増加の取り組み (岡崎城)

事　業　名	オリジナルキャラクター活用事業		
概　　要	オリジナルキャラクター達を様々な場面に展開させる ・竜神ちゃんエックス(旧ツイッター)の運用 ・子ども用パンフレット、ちゃれんじシートに竜神ちゃんと城主‘sをデザイン ・岡崎城展示の一部に登場(龍神伝説、岡崎城下町あんないじょ) ・岡崎城内フォトスポット「岡崎城漫画パネル」に登場人物としてデザイン ・公園内 GPS マップの現在地を竜神ちゃんで表示		
自 己 評 価	竜神ちゃんエックスでは、岡崎城公園のイベントや新商品販売告知をはじめ、公園の様子などをお知らせしました。 子ども用パンフレットやちゃれんじシートにもデザインをして、子どもに親しみを持ってもらえる工夫をしました。 岡崎城漫画パネルでは、老若男女問わず好きなポーズで楽しそうに写真撮影される様子が見られました。 岡崎城展示の一部(1 階龍神伝説・5 階城下町あんないじょ)にも活用することができました。 新たに始めた公園内 GPS マップでは、現在地を竜神ちゃんが示し、一緒に公園内を歩くような仕様にし、公園散策の一助を担いました。 まだまだ認知度は高いとは言えない状況ですが、今後も様々な場面で活用することでオリジナルキャラクターの認知度を高め、岡崎城に親しみを持っていただけるよう努めてまいります。		
事　業　名	おかざき歴史教室　春の陣		
開 催 日 時	6 月 2 日(日)	参 加 人 数	11 人
概　　要	岡崎城公園内の史跡などを巡りながら、学芸員から江戸時代の岡崎城についての説明や裏話を聞くことにより、岡崎城の歴史を学ぶ。 ※参加費:500 円		
自 己 評 価	今年度からの新規事業として、第 1 回目の「おかざき歴史教室　春の陣」を開催しました。嘱託学芸員の本多葵美子氏に講師をお願いしました。豊富な資料を使用し、また学芸員としての専門的な知識や裏話など、非常にわかりやすく解説していただきました。岡崎城についての歴史教室ということで参加者からの興味、関心も高く、活発に質問が出ており、参加者は終始楽しそうに解説を聞いている様子でした。 また、参加者の満足度が高かった理由として、講師が下級武士の扮装をして親しみやすく解説をしてくれたこともあります。 今回は開始時間の直前まで雨が降っており開催が危ぶまれたため、次回からは、雨天時の中止の判断や対応をどのようにするのか、事前に検討するようにします。		
事　業　名	おかざき歴史教室　冬の陣		
開 催 日 時	2 月 2 日(日)	参 加 人 数	19 人
概　　要	地元の郷土歴史研究家を講師に招き、家康公、三河武士及び岡崎の歴史を学ぶ教室を開催する。 ※参加費:500 円		
自 己 評 価	今年度からの新規事業として、「おかざき歴史教室　冬の陣」を開催しました。今回のテーマは「吾妻鏡に見るドキュメント『承久の乱』―足利義氏はどのような活躍をしたのか」でした。承久の乱がどのようなものであったか、足利義氏や足利氏が岡崎といかに深い関わりがあったのか、ということについてわかりやすくお話しいただきました。 参加者のほとんどが高齢者でしたが、両親と参加していた小学生もいました。楽しそうに熱心に話を聞いていました。参加者の年齢層が高いため、新たな参加者を募ることができるよう、今後は積極的に SNS を使い参加募集をしていきたいと思います。		
事　業　名	伝統産業講座・ワークショップ		

開催日時	11月2日(土) ～3日(日祝) 10時30分～16時
概要	おかざき匠の会に依頼し、岡崎に古くからある伝統産業の職人や、手仕事の作家による匠の技の実演披露及び製作体験。
自己評価	今年度、新たな事業として岡崎商工会議所と連携し、「おかざき匠の会」の協力を得て開催しました。内容は、2日(土)に「鎧小札ストラップ製作」、「伝統工芸三河木綿でカラビナホルダー作り」、「革とボタンのキーホルダー作り」、3日(日祝)に「和ろうそく絵付け」、「大字創作」、「手彫り印象彫刻実演」が行われました。 2日(土)は天気が雨予報だったこともあり会場を訪れる人が少なく、参加人数が伸びませんでした。特に午後からは荒天となり、参加者数は合計23人となりました。3日(日祝)は好天に恵まれ、前日と比較して多くの方が来場しました。会場がある二の丸広場も賑わっていたため、参加者数は合計44人となりました。 多くの方に興味を持っていただき、参加者は子どもから大人まで楽しそうに体験をされていました。体験内容によっては、時間が掛かるものありましたが、職人さんが丁寧に教えていました。でき上がった時の達成感や、自分で作ったという満足感は高く、皆さん喜んでいました。 また、2日目は神尾印房さんによる手彫りの印象彫刻の実演が終日行われ、足を止めて興味深そうに眺めている方や、職人さんに質問をする方など、多くの方の関心を集めていました。 本イベントの開催にあたり、開催時期や出展者の決定などの調整が難しかったですが、岡崎商工会議所の担当者や出展していただいた職人の皆様の協力もあり、参加者の方の好評を得ることができました。 今回は、伝統産業だけでなくキーホルダー作りなど、手仕事作家らによる製作体験もありましたが、来年度は、より伝統産業にこだわった内容にすることも検討したいと思います。

②企画展(家康館)

企画展名	家康合戦譚～いくさにまつわるエトセトラ～		
開催期間	5月25日(土)～7月7日(日)	入場者数	10,215人
概要	家康に関連する代表的な合戦の関係資料とともに、合戦にまつわる家康や三河武士たちの興味深い逸話・伝承についても紹介する。		
自己評価	《来場者の声》 ・史実がしっかりと説明されていて良かったです。 ・知識はほぼゼロで来たので情報量が多く感じましたが満足できる内容だったと思います。 ・戦の写真をみて様子がつかめた。 ・キャプションが細かいので、ガラス面に貼ると見やすいと思う。 ・撮影禁止の理由がわからない。		
	《自己評価》 本展覧会は、徳川家康の初陣から大坂の陣まで、8つの代表的な合戦を取り上げたもので、各合戦の新しい説や家康とその家臣団に関わる逸話・興味深いエピソードなどを、史資料を通じて紹介しました。より多くの方に展示を見ていただけるように、わかりやすくて面白い合戦譚を取り上げること、なるべく平易な文章でキャプションを制作することを念頭に置いて準備を進めていきました。また、歴史好きな方やこれから勉強していきたい方のために、展示する古文書や古記録の「翻刻シート」を作成しました。本展覧会における最大の成果は、館蔵品について改めて見直す機会となったことです。館蔵品を中心に展示を構成することで、館蔵品の研究・調査に多くの時間を費やしました。それらの成果は展覧会の図録としてまとめることができましたので、今後の館蔵品調査や家康研究の一助になれば幸いです。大河ドラマ「どうする家康」が終わり、“家康ブーム”が下火になりつつありますが、本展覧会のような家康やその家臣団にスポットを当てた企画を実施することで、岡崎の地から“家康熱”を再燃させていきます。		
企画展名	第十七回お守り刀展覧会・大和守安定～『壬生義士伝』から広がる世界～(同時開催)		
開催期間	7月13日(土)～9月23日(月祝)	入場者数	57,529人 うち家康館19,414人
概要	「第十七回お守り刀展覧会」は厄よけや子どもの成長などの願いを込めて制作されるお守り刀の全国公募展である。全国の刀匠・刀職者から作品を募り、我が国の伝統に基づく刀剣作品のうちから優秀なものを選んで展示する。また、同時に開催する「大和守安定～『壬生義士伝』から広		

	がる世界～」では『壬生義士伝』の複製原画と、全日本刀匠会が再現した作中に出てくる名刀「大和守安定」を展示する。
自己評価	《来場者の声》 ・制作者のコメントがあり、どういう作風にしたかなどが知れてよかったです。 ・マンガを介して歴史を学べた。 ・刃文の見方等説明があれば理解しやすいと思う。 ・少し文字が小さかった。
	《自己評価》 家康館リニューアルオープン後に初の試みとして、2 つの展覧会を岡崎城・家康館で同時開催しました。「第十七回お守り刀展覧会」は、全国の刀匠、刀職者から作品を募り、優秀な作品を展示しました。今回は初めて岡崎で開催するということで、外装の部第一席を岡崎市長賞に設定しました。名工の写しや現代の刀でしか見ることのできない猫の刃文など、現代刀匠ならではの様々な作品が並びました。「大和守安定～『壬生義士伝』から広がる世界～」は原作・浅田次郎、漫画・ながやす巧の作品「壬生義士伝」の複製原画と、全日本刀匠会が再現した作中に出てくる名刀「大和守安定」を展示しました。ドラマや舞台にもなった名作ということで、多くの方に興味を持ってご覧いただけました。展示期間中限定で壬生義士伝のコミックや刀匠が作ったペーパーナイフや T シャツなどグッズを販売したところ、売れ行きは好調でした。今後も他館や他団体とコラボして、家康館単独では開催することが難しい、規模の大きい企画展にチャレンジしていきたいです。

企画展名	岡崎城跡出土品展Ⅲ～最新の発掘調査と石垣の魅力～		
開催期間	9 月 28 日(土)～12 月 8 日(日)	入場者数	19,367 人
概要	当館では平成 29 年度・令和 2 年度に企画展「岡崎城跡出土品展」を開催し、これまでの発掘調査によって発見された様々な出土品を紹介した。その第 3 弾となる本展覧会では、前回の企画展以降に行われた最新の発掘調査によって出土した資料を展示する。また、岡崎城跡の石垣の魅力と、『岡崎城跡石垣保存修理基本計画』に基づいた石垣保存修理事業についても、あわせて紹介する。		
自己評価	《来場者の声》 ・出土品の説明が写真付きでわかりやすい ・近世以外の遺物もしっかり展示されていた ・映像の前に椅子が欲しい ・写真の日付があるともっと良かった		
	《自己評価》 本展覧会では令和 2 年度以降に行われた発掘調査のうち、7 地点の発掘調査に関する調査の成果や出土品を紹介しました。報告書にまとめられない限り、世に出ることのない出土品を多く陳列することができ、大変貴重な機会になったと考えます。また、発掘調査時の写真とあわせて展示することで、イメージがわきやすくお客様にも好評でした。本展の後半では、岡崎城跡の石垣の魅力や、保存修理事業についても紹介しました。公園内の石垣を見たいけど、見るポイントや魅力がわからないというお話があることを以前から聞いていたため、本展ではおすすめの石垣を写真とともに発信しました。また、石垣の保存修理について、岡崎市がどのような取り組みを行っているのかもあわせて紹介することで、岡崎城公園を中心とする城跡の石垣へ多くの方に目を向けていただけたら幸いです。岡崎城跡の発掘調査の実施には、市民をはじめとする多くの方の理解や関心が必要不可欠です。本展覧会のように今後の発掘調査を前進させる一要素になるような展覧会を実施できるよう努めて参ります。		

企画展名	紙を知り 紙に祈り 紙を切る！ 奥三河花祭の伝承切り紙から切り絵師尾之善の現代切り絵へ		
開催期間	12 月 14 日(土)～1 月 26 日(日)	入場者数	10,225 人
概要	京都を中心に活動する岡崎市出身の尾之屋寶永堂 切り絵師尾之善氏。本展は新作を含む岡崎や京都などの名所、伊藤若冲や歌川広重の絵画、動物ほか多岐にわたる尾之善氏の作品を紹介する岡崎初の里帰り展。「紙を切り造形する」文化は世界各国にみられ、日本でも独自の発展をした「伝承切り紙」があり、本展では紙の歴史を紹介するとともに、世界ユネスコ無形文化遺		

	産にも登録されている中国の「剪紙」や、奥三河の神楽「花祭」を彩る切り紙、日本の伝承切り紙の傑作である「伊勢型紙」などをあわせて展示する。
自己評価	《来場者の声》 ・沢山の作品を見ることができ楽しかったです ・紙の歴史が知れて良かった ・説明パネルが奥の方で細やかな文字・説明がやや見えにくい ・作家の方ともお話しができとてもいい作品でした
	《自己評価》 本展では「尾之善氏の里帰り展」という位置付けを持ちつつ、「紙を切るとは？」を意識して内容構成・資料選定を行いました。これまでは刀剣や武具、合戦などの企画展が多いなか、初めて民俗学的分野や芸術・美術的分野からのアプローチと開示を行いました。92 点という数多くの資料を展示したことで沢山の作品を見られて良かったという好評な意見がある反面、スペースの関係でキャプションの文字が小さい箇所や奥まって読みづらい部分ができてしまいました。またキャプション作成が間に合わず、会期の前半後半で充実度に差が出てしまったのも反省すべき点です。しかし、「学芸員のひとりごつ」という補佐的なキャプションを付すことで、各々の資料を展示した意図を見る方に伝え、展示のストーリー性を共有することができました。また、会期中毎日作家が館内で実演しており、来館者からは実際に見ることでその繊細さを感じ、直接対話することでより楽しめたと大変好評でした。今回はいろいろな「初」を試みる企画展となり様々な懸念がありましたが、それらを乗り越えて新たな可能性を見いだせた展示となりました。今後も家康や三河武士に関する展示だけでなく、「岡崎、愛知、郷土を知る」企画展も企画していきます。

③　企画展に合わせた事業（家康館）

事業名	担当学芸員によるギャラリートーク		
該当企画展	家康合戦譚～いくさにまつわるエトセトラ～		
開催日時	①6 月 1 日（土）②30 日（日）13 時 30 分～	参加者数	①45 人②38 人
概要	企画展会場にて、本展に出品する資料の解説		
自己評価	展示を担当した学芸員が家康の初陣から大坂の陣までの逸話や伝承、新しい学説などを、資料を通して紹介しました。企画展をより面白くご覧いただく一助になるとともに、キャプションでは書ききることができなかったお話もお伝えすることができ、非常に良い機会になったと考えます。ご参加いただいた方からも、新しい学説なども説明してくださり参考になった、などの好意見を多数いただくことができました。企画展の準備における研究成果を展開する場として、今後もギャラリートークなどを計画していきたいと思います。		
事業名	第 1 回巽閣寄席		
該当企画展	家康合戦譚～いくさにまつわるエトセトラ～		
開催日時	6 月 23 日（日）13 時～	参加者数	42 人
概要	※岡崎城公園に記載		
自己評価			
事業名	刀匠による展示解説		
該当企画展	第十七回お守り刀展覧会・大和守安定～『壬生義士伝』から広がる世界～		
開催日時	①7 月 13 日（土）②14 日（日） ③9 月 22 日（日）④23 日（月祝）	参加者数	①46 人②41 人 ③14 人④39 人
概要	お守り刀展覧会会場（特別展示室）にて刀匠による解説を行う		
自己評価	お守り刀展覧会で展示している刀剣について、刀匠の方に解説していただきました。実際に刀剣を制作する職人ならではの話を聞ける貴重な機会ということで、4 回の開催に 140 人が参加しました。キャプションに書いてあることだけでなく、制作過程でのこぼれ話などに多くの方が耳を傾けていました。今後も刀剣の様々な側面を紹介するイベントを企画し、定期的に開催している刀剣展示に興味を持っていただき、何度も訪れていただけるように努めていきます。		
事業名	銘切り		
該当企画展	第十七回お守り刀展覧会・大和守安定～『壬生義士伝』から広がる世界～		

開　催　日	①　7 月 13 日(土)②14 日(日) ③9 月 22 日(日)　④23 日　(月祝)	参　加　者　数	①　48 人②24 人 ②　25 人④39 人
概　　要	真鍮製のプレートに刀匠が文字を刻む		
自 己 評 価	目の前で刀匠によってプレートに文字を刻んでもらえる「銘切り」は人気のイベントです。4 日間で 136 人が参加されました。各々好きな刀剣の銘や家族の名前などを刻んでもらい喜んで持ち帰っていました。職人の技を間近で見ることができるため、多くの方がその技術に感心していました。普段なかなか見ることのできない機会を提供することで、刀剣への興味を持っていただく一助となれたのではないかと考えます。		
事　業　名	日本刀初心者講座と刀剣鑑賞		
該当企画展	第十七回お守り刀展覧会・大和守安定～『壬生義士伝』から広がる世界～		
開　催　日	8 月 10 日(土)14 時～	参　加　者　数	23 人
概　　要	日本美術刀剣保存協会三河支部会員による、日本刀の産地についての解説と、鑑賞する際の所作を中心にした講座。一連の講義を終えた後、日本刀を実際に手に取って鑑賞する。		
自 己 評 価	本講座は「刀剣を実際に触ってみたい」という方に向けて開催しました。まずは座学で日本刀についての概要や鑑賞の所作を学び、その後実際に手に取って鑑賞していただきました。日本刀関連の展覧会でケース越しに観ることはあっても、実際手に取る機会はあまりないので、参加者の方々は講師から解説や鑑賞方法を熱心に聞いていました。日本刀に関しては人気の企画であり、今後もそのファン層を広げるべく定期的に開催したいと考えています。		
事　業　名	記念講演会　家康領国の岡崎城		
該当企画展	岡崎城跡出土品展Ⅲ～最新の発掘調査と石垣の魅力～		
開 催 日 時	10 月 27 日(日)14 時～	参　加　者　数	55 人
概　　要	岡崎市文化財保護審議会委員である奥田敏春氏による岡崎城に関する講演会		
自 己 評 価	企画展の関連イベントとして、本展の基軸となる「岡崎城」に関する講演会を実施しました。家康領国期の岡崎城の歴史と変遷について、奥田氏に詳しくお話しいただきました。とりわけ、本展でも取り上げている「備前曲輪」については、奥田氏が近年論文にまとめられた“新説”を一般向けにわかりやすくご説明いただきました。参加者の方からは「新説が興味深かった」「論拠を示しての解説に納得できた」など、奥田氏の新説や説明についてご好評いただきました。アンケートを見ると 9 割近くの方にご満足いただけたイベントになりましたが、参加者の 7 割が 60 歳以上と、年齢層に偏りがみえました。宣伝方法を分析して、20～30 代の若年層の方にも参加いただけるようなイベントにしていくことが今後の課題と考えます。		
事　業　名	展示＆現地説明会		
該当企画展	岡崎城跡出土品展Ⅲ～最新の発掘調査と石垣の魅力～		
開 催 日 時	11 月 30 日(土)13 時 30 分～	参　加　者　数	49 人
概　　要	社会教育課岡崎城跡係の平山氏を講師に招いて、展示説明会と企画展で紹介した発掘調査の現地説明会を実施。		
自 己 評 価	展示室内では遺物を見ながら解説いただくことで、発掘された経緯や歴史、遺物の用途など多くの疑問が解決されたと思います。また、展示パネルやキャプションだけではわかりづらい内容についても、詳しく説明いただきました。現地説明会では実際に調査地へ足を運んで説明を聞くことで、よりリアルに発掘調査を感じられ、理解が深まったと考えます。岡崎城跡をはじめとする発掘調査の実施には、多くの方の理解や関心が必要不可欠です。本イベントのように、発掘調査の実施を前進させる一助になるような事業を今後とも展開していきます。		
事　業　名	清海堀を探索しよう 2024		
該当企画展	岡崎城跡出土品展Ⅲ～最新の発掘調査と石垣の魅力～		
開 催 日 時	11 月中の土日祝日	参　加　者　数	
概　　要	※観光誘客に記載		
自 己 評 価			
事　業　名	切り絵体験ワークショップ		
該当企画展	紙を知り　紙に祈り　紙を切る！ 奥三河花祭の伝承切り紙から切り絵師尾之善の現代切り絵へ		

開催日時	① 12月22日(日)②1月19日(日)13時～	参加者数	① 23人②30人
概要	切り絵師尾之善氏を講師に招いた切り絵ワークショップ。約30種類の下絵の中から好きなものを選び、それをガイドにして画用紙をデザインナイフで切る。		
自己評価	下絵によっては細かい絵柄もあり、時間内に完成させることができない方もいらっしゃいました。しかし、ほとんどの方が時間内に完成させることができ、「集中してできた」「達成感がある」と喜んでいただけました。実際に紙を切ってみると思っていたよりも難しく「展示されている尾之善氏の作品のすごさがわかった」という参加者もおり、展示作品をより深く鑑賞していただけたと考えます。切り絵ワークショップはこれまでの関連イベントとは違う属性の方が参加されており、今回のワークショップを参考に今後も幅広い方に興味を持って参加していただけるようなイベントを企画していきます。		

事業名	特別御城印の限定販売
該当企画展	紙を知り 紙に祈り 紙を切る！ 奥三河花祭の伝承切り紙から切り絵師尾之善の現代切り絵へ
開催日	企画展開催日と同時
概要	尾之善氏の岡崎城切り絵を使用した特別御城印を岡崎城・家康館に1,000枚限定で販売。
自己評価	今回の企画展のためだけに尾之善氏の岡崎城切り絵を使用した御城印を製作し、1,000 枚限定で販売しました。会期中に開催した切り絵ワークショップの参加者には尾之善氏がサインをするなどし、最終的には 800 枚超を販売することができました。限定での販売は購入者の購買意欲や満足度が高く、今後も企画展にあわせたオリジナルグッズ製作を進めていきます。

④ 入館促進事業(岡崎城・家康館)

事業名	入館割引券配布(岡崎城・家康館)
実施日	・11月中の土日祝日:清海堀を探索しよう ・11月2日(土)～4日(月祝):おかざき匠工芸展 ・11月25日(月):あいちの魅力発見ガイドツアー ・12月15日(日):全国武将サミット2024
概要	園内で開催されるイベント参加者に岡崎城・家康館入館割引券を配布。
自己評価	園内で開催された歴史関連のイベント参加者に、岡崎城・家康館の入館割引券を配布しました。その日限りではなく、後日再来園していただくために 3 月末日を使用期間としました。最終的に岡崎城では 138 人、家康館では 59 人の利用がありました。特に歴史関連のイベントに絞って配布したこともあり、岡崎城・家康館に興味を持っていただき来館するきっかけになったのでないかと思います。来年度からも継続的に歴史関連のイベント開催時には、入館割引券を配布し来館者増に繋いでいきたいと考えます。

事業名	あいち・なごや周遊観光パスポートへの参画(家康館)
実施期間	7月22日(月)～3月14日(金)
概要	愛知県で新しく始まった愛知県観光協会が企画する、県内及び近隣県の美術館・博物館などに平日に無料入館できるパスポートへの参画。
自己評価	利用者は3,500円のパスポートを購入することで、最初に利用した日から90日間、参画している美術館・博物館へ無料で入館ができます。愛知県観光協会による専用サイトやチラシなどで家康館を PR することができ、また様々な施設間における相互送客効果が見込めることもあり、新規顧客の獲得にも繋がったと思います。電子チケットを利用したため、多少着券に時間がかかることもありましたが、大きなトラブルなく入館していただけました。最終的に 502 人の方が来館しました。来年度は岡崎城も参画し、さらなる入館者の増加を目指します。

事業名	愛知県内小学校に向けた校外学習誘致
実施日	9月10日(火)
概要	愛知県内小学校に校外学習で利用いただけるよう、各学校に案内を送付する。
自己評価	愛知県を「尾張・名古屋」「海部・知多」「東三河」「西三河」と 4 分割し、今年度は「尾張・名古屋」の 489 校に送付しました。今年度すぐ効果が出るわけではありませんが、まずは先生方に施設を認知していただくことが重要であると考えます。認知度向上のためにも継続的に送付し、入館者増加に繋げていきます。

⑤　岡崎城イベント

<table>
<tr><th rowspan="2">名称</th><th rowspan="2">開催期間</th><th colspan="3">自己評価</th></tr>
<tr><th>参加者数</th><th>目標値</th><th>自己評価</th></tr>
<tr><td>ちゃれんじシート</td><td>4 月 1 日(月)
～3 月 31 日(月)</td><td>16,997 人</td><td>10,000 人</td><td>今年度は、入館者数がコロナ前の水準を上回るまでに回復したこともあり、目標値を大きく上回ることができました。</td></tr>
<tr><td>夏休み歴史クイズ</td><td>7 月 20 日(土)～
9 月 1 日(日)</td><td>3,042 人</td><td>3,000 人</td><td>酷暑により入館者数が激減するなか、積極的にお声がけすることで目標達成することができました。</td></tr>
<tr><td>歴史クイズ</td><td>11 月 2 日(土)、3 日(日祝)</td><td colspan="3">2 日は雨天のため参加者数が予定の 50 人に達しませんでしたが、3 日は天候が回復し、準備した 100 人に達しました。</td></tr>
<tr><td>桜まつり延長営業</td><td>4 月 1 日(月)～
4 月 7 日(日)
3 月 26 日(水)～
3 月 31 日(月)</td><td colspan="3">桜まつり期間中の夜間営業は、午後 8 時までの延長営業を実施しました。
大きなトラブルもなく、無事に終えることができました。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">特別御城印の販売</td><td>特別限定御城印
「金龍と桜」
4 月 1 日(月)～
5 月 5 日(日祝)</td><td colspan="3" rowspan="6">令和 6 年は辰年であったため、春は「金龍と桜」、夏は「金龍と花火」、秋にはグレート家康公「葵」武将隊の徳川家康公が描いた「龍」の御城印を限定販売し、岡崎城の別名が「龍城」であることのPRにも繋げました。
また、12 月 26 日の家康公生誕日には、寅の年・寅の日・寅の刻に生まれたとされることにちなみ、金龍の御城印に三寅の金印を押印した御城印を、正月三が日には、通常の御城印に金色の梅のスタンプを押して販売しました。
限定御城印は楽しみにされている方も多いため、毎年趣向を凝らしてデザインを工夫しています。来年度も、お客様に喜んでいただける御城印を提供できるよう、デザインを考案してまいります。</td></tr>
<tr><td>特別限定御城印
「金龍と花火」
6 月 29 日(土)～
9 月 30 日(月)</td></tr>
<tr><td>特別限定御城印
「龍」
10 月 12 日(土)～
12 月 28 日(土)</td></tr>
<tr><td>三寅の金印
12 月 26 日(木)</td></tr>
<tr><td>正月三が日限定
1 月 1 日(水祝)～
1 月 3 日(金)</td></tr>
<tr><td>特別限定御城印
「桜」
2 月 23 日(日)～3 月 31(月)</td></tr>
<tr><td>城主体験</td><td>5 月 5 日(日祝)</td><td colspan="3">岡崎城提案事業である「城主体験」を開催し、50 組 73 人の参加がありました。今回の城主体験は、市政だよりを見た方からの問い合わせが多く、本イベントへの関心がかなり高いものであることを実感しました。ゴールデンウィーク期間中の開催ということもあり、家族連れのお子様には特に人気でしたが、陣羽織だけでなくウレタン製の刀や、軍配などの小道具を持って 5 階の展望室まで登り、城主気分を味わえる無料イベントということで、大人の方にも好評でした。
本イベントのように、無料で気軽に参加できるイベントは需要が高く、参加者の満足度も高い傾向にあるため、来年度以降も続けていきたいと思います。</td></tr>
</table>

すす払い	12 月 13 日(金)	今年のすす払いは岡崎城公園関係者(武将隊)だけでなく、地元の岡崎女子短期大学付属嫩幼稚園へ参加の依頼をし、合同での実施となりました。 当日は天候にも恵まれ、爽やかな晴天の下で実施することができました。 今回初めて幼稚園園児にも参加していただいたことで、多くの保護者の方や毎年楽しみにされているお客様などでたいへん賑やかなすす払いとなり、地元の園児たちが岡崎城をより親しみやすい存在に感じられたことと思います。 新たな装いとなったすす払いは、岡崎城の年末の風物詩として例年以上に華やかな彩りを添えることができました。
干支スタンプ	12 月 1 日(日)～ 3 月 31 日(月)	令和 7 年は巳年ということで、岡崎城とかわいらしいヘビをデザインしたスタンプを製作しました。今年度は 11 月頃から問い合わせがあり、楽しみにされている方も多いため、来年の午年のスタンプもお客様に喜んでいただけるようなデザインを考案したいと思います。
ノベルティグッズプレゼント	12 月 26 日(木)	家康公生誕記念として入館者全員に岡崎城オリジナルコースターをプレゼントしました。岡崎城公園の名称変更にあわせて入館者全員無料としたことで多くの方が入館されました。
一俵の重さ体験	通年	1 俵約 60 kgの重さの俵を持ち上げてリアルな重さを体験してもらう企画で、多くの方が足を止めて試していました。かなりの重さで実際に持ち上げるのは容易ではないですが、男性を中心に興味を持っていただいている人気企画なので、今後も続けていきたいと思います。
浮世絵摺り体験	通年	岡崎城 5 階に設置してある多色摺版画です。今年度、前半は東海道五十三次の「藤川棒鼻の図」、後半は岡崎市のマンホールカードデザイン「岡崎城に桜と花火」の図柄を設置しました。来年度は、岡崎城天守や東海道五十三次「矢矧之橋」などのデザインの版木を設置する予定です。
岡崎城漫画パネル	通年	岡崎城オリジナルキャラクター竜神ちゃんと城主‘s がオカザえもんとコラボした顔出しパネルです。漫画の一コマをくり抜いており、そこから来場者が顔を出して出陣のポーズを決めて写真撮影ができるもので、大人から子どもまで人気のフォトスポットです。

⑥　家康館イベント

名称	開催期間	自己評価		
		参加者数	目標値	自己評価
ちゃれんじシート	4 月 1 日(月) ～3 月 31 日(月)	6,833 人	5,000 人	リニューアルした家康館の常設展示内容に合わせて問題を刷新しました。設置場所もエントランスホールから常設展示室入口に変更し、問題に関するヒントを探しやすいようにしました。小学校などの校外学習では多くの学校で採用していただき「より興味を持って見学できた」と好評でした。
夏休み歴史クイズ	7 月 20 日(土) ～9 月 1 日(日)	1,566 人	1,500 人	夏休み中の子ども向けに企画したクイズです。受付で小人チケットをお持ちの方には積極的

				に声掛けをし、目標を超える1,566人が参加されました。
歴史クイズ	11月2日(土)、3日(日祝)	1日目は雨天のため27人の参加でしたが、翌日は天気も良くなり、用意した100人に達することができました。		
甲冑試着体験	1月1日(水祝) ～3日(金)	これまでコロナ禍で中止していた甲冑試着体験を久しぶりに開催しました。事前にHP、SNSで告知したこともあり、客足が途切れることなく、3日間で175人の方に参加していただけました。ほとんどの参加者から「楽しかった」「甲冑の重さを体感できた」と好評でした。		
ノベルティグッズプレゼント	4月27日(土) ～8月2日(金)※1	大河ドラマ館で配布していたステッカー約30種をランダムで来館者に配布しました。「大河ドラマ館が懐かしい」などのお声をいただき、来館者から好評でした。		
	9月1日(日) ～22日(日)※1	オカザえもんがデザインされた「徳川家康 with 徳川四天王」のステッカーを来館者に配布しました。オカザえもんは全国的にも人気があり、配布した方々には喜んでいただけました。		
	12月26日(木)	家康公生誕記念として岡崎城、家康館入館者全員に岡崎城オリジナルコースターをプレゼントしました。岡崎城公園の名称変更にあわせて入館者全員無料としたこともあり、平日にもかかわらず多くの方が入館されました。		
市制記念日市民無料デー	7月1日(月)	市民が本施設を訪れる機会を創出し、現行サービスの認知度向上のため、市制記念日である7月1日を市民無料デーとしました。あいにくの雨模様でしたが、320人の市民が来館しました。「岡崎市民割」「65歳以上無料」などの案内チラシを配布しましたが、まだ認知されていないという感じでした。今後も継続し、認知度向上に努めてまいります。		
桜まつり延長営業	4月1日(月) ～6日(土) 3月26日(水) ～31日(月)	桜まつり期間中は20時まで延長営業を実施しました。大きなトラブルもなく、無事に終了しました。		
刀・槍の重さ体験	4月1日(月) ～3月31日(月)	体験コーナーはリニューアル前から人気のコーナーです。ただ、乱暴に扱う方もいらっしゃるのか、刀の鞘が割れていたり、兜の吹返が折れていたりすることもありました。来館者に楽しく安全に体験していただくために、1日5回の巡視の際には刀、火縄銃などを点検し、破損等があればすぐ対処するように努めました。		
火縄銃の重さ体験				
当時の乗物体験				

※1:ステッカー配布については自主事業

2)　自主事業

①　岡崎城・家康館イベント

事　業　名	家康公生誕記念特別無料デー
開 催 日 時	12月26日(木)
概　　要	徳川家康公生誕の日である12月26日を無料デーとする
自 己 評 価	徳川家康公顕彰条例の制定、岡崎城公園への名称変更にあわせて、集客及び施設周知のためにすべての来館者を無料としました。岡崎城では870人、家康館では805人の来館者があり、多くの方に認知していただく機会になったと思います。

(2)　施設の利用状況

1)　利用状況

①　入場者数

	R6年度	対目標値			対前年比		
	実績(人)	目標値(人)	%	増減(人)	R5年度(人)	%	増減(人)

岡崎城	214,851	260,000	82.6	△45,149	448,241	47.9	△233,390
家康館	97,994	160,000	61.2	△62,006	5,671	1,728.0	92,323
計	312,845	420,000	74.5	△107,155	453,912	△68.9	△141,067

② 利用料金収入

	R6 年度	対目標値			対前年比		
	実績(円)	目標値(円)	%	増減(円)	R5 年度(円)	%	増減(円)
岡崎城	51,798,560	61,663,000	84.0	△9,864,440	109,172,100	47.5	△57,373,540
家康館	28,439,870	48,695,000	58.4	△20,255,130	1,614,040	1,762.1	26,825,830
計	80,238,430	110,358,000	72.7	△30,119,570	110,786,140	72.4	△30,547,710

2) 利用状況に対する自己評価

① 岡崎城

大河ドラマとリニューアルオープンの効果が著しかった前年度と比較すると大幅な減少となり、目標対比は入場者数 82.6%、利用料金収入は 84.0%となりました。しかしながら、コロナ前の水準を大きく上回っており、個人観光客、ツアー団体ともに順調に回復しているため、来年度も岡崎城公園を訪れた方に 1 人でも多く入館していただけるよう、施設情報を積極的に発信していきます。さらに、様々な営業活動に参加した際には、多くの方に岡崎城の魅力を伝えられるよう効果的な PR に努めます。

② 家康館

前年度 3 月におよそ 15 年振りにリニューアルオープンしました。今年度の目標を高く設定したこともあり、目標対比は入場者数 61.2%、利用料金収入は 58.4%となりました。市政だより、HP、SNS での情報発信に加え、岡崎城公園内での歴史関連イベントでの入館割引券配布や、園外での他社イベントとの相互割引を実施したり、愛知県内の小学校へ校外学習誘致の案内を送付するなど、これまでとは違う様々な誘致活動を行ってきましたが、目標には届きませんでした。校外学習の誘致案内などはすぐに効果が表れるものではないので、岡崎城・家康館という施設の認知度向上を図るためにも継続して実施していきます。

今後も HP や SNS など、広く PR できるツールを活用するだけでなく、様々な取り組みを実施し、来館者増加に繋がるよう努めます。さらには、岡崎の歴史・文化に興味を持っていただけるような企画展を開催し、来館者の満足度向上を目指します。

(3) 収支状況

1) 収支状況

① 岡崎城

	項目	内訳	決算額(円)
収入	指定管理料収入		9,823,896
	利用料金収入		51,798,560
	事業収入		0
	便益施設に関する収入	売店収入、手数料収入	12,955,082
	その他収入		592,800
収入計			75,170,338
支出	直接管理運営費	直接人件費、光熱水費、消耗印刷費、修繕費、清掃等委託料、保険料等	66,175,728
	(うち光熱水費・修繕費)	※精算項目	(5,693,896)

	事業費	事業に係る経費	0
	その他	本部経費、当期余剰金等	8,994,610
支出計			75,170,338
差引			0

② 家康館

	項目	内訳	決算額(円)
収入	指定管理料収入		45,417,811
	利用料金収入		28,439,870
	事業収入		0
	便益施設に関する収入	売店収入、手数料収入	4,863,790
	その他収入		6,598,553
収入計			85,320,024
支出	直接管理運営費	直接人件費、光熱水費、消耗印刷費、修繕費、清掃等委託料、保険料等	86,417,386
	(うち光熱水費、修繕費及び市の企画展に関する展示業務)	※精算項目	(14,608,811)
	事業費	事業に係る経費	0
	その他	本部経費、当期余剰金等	△ 1,097,362
支出計			85,320,024
差引			0

2) 収支状況に対する自己評価

① 岡崎城

利用料金収入においては、51,798,560 円で前年度対比 47.5%、57,373,540 円の減収、目標対比 84.0%、9,864,440 円の減収となりました。大河ドラマの影響により入場者数が非常に多かった前年度と比べ、今年度は利用料金収入が大幅な減少となり、アフター大河の誘客を見据えて設定した目標も下回る結果となりました。売店収入においては、12,955,082 円、前年度対比 44.3%、16,267,727 円の減収となりました。前年度は大河ドラマ効果で例年以上に来園者の多く、大幅な増収となりましたが、今年度は大河ドラマ館の閉館に伴い大幅な減収となりました。

支出については、計画的に執行できたものと考えます。

② 家康館

利用料金収入については、28,439,870 円で前年度対比 1,762.1%、26,825,830 円の増収、目標対比 58.4%、20,255,130 円の減収となりました。前年度は 3 月 23 日からの 9 日間のみの営業であったため、前年度対比としてはかなりの増収となりました。それに対して、目標対比についてはリニューアルオープン後ということで目標を高めに設定していたこともあり大きく下回る結果となりました。また、売店収入については、前年度対比 44.8%、5,986,861 円の減収となりました。前年度は大河ドラマ館開館に合わせて新しくできた観光みやげ店で家康館の商品を販売しており、大河ドラマ効果で年間を通じた来園者の増加に伴い増収しましたが、通常の家康館内での販売に戻り、かなりの減収となりました。

支出については、前年度と比較し通常の企画展開催に伴う経費の増加、さらには燃料費高騰による水道光熱費の増加もありましたが、その他については無駄を省き節減に努めたこともあり、全体として支出を抑えることができました。

(4) 市民意見の聴取・反映及びセルフモニタリング(利用者アンケート結果)

1) 岡崎城

① アンケート実施概要

実施期間	回答者数	目標値	アンケート実施方法
4 月 1 日(月)～3 月 31 日(月)	1,563	満足度 89%	アンケート用紙と Web アンケート QR コードを 5 階に設置し、受付及び城内ミュージアムショップで用紙回収またはスマートフォンの画面確認。

② アンケート結果概要

(ア) 属性

① 住所

項目	市内	市外				県外	海外	無回答	合計
		計	尾張	西三河	東三河				
回答数	200	588	(346)	(165)	(77)	742	14	19	1,563
割合(%)	12.8	37.6	(58.8)	(28.1)	(13.1)	47.5	0.9	1.2	100

②年齢

項目	6歳未満	小学生	中学生	15～19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答	合計
回答数	35	397	107	95	171	135	212	222	115	72	2	1,563
割合(%)	2.2	25.4	6.9	6.1	10.9	8.6	13.6	14.2	7.4	4.6	0.1	100

(イ)調査結果

③交通手段

項目	乗用車	バイク	自転車	徒歩	観光バス	公共交通機関				その他	無回答	合計
						JR	名鉄電車	愛環	名鉄バス			
回答数	979	1	69	81	34	99	228	45	16	6	5	1,563
割合(%)	62.6	0.1	4.4	5.2	2.2	6.3	14.6	2.9	1.0	0.4	0.3	100

④誰と

項目	家族	友人知人	1 人	学校	団体ツアー	その他	無回答	合計
回答数	1,117	229	165	7	21	21	3	1,563
割合(%)	71.5	14.7	10.6	0.4	1.3	1.3	0.2	100

⑤施設の周知度

項目	過去に来城	知っていたが	知らなかった	無回答	合計

		初来館			
回答数	507	933	109	14	1,563
割合(%)	32.4	59.7	7.0	0.9	100

⑥来館きっかけ(複数回答可)

項目	リニューアル	大河ドラマ	家康生誕の城	100名城スタンプ	武将隊	観光		学習	HP	SNS
						ツアー	個人			
回答数	103	220	333	183	32	74	557	138	18	43
割合(%)	5.2	11.2	17.0	9.3	1.6	3.8	28.4	7.0	0.9	2.2

項目	TV 新聞 雑誌	その他	無回答	合計
回答数	31	210	22	1,964
割合(%)	1.6	10.7	1.1	100

⑦印象に残ったもの(複数回答可)

項目	1階					2階				
	心礎	鯱瓦	龍神伝説	用材	売店	城郭模型	甲冑	出土品	刀剣	パネル
回答数	149	241	317	56	97	414	306	175	523	258
割合(%)	2.8	4.4	5.8	1.0	1.8	7.6	5.6	3.2	9.6	4.8

項目	3階					4階	5階		その他	無回答	合計
	城下町模型	伝統産業	タブレット	パネル	撮影スポット	シアター	観光案内	版画			
回答数	487	188	333	199	209	772	265	387	32	23	5,431
割合(%)	9.0	3.5	6.1	3.7	3.9	14.2	4.9	7.1	0.6	0.4	100

⑧もっと充実させた方がいい(複数回答可)

項目	1階					2階				
	心礎	鯱瓦	龍神伝説	用材	売店	城郭模型	甲冑	出土品	刀剣	パネル
回答数	43	39	71	28	160	38	95	65	121	79
割合(%)	1.9	1.7	3.1	1.2	6.9	1.7	4.1	2.8	5.3	3.4

項目	3階					4階	5階		その他	無回答	合計
	城下町模型	伝統産業	タブレット	パネル	撮影スポット	シアター	観光案内	版画			
回答数	61	51	95	68	148	213	115	85	39	691	2,305
割合(%)	2.6	2.2	4.1	3.0	6.4	9.2	5.0	3.7	1.7	30.0	100

⑨サービス

項目		大変満足	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	合計
受付・館内職員の接客対応	回答数	867	529	80	8	5	74	1,563
	割合	55.5	33.9	5.1	0.5	0.3	4.7	100

	(%)							
パンフレットの充実度	回答数	786	571	107	13	0	86	1,563
	割合(%)	50.3	36.5	6.9	0.8	0.0	5.5	100
施設の清潔安全度	回答数	951	468	58	5	0	81	1,563
	割合(%)	60.9	29.9	3.7	0.3	0.0	5.2	100

⑩再来城

項目	是非来たい	展示が変われば	機会があれば	来ない	無回答	合計
回答数	723	253	485	14	88	1,563
割合(%)	46.3	16.2	31.0	0.9	5.6	100

記述回答	
評価事項	要望事項
・2 階城郭模型は、城の造りを知らなくてその複雑さに驚いた。 ・3 階壁面解説は解説がとてもわかりやすかった。 ・4 階シアターはアイコンを踏んで映像が変わるのが楽しかった。 ・5 階の版画は他の城にはないので楽しかった。 ・ちゃれんじシートでより詳しく見ることができた。	・1 階心礎は入口付近にあるため、知識のない人は素通りしてしまう。 ・2 階は甲冑をもっとたくさん見たい。 ・3 階城下町模型に城の模型を入れて欲しい。 ・5 階の版画が少し難しい。 ・英語の説明が欲しい。

③　利用者アンケートに対する自己評価

サービスは 3 項目とも 93%以上の評価をいただき、目標の 89%以上を達成することができました。

接客については、常にお客様目線を意識し、丁寧かつ親切な対応を心がけました。

展示については、城郭模型、城下町模型など、城の構造がわかるものや、岡崎城シアターなど映像や音などで体感できるコンテンツへの関心が高く、壁面解説についても「歴史を知ることができた」という好評な意見が多くありました。

今後も、お客様の意見を真摯に受け止め、来場者の満足度の向上を目指すとともに、積極的かつ適切な声掛けにより、気持ちよく過ごしていただける施設を目指してまいります。

2)　　家康館

①　アンケート実施概要(リニューアルオープン後)

実施期間	回答者数	目標値	アンケート実施方法
4 月 1 日(月)～3 月 31 日(月)	1,182	満足度 85%	アンケート用紙を館内に設置し、受付窓口で回収

②　アンケート結果概要(家康館)

(ア)属性

①住所

項目	市内	市外	県外	海外	無回	合計

		計	尾張	西三河	東三河			答	
回答数	295	418	(194)	(152)	(72)	441	2	26	1,182
割合(%)	25.0	35.3	(46.4)	(36.4)	(17.2)	37.3	0.2	2.2	100

②年齢

項目	6歳未満	小学生	中学生	15～19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答	合計
回答数	18	253	60	47	105	77	156	238	150	69	9	1,182
割合(%)	1.5	21.4	5.1	4.0	8.9	6.5	13.2	20.1	12.7	5.8	0.8	100

③性別

項目	男性	女性	無回答	合計
回答数	546	555	81	1,182
割合(%)	46.2	47.0	6.8	100

(イ) 調査結果

④交通手段

項目	自家用車	観光バス	電車		バス	バイク	自転車	徒歩	その他	無回答	合計
			JR	名鉄							
回答数	722	14	67	178	19	8	41	110	14	9	1,182
割合(%)	61.1	1.2	5.7	15.1	1.6	0.7	3.5	9.3	1.1	0.7	100

⑤誰と

項目	1人	家族	友人知人	学校団体	ツアー	その他	無回答	合計
回答数	281	697	158	24	6	4	12	1,182
割合(%)	23.8	59.0	13.4	2.0	0.5	0.3	1.0	100

⑥施設の周知度

項目	知っていた来館経験有	知っていた初来館	知らなかった	無回答	合計
回答数	491	329	339	23	1,182
割合(%)	41.5	27.8	28.7	2.0	100

項目	3か月以内	6か月以内	1年以内	1年以上前	無回答	合計
回答数	113	74	80	94	110	471
割合(%)	24.0	15.7	17.0	20.0	23.3	100

⑦来館きっかけ(複数回答可)

項目	HP	新聞・雑誌・TV	口コミ紹介	観光会社	観光	校外学習	企画展	学習
回答数	182	67	58	12	404	24	143	86
割合(%)	13.4	4.9	4.3	0.9	29.8	1.8	10.6	6.3

項目	家康に興味	甲冑試着	その他	無回答	合計

回答数	236	8	130	6	1,356
割合(%)	17.4	0.6	9.6	0.4	100

⑧展示満足度

項目		大変満足	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	合計
企画展	回答数	565	427	107	7	4	61	1,171
	割合(%)	48.3	36.5	9.1	0.6	0.3	5.2	100
常設展示室	回答数	612	451	74	4	3	38	1,182
	割合(%)	51.8	38.2	6.3	0.3	0.2	3.2	100
決戦関ヶ原	回答数	684	384	61	4	3	46	1,182
	割合(%)	57.9	32.5	5.2	0.3	0.2	3.9	100
体験コーナー	回答数	649	374	96	9	2	52	1,182
	割合(%)	54.9	31.6	8.1	0.8	0.2	4.4	100

⑨印象に残った展示

項目	企画展	常設展示室	決戦関ケ原	体験コーナー	なし	無回答	合計
回答数	410	201	352	177	11	31	1,182
割合(%)	34.7	17.0	29.8	15.0	0.9	2.6	100

⑩歴史理解度

項目	よくわかった	わかった	少しわかった	わからない	よくわからない	無回答	合計
回答数	548	438	161	8	6	21	1,182
割合(%)	46.3	37.1	13.6	0.7	0.5	1.8	100

⑪サービス

項目		大変満足	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	合計
受付・館内職員の接客	回答数	674	428	58	3	3	16	1,182
	割合(%)	57.1	36.2	4.9	0.2	0.2	1.4	100
パンフレットの充実	回答数	610	453	88	4	2	25	1,182
	割合(%)	51.6	38.3	7.5	0.3	0.2	2.1	100
施設の清潔・安全度	回答数	733	377	43	4	1	24	1,182
	割合(%)	62.0	31.9	3.6	0.4	0.1	2.0	100

⑫再来館

項目	是非来たい	展示が変われば	機会があれば	来ない	無回答	合計
回答数	617	337	211	8	9	1,182
割合(%)	52.1	28.5	17.9	0.7	0.8	100

記述回答	
評価事項	要望事項

・ジオラマがとにかくわかりやすい。 ・家康に焦点をあてており史実の流れがわかりやすかった。 ・キャプションのコラム的なものがマニアックでおもしろかったです。	・エアコンが効きすぎている。 ・撮影ができる、できないの張り紙を大きくしてほしい。 ・展示が見やすかったです。もう少し字が大きいと助かります。

③ 利用者アンケートに対する自己評価(家康館)

展示満足度については 95.1%、サービスについては「接客」は 98.2%、「パンフレットの充実」は 97.4%、「清潔・安全度」は 97.5%という高評価をいただきました。「ジオラマがわかりやすい」「一振りずつの説明がわかりやすかった」など展示がわかりやすいというご意見もいただきました。館内の温湿度に関しては展示する資料保護のためには注意を払わなければならない点であり、ご理解いただけるよう、その旨を表示するなど対応しました。展示で設置するキャプションの文字の大きさについては、実際に設置してみてきちんと読める大きさかどうか確認しています。今後も資料などとのバランスをとって可能な限り読みやすい大きさにします。今後も来館者の貴重な意見を真摯に受け止め、展示内容はもちろんのこと、サービスについてもさらなる満足度向上を目指していきます。

(5) その他の自己評価

1) 利用者へのサービスに対する自己評価

① 岡崎城

項　　目	自己評価
利用案内	様々な電子チケットや割引企画に参画し、利用促進に取り組みました。混雑時には入口付近にスタッフを配置し、御城印やグッズのみを購入したい方や、日本 100 名城スタンプのみを押したいお客様をミュージアムショップへ誘導しました。また、家康館で共通入場券を購入済の方が間違って入場券を購入する列に並んでしまうことのないよう、外階段に専用の入場レーンを設け、お声かけをするなど、臨機応変かつ適切な接客対応に努めました。
利用支援	近年の需要拡大を鑑み、券売窓口とミュージアムショップにキャッシュレス決済を導入しました。クレジット、QR コード、電子マネーなど、多様な決済方法に対応できるようになり、お客様の満足度の向上に繋げることができました。また、タクシー呼び出しサービスの実施やモバイルバッテリーの貸し出し、ベビーカーやコインロッカーに入らない手荷物を受付でお預かりするなど、お客様の利便の向上を図りました。
安全安心	適切な空調管理に努め、猛暑の時期には券売所の外にサーキュレーターを置いて、暑いなか来てくださったお客様に少しでも涼しく感じていただけるよう、熱中症対策を講じました。また、館内で体調不良者が出た場合には、ソファで休んでいただくようお声掛けをし、さらにご要望があればできる限り対応するなど、お客様に寄り添った接客をしました。

② 家康館

項　　目	自己評価
利用案内	利用促進のため様々な電子チケットや割引対応に参画しました。受付ではどんな場合でも迅速に対応できるよう、マニュアルを作成しスタッフ全員で共有しました。電子チケットを着券する際に多少時間がかかる場合もありましたが、丁寧な対応を心掛けたこともあり、大きなトラブルはありませんでした。今後も様々な電子チケット等が増えていき手順が煩雑になるかと思いますが、迅速かつ丁寧な対応ができるよう努めます。
利用支援	本格的にキャッシュレス決済を導入し、クレジットカード、電子決済、QR コードのすべてに対応できるようになりました。繁忙期での対応を経験し、スタッフも慣れてきたこともありほとんどお待たせすることがなくなりました。また、9 月 16 日からはモバイルバッテリー、9 月 18 日からは電動車いすの貸出なども始め、来館者が快適に過ごしていただけるよう努めました。
安全安心	地階に常設している体験コーナーは大人から子どもまで人気のコーナーです。来館者が安心して楽しんでいただけるよう、巡視の際にはコーナーに設置している打刀や太刀、火縄銃などに不具合がないかどうか確認し、破損などがある場合は可能な限り補修などを行い、安全確保に努めました。

2)　利用者のニーズの把握に対する自己評価(アンケート以外)

① 岡崎城

項　　目	自己評価
施設管理	1日5回の巡視を行い、設備や機器の点検及び、温湿度の確認をしました。また、来場者に気持ち良く過ごしていただけるよう、トイレや展示室の衛生管理に努めました。
事業運営	「岡崎城の守り神　竜神ちゃんX」を活用し、岡崎城公園のタイムリーな情報を随時提供しました。また、岡崎城オリジナルグッズとして職員自らデザインしたオリジナルのクリアファイル 3 種を開発し、人気商品として売り上げを伸ばすことができました。

② 家康館

項　　目	自己評価
施設管理	1 日 5 回の巡視の際には、館内の不具合や温湿度などを確認しました。特に、夏場は館内が高湿度になることがあり、展示資料保護のため空調の設定温度の変更、ダンパーの開閉を調節するなど展示環境の適切化に努めました。来館者には資料保護のためである旨の表示をするなどご理解いただくように努めました。
事業運営	リニューアルオープンしてから通常通りの企画展が始まりました。1 つの企画展に複数の関連イベントを開催し、何度も訪れていただけるよう満足度向上に努めました。企画展や関連イベントについては HP や SNS を活用して PR しました。また、コロナ禍以来中止していた甲冑試着体験を実施しました。アンケートで「甲冑体験したい」という声もあり、今後も定期的に開催していきます。

3)　苦情(要望)対応に対する自己評価

① 岡崎城

主な苦情内容	対応
・トイレの使い方がわかりづらいとの意見を複数いただいた。	センサースイッチの場所等に使い方の説明を書いた POP を貼ってわかりやすくした。
・シン・家康公お城クーポンの案内が、券売所の奥にあった。支払い前に知っていたら購入したのに。	シン・家康公お城クーポンのポスターを入口に移動した。
・ロッカーがわかりにくい。	入口にわかりやすく設置してあるが、ロッカー側面にも案内を貼り出し、来場者の視覚に入りやすくした。
《苦情対応に対する自己評価》 初めて来場されたお客様から、「わからなかった」、や「気づかなかった」などのご意見をいただいた場合、迅速に対応し、改善することができました リニューアルオープン以降、施設としても以前とは異なる設備や配置となり、お客様からのご指摘で改めて気づかされることも多かったため、来場者にとってより快適な施設となるよう、今後もお客様のご意見を真摯に受け止めサービスの向上に努めてまいります。	

② 家康館

主な苦情内容	対応
・順路がわかりにくい	地階を見ずに退館しそうになる方が多かったため、地階への階段手前に矢印看板を設置しました。矢印だけではわかりにくいため「常設展示室は地階へ」という案内も追加しました。
・アンケートを書く机がない	アンケート設置場所にはベンチはありますが、スペースが限られ机が設置できないため、クリップボードを置いてその代わりとしました。

・撮影禁止の場所がわかりにくい	常設展示室には入口に「撮影禁止」看板を設置し、撮影可能な資料(甲冑 2 領)については、個別に「撮影OK」の表示を貼りました。企画展についてはその都度変わるので、企画展示室 1・2 の室内に企画展ごとに「撮影 OK」「撮影禁止」「一部撮影禁止」などの看板を設置しました。
《苦情対応に対する自己評価》 リニューアルしてから館内の案内表示がシンプルでわかりやすくなりましたが、地階への階段に気付かずに通り過ぎてしまう方もいらっしゃいました。階段の案内表示については既設の案内表示にプラスして、通路の妨げにならないようにしっかりと目に付くような場所に置いた矢印看板に、さらに「常設展示室は地階へ」と文字を追加し地階へと促すように努めました。撮影禁止の場所がわかりにくいとの意見には、展示室ごとに「撮影 OK」「撮影禁止」看板を設置し、さらに受付職員にも情報共有し、来館者に案内しました。今後もお客様の意見を真摯に受け止め、お客様目線での運営を心掛け満足度向上に努めます。	

3 観光誘客業務

(1) 事業の実施状況

1) 観光客の誘客及び市内周遊についての取り組み

① 徳川家康生誕の地としての強みを活かした事業

事業名	全国武将サミット～家康について行っていいですか？～	利用施設	二の丸能楽堂 二の丸広場
実施日	12 月 15 日(日) 10 時～17 時	参加者数	1,200 人
概要	全国のメジャーな武将隊をゲストに招き、共同でイベントやパフォーマンスを開催。他武将隊との交流を通じて活動の場を広げる。グレート家康公「葵」武将隊がメインとなって、能楽堂では各武将隊の演武を、二の丸広場ではキッチンカー、武将隊 PR 物販ブースを展開。		
自己評価	《参加者の声》 ・武将サミットが本当に楽しいので毎回足を運んでしまう。回数増やしてほしい。 ・様々な武将隊に出会えて、元気をもらえる。 ・はじめて見に来たけど、葵武将隊だけではなく他隊も見たくなって、朝だけで帰るつもりが結局終日観覧した。 ・全国選りすぐりの武将隊に岡崎で会えるのが嬉しい。 ・葵武将隊がやっぱり 1 番かっこいい。 《自己評価》 全国から選りすぐりの人気武将隊 10 隊を招聘し、能楽堂ステージおよび二の丸広場の両会場にて、多くの来場者にご満足いただける賑わいを創出しました。 メイン会場となる能楽堂ステージは、岡崎市長による開会のご挨拶で幕を開け、進行は葵武将隊出身の福田勝明氏にご担当いただきました。福田氏の洗練されたトーク力により、ステージ全体が大いに盛り上がり、イベントの円滑な進行に大きく貢献いただきました。 また、今年度はインクルーシブな取り組みの一環として、手話通訳者を配置し、聴覚に障がいのある方々にも安心してご参加いただける環境を整備しました。 一方で、立見観覧時の通路確保や、手製の兜・槍などの持ち込み物に関して、一部の来場者よりご意見を頂戴しております。今後の大規模イベントでは、より一層の安全対策と事前案内の徹底が必要であると認識しており、引き続き改善に努めてまいります。 二の丸広場では、キッチンカーの出店や各武将隊によるブース展示を実施し、従来の武将隊ファン層に加え、これまで接点のなかった新たな来場者層にも楽しんでいただける空間づくりを意識しました。全体として、多様な来場者にご満足いただけるイベントを実現できたと考えておりますが、今後も一層の安全性・利便性の向上を目指し、継続的な改善に取り組んでまいります。		
事業名	グレート家康公「葵」武将隊検定	利用施設	巽閣 城南亭
実施日	7 月 27 日(土)14 時～16 時 30 分 8 月 17 日(土)14 時～16 時 30 分 9 月 7 日(土)14 時～16 時 30 分 9 月 21 日(土)14 時～16 時 30 分 10 月 5 日(土)14 時～16 時 30 分 11 月 9 日(土)14 時～16 時 30 分	参加者数	100 人
概要	各武将自らが検定問題を全 50 問作成し出題する。問題は全部で50問あり、1 問につき 2 点の 100 点満点とする。70 点以上を合格とし、合格者には認定証を渡す。受験料は 1 人 3, 000 円とし、受験者には限定で作製したスポーツタオルと缶バッヂをプレゼントする。この受験を機に、三河武士のことをより深く知ってもらい、より岡崎公園を楽しんでいただくきっかけとする。		
自己評価	《参加者の声》 ・武将様の勉強をする良い機会になった。 ・推しのことを勉強し、より武将を好きになった。 ・合格できて嬉しかった。限定のタオルと缶バッヂ大切にします。 ・勉強は大変だったけど、やって良かった。 《自己評価》 今回の武将検定企画は、武将隊として初の試みとなりました。参加者の多くは推し武将の検定		

	のみを選択される傾向が見られましたが、中には複数の武将の検定に挑戦される方もいらっしゃり、幅広く興味を持っていただけたことは非常に意義深い成果であったと考えています。参加者からは「勉強は大変だったがやって良かった」「良い機会になった」「より武将を好きになった」といった感想が寄せられ、本企画の狙いであった武将への理解促進や愛着の醸成に一定の効果があったと思います。 また、検定問題の作成・解説にあたっては、武将隊メンバーによる作業に多大な時間と労力を要しました。また、その内容の確認には学芸員の方々にも多くのご協力をいただきました。これらの工程においては、準備期間が十分でなかったことが一部に影響を及ぼしたため、今後同様の事業を行う際には、スケジュールに十分な余裕を持ち、円滑な準備体制を整える必要性を強く感じました。 当日は想定を超える飛び入り参加者があり、一部で座席や問題用紙の準備に支障が生じる場面も見受けられました。今後の実施にあたっては、完全予約制の導入や定員管理の徹底など、運営体制の見直しを図ることで、より良い参加環境の提供を目指していきます。 初回としての課題はありますが、参加者の満足度は高く、今後の継続・発展に十分な手応えを得ることができた企画であったと思います。

② 岡崎時代の若き家康公にスポットを当てた観光おもてなし事業

事業名	わし物語	利用施設	二の丸能楽堂
実施日	1月19日(日)11時～12時、14時～15時 1月25日(土)11時～12時、14時～15時 2月8日(土)11時～12時、14時～15時 2月9日(日)11時～12時、14時～15時 3月22日(土)11時～12時、14時～15時	参加者数	886人
概要	有料公園施設を利用した、武将自ら自身の生涯を語る一人芝居。入場料500円。		
自己評価	《参加者の声》 ・わかりやすいのに面白くて迫真の演技で圧倒されました。 ・初めて見ました。良かったです。歴史上のことを語り、その時の思いを知ることができました。 ・初めて見たから面白かった。また見たいと思う。今まで見ていなかったのが勿体ないと思ったので人にも勧めようと思った。 《自己評価》 これまでの公演では、一公演につき一武将の上演を基本としておりましたが、さらなる来場者数の増加を目的として、一公演で二人の武将を登場させる形式へと変更しました。併せて、入場者特典として、1 月には缶バッジおよび手ぬぐいを、2 月にはアクリルキーホルダーをご用意しました。ちょうど徳川家康および本多忠勝の出立が迫る時期と重なったこともあり、特典との相乗効果により、従来比で約 2 倍の来場者数を記録しました。また、実施後のアンケートでは、「一公演で二人の武将を見ることができ、お得感がある」「武将の迫真の演技に感動した」といったご意見が多く寄せられました。厳冬期での開催にも関わらず、ご来場の皆様から高い満足度をいただける内容となり、大変意義のある公演となりました。		

③ 岡崎時代の若き家康公にスポットを当てた特別感のある付加価値イベント

事業名	岡崎戦国謎解きゲーム～欠けた小判の秘密～	利用施設	岡崎城公園内
実施日	7月20日(土)～10月27(日)	参加者数	1,875人
概要	葵武将隊を用いたストーリー仕立てのゲーム。岡崎城公園全体で回答を導く内容で、岡崎城・家康館の入館を促進する。クリアできた方には記念品を提供。子どもから大人まで楽しめる内容にする。		
自己評価	《参加者の声》 ・謎解きをしながら施設を含めた園内を巡ることができて面白かった。 ・写真を撮れない場所の謎も、LINE を使って後から確認できるようになったのがよかった。 ・エアコンの効いた場所をあちこちに用意してもらえたので助かった。 ・難易度もちょうどよく、最後まで楽しく謎解きすることができた。		

	《自己評価》 今年度は、家康館が大河ドラマ館として運営されていた前年度とは異なり、2 年ぶりに謎解きイベントを再開しました。開催にあたっては、例年に比べて夏場の猛暑が厳しく、初日から参加者数が伸び悩んだほか、夏休み期間中も想定を下回る売上となるなど、集客面では厳しい立ち上がりとなりました。しかしながら、9 月下旬以降は徐々に参加者が増加し、結果として参加キットの販売数は 1,290 冊に達しました。内容面においては、謎解きそのものの構成にご好評をいただき、武将やスタッフの助けを得ながら試行錯誤を重ね、謎を解き明かした際の達成感が、多くの参加者の満足に繋がったものと捉えております。 また、9 月・10 月には武将による謎解きツアーも複数回実施し、武将隊ファンのみならず、初めて謎解きに挑戦される方々にも楽しんでいただけたことは、大きな成果であると考えています。 今回のイベントでは新たな試みとして、途中で難易度の異なる 2 つのルートを設け、参加者が自分のレベルや興味に応じて選択できる形式としたことで、より多くの層の方に楽しんでいただくことができました。最終的に同じ正解にたどり着く仕組みによって、全体の一体感も確保できたと考えております。 さらに、新たな集客施策としてインスタグラム投稿キャンペーンを実施し、SNS 上での参加者の自発的な拡散を促しました。多くの方がキットの表紙などを投稿してくださいましたが、結果としては前回開催時の販売数には及ばない結果となりました。 厳しい天候条件などの影響もあった中で、家族連れを中心に子どもから大人まで幅広い層の方々にご参加いただけたことは、本イベントが根強い人気を有している証左であると受け止めております。来年度以降も、さらに内容を充実させ、広報方法も工夫しながら、より満足度の高いイベントづくりに努めてまいります。

④　岡崎城公園文化財等の活用及び認知度向上に繋がる事業

事　業　名	清海堀を探索しよう 2024	利　用　施　設	岡崎城北側清海堀
実　施　日	11 月 3 日（日祝）10 時～12 時、13 時～15 時 11 月 4 日（月祝）10 時～12 時、13 時～15 時 11 月 9 日（土）10 時～12 時、13 時～15 時 11 月 10 日（日）10 時～12 時、13 時～15 時 11 月 16 日（土）10 時～12 時、13 時～15 時 11 月 17 日（日）10 時～12 時、13 時～15 時 11 月 23 日（土祝）10 時～12 時、13 時～15 時 11 月 24 日（日）10 時～12 時、13 時～15 時 11 月 30 日（土）10 時～12 時/13 時～15 時	参　加　者　数	818 人
概　　要	普段立ち入ることができない清海堀に下りて土塁及び石垣を間近で見学する。		
自 己 評 価	《参加者の声》 ・上からではよく見えない矢穴や積み方がわかってよかった。説明板があったのでわかりやすかった。 ・堀底を山城以外で歩ける経験はめったになく、ありがたい。 ・普段は入れない所に入れる特別感。いつもと違う角度からお城を見られてよかった。 ・毎年楽しみにしている。これからも続けて欲しい。 ・平山先生の解説が素晴らしかった。 ・説明する人がいるといい。 《自己評価》 前年度より実施方法を見直し、従来の「スタッフが堀下に常駐して解説を行う形式」から、「解説パネルの設置」と「期間中 1 回の現地説明会実施」へと移行しております。今年度もこの方式を継続し、11 月 16 日（土）には社会教育課 岡崎城跡係職員による現地説明会を開催しました。説明会は 13 時 15 分から開始しましたが、13 時の受付開始時点で定員に達し、参加者の皆さまの関心の高さを改めて実感しました。内容についても、発掘調査の成果やそこから読み取れる歴		

	史的背景、さらに講師の想像を交えた興味深い解説に、参加者は真剣に耳を傾けており、終了後には多くの質問が寄せられるなど、非常に充実した時間となりました。残念ながら、11 月 2 日(土)の回は雨天のため中止となりましたが、結果として今年度の目標である 800 人を上回る 818 人の方にご参加いただくことができました。また、新たな取り組みとして、参加者に岡崎城および三河武士のやかた家康館の入館割引券を配布し、来館促進を図りました。実際に割引券を利用しての入館も確認されており、一定の送客効果が見られたと捉えております。 本事業は、今年度も「あいち県民ウィーク連携事業」として開催し、昨年度に引き続き、あいち県民の日・あいちウィークの特設サイトにも掲載されました。第 6 回目となる今回は、県より連携事業としての登録打診も受けるなど、年々認知度と注目度が高まっております。 来年度以降は、参加者アンケートで多く寄せられた「現地での対面解説の復活」にも対応できるよう検討を進め、より満足度の高いイベント運営に努めてまいります。

⑤ 周辺エリアの夕方以降の観光誘客と観光消費拡大に繋がる事業

事　業　名	おかざき宵まいり	利　用　施　設	岡崎城岡崎城公園内
実　施　日	12 月 7 日(土)16 時 45 分～20 時 12 月 8 日(日)17 時～20 時 12 月 14 日(土)17 時～20 時 12 月 15 日(日)17 時～20 時 12 月 21 日(土)17 時～20 時 12 月 22 日(日)17 時～20 時		
概　　要	岡崎市との協力により、岡崎城公園大手門から松應寺までを幻想的にライティングし、地域回遊を促進する夜間イベント。松應寺横町のお店や冊子、康生エリアのクーポンを通じて地域の飲食店や観光スポットと連携し、大人から子どもまで楽しめる場を創出。新たな夜の公園活用の形を提案する。		
自 己 評 価	《参加者の声》 ・竹あかりが幻想的で、非日常を味わえました。 ・和傘と提灯の組み合わせが素敵で、写真映えしました。 ・クーポンが冊子についていればもっと色々なお店を試せたかも。 ・スタンプラリーの場所がわかりやすくなっていて、家族で楽しめました。 ・武将ツアーが面白かった。また参加したいです。 《自己評価》 今年の宵まいりは来園者数が前年より増加したと感じられ、特に日曜日の集客が例年と比べて好調でした。最終日の売上が最も高かったことから、イルミネーションの宣伝効果が発揮されたと考えられます。武将ツアーとの連携や、竹あかり・和傘・提灯の組み合わせも好評で、メディアにも多く取り上げられました。スタンプラリー受付の場所変更も案内効率が向上し、全体的にスムーズな運営ができました。一方で、冊子にクーポンが掲載されていないことへの要望が多く、来年度の改善点とします。		

⑥ 市内各地域への回遊促進と観光消費拡大につなげる事業

事　業　名	シン・家康公お城クーポン		
実　施　日	4 月 1 日(月)～3 月 31 日(月)	販　売　枚　数	1,430 枚
概　　要	岡崎城入場券、シン・家康公お城クーポン限定御城印、観光みやげ店おかざき屋または道の駅藤川宿 300 円お買物券、八丁味噌赤だし 100gパック、その他特典が付いたクーポンとして販売する。市内をゆっくり巡り、岡崎市の魅力を再発見しようというコンセプトとなっており、従来のクーポンに新たな魅力を追加したクーポンとなっている。		
自 己 評 価	今年度より「シン・家康公お城クーポン」として新たな内容で商品化しました。安価(700 円)で提供でき、市内をゆっくり巡っていただきたいという思いから、岡崎城入場券、シン・家康公お城クーポン限定御城印、観光みやげ店おかざき屋または道の駅藤川宿 300 円お買物券、八丁味噌赤だし 100gパック、その他特典は継続し、今年度新たに大樹寺宝物殿・大方丈、瀧山寺宝物殿の割引入場および両寺院でのクーポン販売を委託しました。松平家の菩提寺である大樹寺での反応は良く、カクキュー八丁味噌・岡崎市観光協会名鉄東岡崎駅観光案内所と並ぶほどの取り		

	扱い実績を残すことができました。また、シン・家康公お城クーポン限定御城印においては、10月以降お渡しするものをカラー4 色刷りとし、より満足度の得られるものを提供できるようにしました。今後も「徳川家康公ゆかりの地岡崎市をゆっくり楽しむ！」のコンセプトを継続し、岡崎市の魅力を発信できるようブラッシュアップしていきたいと考えます。
事　業　名	御朱印&グルメ手帖(まち歩きマップ)
実　施　日	4 月 1 日(月)～
概　　要	岡崎公園を起点とした地域回遊のきっかけづくりとして、御朱印巡りの案内と岡崎城・家康館の入館割引の特典が付いた地域回遊マップを継続して配布する。 配布場所は岡崎公園、岡崎市観光案内所(名鉄東岡崎駅案内所、JR 岡崎駅案内所、籠田案内所)、協力店舗及び寺社など。
自 己 評 価	前年度 3 月に作成したまち歩きマップの第 3 弾を継続して配布しました。第 3 弾は御朱印をいただける神社仏閣はそのままに、ゆっくりと岡崎を巡っていただくことをテーマとし、くつろげるカフェを中心に店舗を掲載しました。第 2 弾同様に、新鮮な情報を伝えるため掲載店舗は新たに開店した店舗を中心に掲載しましたが、1 年経った現在ではすでに閉店している店舗もありました。新たに開店した店舗であっても 1 年経たずに閉店してしまうことあり、掲載店舗の選択には十分な注意が必要であると感じました。今後も常に新鮮で満足していただけるような情報を提供できるよう、近隣地域との連携を図っていきます。
事　業　名	奥殿陣屋との相互割引
実　施　日	通年　　参　加　組　数　4 組
概　　要	①　岡崎城、家康館の入場券の提示で、奥殿陣屋のお茶や甘未を割引価格で提供。 ②　奥殿陣屋では、岡崎城、家康館、城南亭立礼席の割引券を配布。
自 己 評 価	岡崎城において、相互割引の適用を受けた利用者は 4 組でした。一方、家康館および城南亭においては、該当割引の利用実績は確認されませんでした。現在の利用状況を見る限り、本制度の活用は限定的であり、実際の誘客効果には課題があると考えられます。特に、岡崎城周辺施設と奥殿陣屋では、訪問者層や観光動線が大きく異なるため、相互送客の観点での効果が出にくい状況と受け止めております。今後、制度の継続にあたっては、費用対効果や運用の簡便性を含めた再検討が必要と考えております。両施設間での相互連携のあり方について、改めて協議の機会を設けることが望ましいと考えます。
事　業　名	コスオール！with 岡崎城 3.29
実　施　日	3 月 29 日(土) 9 時～19 時(終了 19 時 30 分)　　参　加　者　数　77 人
概　　要	岡崎パブリックサービスとみらい和(コスオール)との共催のコスプレイベント。 みらい和(コスオール)が主体となり運営をした。参加は事前予約制とし、ルールの徹底を図った。奥殿陣屋と協力することで両施設間の回遊を狙う。
自 己 評 価	《参加者の声》 ・能楽堂を夜間に利用でき、幻想的な雰囲気が楽しめました。 ・能楽堂のかがり火が良い演出となり、素晴らしい写真が撮れました。 ・城南亭の庭園の桜がきれいでした。 ・公園内の飲食店がコスプレのまま利用できて嬉しかった。(店舗には事前に了承を得た。) ・少し寒かったが天気が良く、良い雰囲気で撮影ができました。 《自己評価》 本年度で 5 回目となる岡崎城公園でのコスプレイベントを実施し、有料参加者は 77 人となりました(前年より 73 人減)。今年度は、別のコスプレ団体によるイベントが同日、同じく桜城橋および岡崎城公園で開催された影響もあり、参加者が分散したことで人数減少に繋がったと考えられます。当日は天候に恵まれ、桜の開花も始まっていたことから、公園内の雰囲気も良く、参加者からは撮影環境に対して好意的な声が多く寄せられました。岡崎城および三河武士のやかた家康館への入館者はそれぞれ 6 人・3 人で、特に家康館の地下体験コーナーでは、館内展示との一体感を楽しみながら撮影される様子が見受けられました。また、能楽堂を一般開放したことで、訪れた一般の方々にもコスプレイベントを身近に感じていただくことができ、舞台上での撮影風景を興味深く見学される方の姿が多く見られました。これは、イベントが地域住民や観光客への新たな観光資源としても機能している証と捉えております。新たな試みとして、会場間を結ぶシャト

	ルバスを運行した結果、奥殿陣屋への訪問が 4 組確認され、公園周辺の回遊性向上にも一定の成果が見られました。今後は、他団体との開催時期の重複を避ける調整を行うとともに、桜の見頃など季節要素との連動性も鑑みながら、より多くの参加者を迎えられるよう、引き続き企画内容や広報体制を工夫してまいります。

⑦ 市内観光資源の周遊促進を図る事業

事　業　名	葵武将隊による「どうする家康」聖地巡礼ツアー		
実　施　日	10 月 31 日(木)10 時～12 時	参　加　者　数	6 人
概　　要	2023 年の話題の大河ドラマ「どうする家康」にまつわる場所、すなわち“聖地”を、グレート家康公「葵」武将隊の徳川家康と巡るウォーキングツアー。今回は、家康公最愛の正室“瀬名姫”を追うコース。若宮八幡宮からスタートし、祐傳寺、岡崎康生郵便局と巡り、ゴールの岡崎城公園まで約 2.3km を歩く。参加料 500 円。		
自 己 評 価	《参加者の声》 ・瀬名姫、信康の供養ができてよかった。 ・殿の解説が細かく丁寧でわかりやすかった。 ・若宮八幡宮の入り口がわかり辛かった。 《自己評価》 昨年放送された大河ドラマに関連し、「瀬名姫を巡る」をテーマとした聖地巡礼ウォーキングツアーを実施しました。岡崎市内には多くの大河ドラマゆかりの地が点在しておりますが、参加者の安全性と徒歩で無理なく巡れる距離を考慮し、慎重にコースを選定しました。 当日は、徳川家康公の嫡男・信康の首塚がある若宮八幡宮をスタート地点とし、瀬名姫の供養墓がある祐傳寺、瀬名姫の住居跡とされる岡崎康生郵便局へと進みました。また、予定にはありませんでしたが、参加者の関心に応じて、本多忠勝の菩提寺である西岸寺にも立ち寄る柔軟な対応を行いました。各史跡では、大河ドラマにおける描写と実際の歴史を照らし合わせながら解説を行い、時に笑いを交えることで、参加者からは「わかりやすく、楽しく学べた」との好評をいただきました。ツアーの終盤では、康生郵便局から岡崎城公園までの道のりを康生通り経由で進み、備前屋、オーカジェラート、永田屋精肉店、暴れん坊チキンなど、地元グルメを楽しんでいただける立ち寄りスポットを設け、観光面の魅力も感じていただける内容としました。 なお、平日の開催ということもあり、参加者数は 6 人(当日キャンセル 1 人含む)とやや少なめとなり、うち 5 人が武将隊ファンの方々でした。唯一の非ファン参加者からは、「歴史や大河ドラマには関心がないが、ウォーキングイベントとしての参加に興味があった」との声もいただいております。当初は大河ドラマファンや、それをきっかけに岡崎や歴史に興味を持たれた方々の参加を想定しておりましたが、集客においては武将隊ファン層に依存する形となりました。この点を踏まえ、今後は広報手段を見直し、報道発表や武将隊の SNS 以外の媒体も活用することで、より幅広い層に訴求できる手法を模索してまいります。また、イベント内容についても、ターゲット層に即したプログラム構成を工夫しながら、さらなる参加促進を目指してまいります。		
事　業　名	葵武将隊による 1 日店長企画		
実　施　日 実 施 場 所	6 月 30 日(日)10 時～16 時　カクキュー八丁味噌、まるや八丁味噌 7 月 6 日(土)10 時～16 時 備前屋本店 7 月 20 日(土)10 時～16 時　佐野花火店 8 月 4 日(日)11 時～16 時 オーカジェラート 8 月 20 日(火)9 時～15 時 30 分 おかざき屋 8 月 24 日(土)9 時～15 時 30 分 おかざき屋 8 月 25 日(日)9 時～15 時 30 分 おかざき屋 9 月 30 日(月)10 時～16 時 三州菓子工房 中田屋 10 月 14 日(月祝)10 時～16 時 テラカドコーヒー松本店、テラカドコーヒーNY 店 10 月 26 日(土)10 時～16 時 磯部ろうそく店 11 月 9 日(土)15 時～20 時 発知商店 12 月 21 日(土)9 時 30 分～16 時 おかざき屋 12 月 22 日(日)13 時～16 時　おかざき屋 2 月 24 日(月祝)10 時～16 時 御菓子司 旭軒元直		

概　　要	葵武将隊が岡崎市内のお店にて、1 日店長として、商品販売や接客を行う。各武将とお店のコラボ名刺の配布や店頭に 1 日店長オリジナルロゴステッカーを掲示し、岡崎城公園をはじめとした各店舗との相互送客、およびファンづくりを実施。
自 己 評 価	《参加者の声》 ・店舗に武将がいて驚いた。 ・岡崎城公園とテラカド 2 店舗の周遊がちょっとした旅気分で楽しかった。 ・和ろうそくや三河花火など、岡崎の伝統工芸にふれることができて勉強になった。 ・角打ちという文化を初めて知った。新しいお店や文化を知ることができて楽しかった。 ・岡崎城公園で情報を聞いて備前屋さんへお土産を買いにきた。岡崎旅行の良い思い出になった。 ・岡崎城公園から歩いて行ける距離の店舗だと助かる。 ・カクキューさん、まるやさんの両店舗行ったが、同じ八丁味噌でも各店舗で違いがあり、深く八丁味噌を知れた。 《自己評価》 全日程を通じて派遣された武将がそれぞれの個性を活かしつつ、訪問先店舗の特徴に応じた誠実かつ丁寧な接客を実施することができました。従来のような「見る」「応援する」スタイルに加え、「体験をともにする」「直接接客を受ける」といった新たな交流のかたちが加わり、ご来店のお客様からは大変好評をいただきました。また、本企画を通じて、葵武将隊ファンのみならず、東海オンエアファン、観光客、地元の方々など、非常に幅広い客層との接点を得ることができました。その結果、参加店舗の認知向上はもとより、岡崎市の魅力や葵武将隊の存在を多くの方に知っていただく機会ともなり、大きな成果を上げることができたと考えております。 一方で、来店時間帯の集中による混雑や、それに伴う武将およびスタッフの立ち回りに課題も見受けられました。これらを踏まえ、次年度に向けては以下のような改善策を講じてまいります。 ・実施店舗周辺の立ち寄り推奨スポットを事前に広報し、来店時間の分散を図る ・飲食店を中心に、事前打ち合わせにおいてオペレーションや混雑対応についてのレクチャーを受けることで、現場での連携を円滑にする ・実施店舗との情報共有を強化し、混雑時の対応体制を明確化する 今後も武将隊を有効に活用しながら、新たな参加店舗の開拓にも取り組み、岡崎市全体への回遊促進と地域全体の活性化につなげてまいります。
事　業　名	オクオカコーナーの設置
実　施　日	通年
概　　要	岡崎城公園内の休憩所にて、市内の自然豊かな里山を紹介する「オクオカコーナー」を設置し、パンフレットの設置、オクオカの見どころポスターの貼りだしや動画の放映を行うことで、周遊促進を図る。
自 己 評 価	岡崎城公園内の休憩所において、来園者への情報発信の一環として「オクオカ」の魅力を紹介するパンフレットを設置するとともに、葵武将隊による関連ポスターの掲出および体験動画の放映を行いました。これにより、訪れた方々にオクオカの自然や体験型観光への関心を喚起し、実際に足を運んでいただくきっかけづくりを図ることができました。今後は、写真によるイメージ訴求だけでなく、オクオカの主要スポットや体験拠点の位置関係を視覚的に把握できるよう、地図を活用した情報提供の強化を進めてまいります。それにより、より具体的かつ計画的な訪問を促し、オクオカへの送客を一層促進できるよう取り組んでまいります。
事　業　名	見どころ体験動画の紹介
実　施　日	通年
概　　要	葵武将隊がオクオカ各所の見どころや体験を伝える動画を作成。岡崎城公園内の休憩所および観光スペースにて放映し、オクオカへの周遊促進を図る。
自 己 評 価	オクオカの各施設の皆様に多大なるご協力をいただき、月に 1～2 本のペースで多様な魅力を伝える紹介動画を継続的に制作・放映することができました。これにより、オクオカの自然や体験型コンテンツに対する関心を喚起し、地域への誘客につなげるコンテンツとして、一定の成果を上げることができました。また、当初は岡崎城公園内の休憩所スペースのみでの放映を予定しておりましたが、実施にあたっては観光案内スペースや岡崎市役所内にも放映範囲を拡大することができ、計画を上回る展開を実現しました。今後も各施設との連携を継続しながら、より多くの

	方にオクオカの魅力が届くよう、映像内容の工夫および放映箇所のさらなる拡充に努めてまいります。

⑧　武将を活用した来場者へのおもてなしの充実、新規来場者の獲得に繋がる事業

事　業　名	葵武将隊グレート演武、日常のおもてなし		
実　施　日	通年		
概　　要	土日祝の 11 時と 14 時に二の丸でグレート演武を披露する。毎日 3 人程度の武将が園内案内や写真撮影など、来園者とふれあいながら園内及び岡崎の魅力を発信する。		
自己評価	毎朝 9 時の岡崎城開門に際し、武将による出迎えを実施しました。来場者に対して印象的な第一印象を提供することで、観光体験の質の向上を図りました。常連のファンの方々との交流は、過度に長時間とならないよう時間配分を調整しながら行いました。そのうえで、初めて来場されたお客様にも丁寧におもてなしを行い、より多くの方に満足いただけるよう努めました。演武の開始前には、服部半蔵による“前説”を実施しました。観客の興味を引き付けることにより、演武本編への期待感を高め、より一層楽しんでいただける構成としました。		
事　業　名	葵武将隊派遣	主な派遣先	岡崎市内、保育園・幼稚園等
実　施　日	通年	派　遣　回　数	148 回
概　　要	他所から出演依頼があったときは、公共性や集客力を考慮して葵武将隊を派遣する。		
自己評価	昨年度は、大河ドラマ館関連業務が集中していたため、イベント等への外部派遣対応が難しい状況にありました。しかし本年度は当該業務が終了したことにより、複数の地域イベントへ武将隊を派遣することが可能となりました。地域貢献の観点からも、参加機会が拡大できたことは大変意義深いものと考えております。特に 11 月は気候も良く、地域イベントが集中する時期となりました。そのため、派遣先の調整・采配には細心の注意を払う必要がありましたが、武将隊を分隊体制で運用するなどの工夫により、複数のイベントへの柔軟な対応を実現することができました。		
事　業　名	メンバー再編成		
実　施　日	2 月 22 日(土)14 時～15 時	参　加　者　数	8 人
概　　要	服部半蔵正成をメンバーに加え、子どもや外国人に人気の忍者キャラクターを活用する。		
自己評価	《参加者の声》 ・子どものためのイベント開催ありがとうございました。 ・子どもがすごく楽しめました。 ・またやって欲しい。 《自己評価》 岡崎城公園内を伊賀の山中に見立てて実施した体験型イベント「忍！忍！忍！の日　服部半蔵と伊賀越え RUN！忍！ぐぅ～！」では、服部半蔵をはじめとした武将キャラクターとともに、参加者が遊びながらゴールを目指す仕掛けを通じて、歴史・運動・親子参加を融合させたユニークな企画として好評を博しました。イベントでは、榊原康政による輪投げエリア、井伊直政による謎解きエリア、酒井忠次による玉入れエリア、そしてゴール地点の服部正成による手裏剣エリアと、全 4 エリアを設けました。各エリアをクリアすることで武将からスタンプを受け取り、すべてのエリアを制覇した参加者には、コンプリート特典としてオリジナルの「服部半蔵缶バッヂ」を贈呈しました。当日は、子どもたちが楽しそうに挑戦する姿が多く見られ、それを見守る保護者の皆様からも「参加して良かった」との喜びの声を多数いただきました。イベントを通じて、地域の歴史やキャラクターに自然と親しめるきっかけを創出できたことは、大きな成果と捉えております。また、全国的にも忍者コンテンツは根強い人気があり、特に子どもや訪日外国人観光客からのニーズが高い分野です。今回の取り組みを踏まえ、今年度より復活した服部半蔵のキャラクターを活かしつつ、今後もさらなるイベント展開や体験プログラムの開発を模索し、集客および市全体の魅力向上に努めてまいります。		

<table>
<tr><td>事　業　名</td><td>葵フェスティバル
①　第16回葵フェスティバル
②　第17回葵フェスティバル「神祭ゴッドフェス～神々の帰還～</td><td>利　用　施　設</td><td>①　二の丸能楽堂、二の丸広場
②　二の丸能楽堂、二の丸広場、巽閣</td></tr>
<tr><td>実　施　日</td><td>①　7月21日(日)18時～20時
②　2月23日(日)10時～20時30分</td><td>参　加　者　数</td><td>①　143人
②　1,500人</td></tr>
<tr><td>概　　要</td><td colspan="3">有料公園施設を利用した交流イベント。ここでしか見られない特別なコンテンツを披露する。</td></tr>
<tr><td>自己評価</td><td colspan="3">①第16回葵フェスティバル
《参加者の声》
・楽しかった。
・面白かった。
・泣き笑いのめちゃくちゃ楽しい葵フェスでした。
・暑すぎでした。待っている時間も大変でした。
《自己評価》
服部正成が復活してから初めての開催となりました。連日の猛暑が続く中での実施となり集客面を懸念しておりましたが、予想を上回る 143 人の方々にご参加いただき、盛況のうちに終了することができました。イベントは、V6 の楽曲「愛なんだ」の披露から始まり、服部正成の新たな直垂(ひたたれ)衣装のお披露目、そしてメイン企画として「6 人の団結」をテーマとしたビンゴゲームを実施いたしました。本企画では、9 種のミニゲームを用意し、1 ライン達成で成功、2 ライン目に挑戦するかどうかの判断を迫るスリリングな内容となっており、結果的にはチャレンジ失敗という結末となったものの、ゲーム中は会場が終始笑いに包まれるほどの盛り上がりを見せました。また、今回初めて酒井忠次がメイン MC を務めましたが、打ち合わせ不足や想定外の進行に柔軟に対応しきれず、一部スムーズさを欠く場面も見受けられました。イベント自体は成功に終わったものの、MC のスキルアップは今後の重要な課題と捉えております。物販面では、新たに缶バッジ、生写真 2 種、チェキの販売を行い、特に武将との撮影によるチェキは 200 枚が即完売するほどの人気を博しました。チェキには一部花押入りのレア仕様を加えるなど、ファンの購買意欲を刺激する工夫が功を奏しました。コスト面でも効果的な販促となったことから、今後も写真・チェキを中心とした物販展開を継続・拡充していく予定です。一方で、アンケートからは「猛暑の中での参加が体力的に厳しかった」との声も多数寄せられました。暑さ対策として可能な限りの工夫は行いましたが、まだ改善の余地があると認識しております。今後は、気候に配慮した運営体制の見直しや、より快適な観覧環境の整備に努めてまいります。
③　第17回葵フェスティバル「神祭ゴッドフェス～神々の帰還～」
《来場者の声》
・オープニングイベントからお腹を抱えて笑わせてもらいました。鍋も美味しかったし最後の演武も感動しました。
・市民も参加しやすいイベントだったと思います。譜代だけが対象になりがちな今までの出立式とは異なりみんなが楽しめたと思います。
・神輿に乗って登場するお二方、和太鼓コラボ演武最高でした。岡崎城公園総力を挙げたお祭り楽しかった。
《自己評価》
徳川家康および本多忠勝の“出立式”を兼ねた特別な回として実施いたしました。両名の「これまでお世話になった岡崎市民の皆さまに感謝を伝えたい」「一日を笑顔で楽しめる明るいイベントにしたい」という想いを受け、私たち指定管理者としてもそれにふさわしい内容を企画・構成いたしました。イベント当日は、オープニングおよびエンディングセレモニーを能楽堂にて開催し、会場内では物販ブースやキッチンカーの出店をはじめ、多彩なプログラムを展開しました。特に注目を集めたのが、本多忠勝による鍋の振る舞いです。JA あいち三河女性部様および農遊食堂様のご協力のもと、地元食材(鹿肉・八丁味噌・桑名の筍など)を活用した味噌鍋を用意。本多忠勝本人も打ち合わせや試食、前日の仕込みまで関わり、渾身の一品を提供することができました。来場者からは「臭みがなく、非常に美味しかった」との声も多く、寒空の中で温かい鍋が多くの方々の心と体を温めたように感じております。また、ステージパフォーマンスでは、和太鼓 ZERO 様、人間環境大学付属岡崎高校ダンス部様、funfunfun ダンススタジオ様の 3 組にご出演</td></tr>
</table>

	いただき、華やかで活気ある雰囲気を演出できました。二の丸広場ではチャンバラ大会の開催後、徳川家康・本多忠勝が岡崎神輿連合会様の神輿に担がれて登場するパフォーマンスに続き、紅白餅(和泉屋製)とお菓子(ミカワヤコンフェクト製)の“餅・菓子まき”を実施。多くの親子連れが集まり、場内は歓声と笑顔に包まれました。一方で、想定を超える人出により、会場の混雑が発生し、神輿の動線確保や人流整理に課題が残りました。特に会場整理にあたる人員が不足していたため、今後同規模以上のイベントを開催する際には、十分な人員配置と導線設計を徹底し、安全性の確保に努めてまいります。また、巽閣では家康による作品展「葵神庫」も同時開催し、多くの方に歴史と創作を楽しんでいただくことができました。今回の葵フェスティバルは、市民団体や地域関係者の皆さまのご協力により、「岡崎一体感」を体現するイベントとなりました。大きな反省点もありましたが、多くの笑顔と感謝に包まれた一日となり、今後に向けての貴重な経験を得ることができました。来年度以降も、地域との連携を深めながら、より質の高いイベント運営を目指してまいります。

事　業　名	殺陣体験		
実　施　日	2 月 23 日(日)11 時～12 時	参　加　者　数	60 人
概　　要	殺陣技を披露し、参加者に基本的な殺陣動作を指導する。		
自 己 評 価	《参加者の声》 ・子どもたちが本当に楽しそうで嬉しかった。 ・武将と一緒に戦えて楽しかった。 ・刀の振り方を教えてもらえて嬉しかった。初めて知った。 《自己評価》 より多くの子どもたちに岡崎城公園に親しんでもらうことを目的に企画いたしました。事前告知として、岡崎市内すべての保育園・幼稚園・こども園へチラシを配布し、広く参加を呼びかけた結果、寒波に見舞われた三連休の中日にも関わらず、定員 60 人の枠はすべて埋まり、満員御礼での開催となりました。当日は、葵武将隊・徳川家康公による「武士の戦いとは何か」という導入に始まり、殺陣の基本動作である「正眼の構え」「八双の構え」を丁寧にレクチャー。その後、参加児童を酒井忠次隊・本多忠勝隊・榊原康政隊の 3 チームに分け、チャンバラ大会を実施しました。会場では、真剣に取り組む子どもたちの姿や、武将たちとのやり取りに笑顔を見せる保護者の方々の姿が印象的でした。大会後は、参加賞として全員にお菓子を配布し、さらに優勝チームの子どもたちには葵武将隊全員のサイン入りウレタン剣をプレゼント。勝敗に関わらず、参加者全員が笑顔で会場を後にされました。今回の取り組みにより、これまで岡崎城公園に訪れる機会の少なかったご家族にもご来園いただくことができ、広域にチラシを配布した効果を実感いたしました。保護者の皆さまからも「このような子ども向けイベントを今後も開催してほしい」とのお声を多数いただいており、今後も引き続き、子どもたちが楽しめる魅力的なコンテンツの提供を検討してまいります。寒さのなかでも活気に満ちたイベントとなり、地域のにぎわい創出の一助となったと確信しております。		

事　業　名	プロギング参加
実　施　日	5 月 26 日(日)10 時～11 時 6 月 23 日(日)10 時～11 時 7 月 28 日(日)10 時～11 時 8 月 25 日(日)10 時～11 時 10 月 27 日(日)10 時～11 時 11 月 24 日(日)10 時～11 時 12 月 14 日(土)10 時～11 時 12 月 22 日(日)10 時～11 時 1 月 26 日(日)10 時～11 時 2 月 16 日(日)10 時～11 時 3 月 23 日(日)10 時～11 時
概　　要	運動と美化活動を合わせたプロギングに参加し、地域住民とのコミュニケーションを図る。
自 己 評 価	岡崎城公園周辺の美化活動と運動を目的として実施しました。夏場は熱中症対策として 1 時間早い 9 時 00 分からのスタートとしました。出発前に葵武将隊による勝鬨で士気を上げ、参加者同士団結し無事故で全日程終えることができました。プロギングの目的でもある「街がきれいになな

	る」、「体を動かして健康づくりになる」、「何より楽しい」ことを実体験できるイベントとなりました。
事　業　名	葵武将隊オリジナルグッズ開発
実　施　日	通年
概　　要	葵武将隊をモチーフとした販促品やオリジナル商品を開発する。 ・酒井のぬり絵 ・缶バッヂ(ドットVer、画伯Ver) ・アクリルプレート ・半蔵撮影生写真(9 月～3 月毎月) ・CD「アオイトキ」 ・ピンバッヂ
自 己 評 価	今年度は、武将隊メンバーの特技や個性を活かした新たなオリジナルグッズの開発に取り組み、その成果として、グッズ販売全体の活性化に大きく寄与しました。まず、酒井忠次による描き下ろしの「酒井のぬり絵」は、そのユニークなデザインと親しみやすさから、お子様連れのご家族を中心にご好評をいただきました。また、服部正成が撮影・構成を担当し、9 月より毎月展開してきた「生写真」は特に人気を集め、300 セットがわずか 1 週間で完売するという大きな反響がありました。これにより、武将隊グッズ全体の売上増にも大きく貢献しました。さらに、これまでの定番商品である缶バッヂ、アクリルスタンド、岡崎城で製作しているピンバッヂなども、引き続き安定した販売実績を維持しております。特にアクリルシリーズは、ラインナップの拡充を期待するお声も多く、リピーターの獲得にも繋がっている状況です。今後も、武将隊のキャラクター性を活かしたオリジナルグッズの開発・販売を継続するとともに、季節やイベントに応じた限定商品、SNS との連動企画なども視野に入れ、販売戦略のさらなる強化を図ってまいります。岡崎城ならではの魅力を形にしたグッズを通じて、来園者の満足度向上と収益基盤の安定化に繋げてまいります。

事　業　名	バスツアー歴史ガイド		
実　施　日	1 月 18 日(土)12 時 30 分～17 時	参　加　者　数	6 人
概　　要	バスツアーに武将が添乗し、歴史ガイドを行う。		
自 己 評 価	岡崎市観光協会様のご依頼により、「プレミアム拝観ツアー極・大樹寺」において、徳川家康公が同行し、ご案内を務めさせていただきました。本ツアーは、岡崎ニューグランドホテルでの特別昼食「家康御膳」からスタートし、岡崎城公園の散策および岡崎城のご案内を経て、ジャンボタクシーにて大樹寺へと向かう一日をかけた行程で実施されました。参加者の多くが葵武将隊のファンであり、特に家康公と同席しての昼食は非常に喜ばれ、非日常的な体験にご満足いただけた様子が印象的でした。ツアー全体を通じて、家康公によるユーモアを交えた丁寧な案内により、和やかで笑いの絶えない雰囲気のなか、充実した時間を提供することができたと感じております。今後もこのような特別ツアーを通じて、武将隊の魅力発信および岡崎の観光資源の価値向上に寄与できるよう、引き続き努めてまいります。		

事　業　名	ミステリーツアー		
実　施　日	11 月 7 日(木)14 時～15 時 11 月 14 日(木)14 時～15 時 11 月 21 日(木)14 時～15 時 11 月 28 日(木)14 時～15 時	参　加　者　数	81 人
概　　要	普段は入れないエリアや紹介されていないエリアを武将隊が特別に案内する。		
自 己 評 価	《参加者の声》 ・武将ごとにコンセプトが違って楽しかった。 ・今まで意識したことのない岡崎城公園の楽しさがわかった。 ・平日に清海堀に降りられることがありがたかった。 《自己評価》 今年度も武将による「ミステリーツアー」を実施し、平日開催にもかかわらず合計 81 人もの方にご参加いただきました。既存のファン層に加え、新規のお客様にも多数ご来場いただき、本イベントが広がりを見せていることを実感しております。7 日には酒井忠次が岡崎城公園内に点在する		

	龍の石像をテーマに、21 日には本多忠勝が化け猫伝説や曲輪の構造に焦点を当てるなど、それぞれの武将が独自のコンセプトを持ってツアーを展開。参加者の皆様に新たな視点で岡崎の歴史を楽しんでいただけるよう工夫を凝らしました。また、今回は清海堀ツアーが土日祝に集中していたため、平日に清海堀へ降りることができる本ツアーは、より希少性の高いコンテンツとなり、付加価値を高める要因となりました。ツアー全体を通して、歴史的な学びとエンターテインメント性を両立できたことで、参加者の満足度も高く、好評を得ることができました。今後も武将の個性を活かしたテーマ設定や、参加者のニーズに寄り添った企画運営を意識し、より魅力的なイベントとなるよう努めてまいります。
事　業　名	岡崎の特産品販売
実　施　日	9 月 14 日（土）ぶどう 3 月 30 日（日）いちご
概　　要	岡崎市農林産物ブランド化推進品目（ぶどう、いちごなど）を観光みやげ店おかざき屋で販売し、市内で生産されている農林産物の魅力を広く市内外に PR する。
自 己 評 価	今年度の岡崎の特産品販売は 9 月のぶどう、3 月のいちごの 2 品目を実施しました。 ぶどう・いちごともに観光みやげ店おかざき屋北側園路にテントを設置し、来園者の目を引くよう心掛けました。ぶどう・いちごの販売は数年継続実施しており、毎年購入していただいているリピーターのお客様や当日来園された方が購入していきます。今年度はぶどう販売の日と岡崎歌舞伎公演記念「岡崎城お練り」が重なり予想以上の販売数となりました。また 3 月のいちご販売では桜まつりの最中ということもあり多くのお客様を期待しましたが、あいにくの寒波のなかでの販売となりました。しかし、お客様の反応はよく、ひとりで 3 パック購入される方や「岡崎のいちごはおいしいよね」と話しかけてくれる方もおり、岡崎のいちごの人気がうかがいしれました。 夏のぶどう、春のいちご販売は人気の企画となっており、今後もお客様により満足していただけるよう実施時期や販売個数等を調整し岡崎の特産品 PR に努めたいと思います。
事　業　名	イベント時のキッチンカー招へい
実　施　日	桜まつり ①4 月 1 日(月)～5 日(金) ②4 月 8 日(月)～9 日(火) 全国武将サミット 12 月 15 日(日) 消防出初式 1 月 12 日(日) 葵フェスティバル「神祭ゴッドフェス」 2 月 23 日（日）
概　　要	イベント及び岡崎城公園繁忙時にキッチンカーを招へいし、来園者への利便を図り、賑わいを創出する。
自 己 評 価	本年度は、岡崎おもてなしキャラバン隊に加入する市内のキッチンカー事業者を中心に招致を行い、岡崎城公園内での賑わいづくりに取り組みました。特に桜まつり期間中は、飲食の提供にとどまらず、「ストリートコラボレーションライブ」と題した歌と楽器の演奏を園内各所で実施するなど、来園者の滞在時間を延ばし、回遊性を高める工夫を行いました。これらの取り組みにより、飲食・エンターテインメントの両面から公園内の魅力向上に繋げることができたと考えております。また、市内事業者との連携により地域経済の活性化にも一定の寄与ができたと認識しております。 今後も、季節の特性や各種イベントと連動させながら、来園者の満足度向上と更なる集客に繋がるような企画・運営に努めてまいります。

事　業　名	法被の着用	利　用　施　設	岡崎城公園内
開 催 日 時	3 月 22 日 （土） ～3 月 31 日 （月）	参　加　者　数	約 200 人
概　　要	岡崎城公園で独自に作成した法被を観光客（インバウンドを意識）に貸し出すことにより、来園者のおもてなしをする。		

自 己 評 価	《来場者の声》 ・法被を着て記念撮影できると思わなかったので嬉しかった。 ・法被の絵がかっこよかった。 ・法被の色が斬新だった。 《自己評価》 法被の図柄を構成し、法被を作成しました。色は八丁味噌をイメージしたオレンジとし、図柄の評判も良く、多くの方に着ていただけました。今後も機会があれば実施を検討していきたいと思います。

⑨ その他

事　業　名	インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業		
実　施　日	愛知県主導 OTA 関連モニターツアー(殺陣・甲冑体験) 8 月 29 日(木) 12 月 5 日(木) 2 月 7 日(金) 岡崎市関連 モニターツアー(殺陣・文化体験) 11 月 6 日(水) 11 月 9 日(土) 11 月 20 日(水) 岡崎市関連 台湾向けツアー(簡易甲冑着用・抹茶体験) 1 月 29 日(水)		
概　　要	令和 5 年度に造成した観光コンテンツを基に、インバウンド誘客の推進と地域資源の磨き上げを図る取り組みを実施した。 武将隊による演武や殺陣体験、甲冑体験、抹茶・着物体験など、岡崎の歴史文化を活かした体験型ツアーを通じて、訪日外国人観光客に魅力を発信した。 愛知県主導および岡崎市関連で、今年度に複数回のモニターツアーを実施。英語対応の GPS マップやプロモーション動画の整備、チラシ配布なども行い、受入環境の整備と情報発信に努めた。		
自 己 評 価	《参加者の声》 肯定的な声: ・とても面白かった。ここでしかできない体験だった。 ・武将と一緒に写真が撮れて最高の思い出になった。 ・本物志向の演出で、まるで映画のなかにいるようだった。 ・能楽堂やかがり火の演出が非常に雰囲気があり感動した。 ・撮影された動画がとても良く、記念として家族に見せたいと思った。 改善の声: ・少し時間が長かった。短縮しても良いと思う。 ・練習はそこそこで、撮影メインにしてほしい。 ・甲冑が重すぎる。もっと軽量なものがあれば嬉しい。 《自己評価》 本取り組みにおいては、岡崎の歴史や文化を活かした体験型観光コンテンツとして、一定の手応えを得ることができました。特に、殺陣や甲冑体験といったインパクトのあるアクティビティは、訪日客から高い関心を集めました。参加者による SNS での情報発信など、プロモーション効果も期待できる内容となっており、地域ブランドの向上にも貢献していると感じております。一方で、「甲冑が重すぎる」「体験時間が長い」などの声もありました。リアルさを追求する一方で、快適性や柔軟性への配慮も求められていると感じております。今後は、体験時間の見直し、価格や装備の改良など、満足度を高める改善に取り組んでまいります。		
事　業　名	紙甲冑づくりワークショップ		
実　施　日	7 月 28 日(日) 8 月 11 日(日) 9 月 8 日(日)	参　加　者　数	246 人

	10 月 6 日(日) 10 月 20 日(日) 11 月 24 日(日) 12 月 8 日(日) 1 月 26 日(日) 2 月 9 日(日) 3 月 2 日(日) 3 月 16 日(日)		
概　　要	紙甲冑づくりワークショップを業務として受託し運営を行う。		
自 己 評 価	前年度に引き続き紙甲冑づくりワークショップを受託実施しました。第 4 期目ということもあり岡崎城公園および NPO 祭だワッショイともにスムーズに事業を進めることができました。計 10 日間のスケジュールが組まれていましたが、今年度は思うように作業が進まず計 11 日の実施回数となりました。それでも当日のみの作業では追いつかず、自宅へ持ち帰っての作業となる場合もあったと聞いています。それだけ苦労して仕上げた甲冑には愛着が沸き、お披露目の場が家康行列というのもとてもよい機会だと思いました。このワークショップは多くの参加者を受け入れることはできませんが、歴史に触れ岡崎の郷土愛を醸成していくうえで重要な役割を果たしており、何らかの形で継続して実施していくべき事業と考えます。		
事　業　名	仮設施設活用業務		
実 施 期 間	通年		
概　　要	岡崎城公園内に設置した仮設便益施設を「観光みやげ店おかざき屋」として活用し、観光客のおもてなしに資する施設として引き続き運用することで、来訪者の満足度向上を図るとともに、地域経済の活性化につなげる。		
自 己 評 価	前年度から設置された仮設便益施設にて、引き続き「観光みやげ店おかざき屋」として営業しました。活用実施業務として①土産店運営業務②観光案内業務③観光パンフレット等管理業務④イベント企画・運営業務⑤環境確保を行いました。観光みやげ店おかざき屋を運営することで、岡崎ならではの物産品を PR し、来園者が快適に土産品を購入できるよう努めました。特に仮設便益施設の広さを活かしたイベント企画・運営業務として、4 月 26 日(金)から 11 月 30 日(土)まで、岡崎市観光伝道師である「東海オンエア」の POPSHOP[TOKAI ONAIR OFFICIAL STORE 岡崎公園店]を実施しました。グッズ販売だけでなく、ダーツなどのアミューズメント的な事業も行いました。さらに、店外ではオリジナルポップコーン販売やキッチンカー出店、花時計にキャラクターデザインの植栽などを実施しました。また、8 月 30 日(金)から 11 月 24 日(日)まで開催された、岡崎市観光推進課主催の「隠れオンエアバードを探せ！」においては、受付やコンプリート賞でのプリクラ機対応などに協力し、観光誘客に努めました。12 月 6 日(金)から 1 月 13 日(月祝)までは、岡崎市出身の内藤ルネに関する「内藤ルネデビュー70 周年 POPUP 展」を開催しました。様々なイベントを企画・運営することで、大河ドラマ終了後に市内外からの観光客を集客し、岡崎城公園のにぎわい創出の一助を担えたかと思います。		

(2) 営業活動

1) 営業活動

区分	実績	活動内容	活動日
観光商談会	2 回	「ツーリズム EXPO 商談会」 岡崎市の観光資源を活用した旅行商品の可能性について、複数の旅行会社と商談を行いました。 小団体向けや高齢者向け、高級・リーズナブル両面のニーズへの対応、独自コンテンツの企画、そしてインバウンド市場への可能性について各社と意見を交わしました。特に、武将隊による体験型ツアーや天守ツアー、花火大会など地域資源を活かした提案に一定の関心が見られ、今後のツアー造成に向けたヒントを得ることができました。今回の商談会では、岡崎市の観光資源に対する一定の関心が確認された一方で、既存の魅	9 月 26 日(木)

		力をどのように差別化し、企画として具体化していくことが今後の課題であると感じました。特に、小団体や高齢者向け、体験型コンテンツを取り入れた高付加価値のあるツアー造成のニーズが高まっており、現場で得た声を活かした柔軟な企画提案が今後の鍵になります。各社との連携を強化し、より実現可能な商品化に向けて取り組んでいきたいと考えています。	
		愛知・名古屋観光誘客協議会主催の観光商談会に参加しました。コロナ禍になってからの観光商談会はオンラインで実施されてきましたが、今回は現地(大阪)で対面での実施となりました。やはりオンラインでの商談とは違い、旅行会社の担当者と直接話すことができるためご要望に応えやすいと感じました。今後も旅行会社の要望に応えられるようなコンテンツを提供できるよう努めます。	1 月 24 日(金)
PR活動	3 回	「大阪お城フェス 2024」(ナレッジキャピタルコングレコンベンションセンター) 大阪お城フェス 2024 へは、今回で 3 回目の出展となりました。来場者数は 7,371 人と、昨年に比べ若干減少したものの、多くの方にブースへお立ち寄りいただきました。物販では、昨年に引き続き御城印、タオル、サコッシュ、キーホルダーを販売し、パンフレットの配布やアンケート調査も実施。新たな取り組みとして、金陀美具足の前に軍配を設置し、来場者が記念撮影できるフォトスポットを設けたことで、特に親子連れを中心に好評を博しました。グレート家康公「葵」武将隊は土日の 2 日間にわたり参加。演武やおもてなし、御城印への日付入れサービスなどを通じて、自治体 PR に大きく貢献しました。なかには 5 回以上も列に並ばれる熱心なファンの方もおられ、武将隊の人気の高さを改めて実感しました。配布資料については、岡崎城や岡崎観光を紹介するパンフレット類が 3 日目には全て配布完了となるほど好評で、多くの方に岡崎の魅力を発信することができました。今後もこのようなイベントを通じて、岡崎城および岡崎市の魅力を広く PR し、新たな来訪者の獲得に繋げてまいります。	8 月 10 日(土)～12 日(月祝)
		「お城 EXPO2024」(パシフィコ横浜ノース) 愛知県ブースにおいて、岡崎市観光推進課職員 2 人とともに出展してまいりました。 主な出展内容は、岡崎市及び岡崎城を中心とした観光 PR のパンフレットセットの配布の他、岡崎市及び岡崎城の SNS フォローキャンペーン、特別限定御城印「龍」をはじめとする岡崎城オリジナルグッズの販売、実行委員会による重ね捺しスタンプラリーへの協力(商品提供)を行いました。 用意したパンフレット 2,000 部を配りきり、多くの来場者に岡崎の観光 PR ができたものと思います。 SNS フォローキャンペーンでは、竜神ちゃんエックスは 100 を超えるフォロワーを獲得することができました。 特別限定御城印では、毎回実施している武将隊の徳川家康が日付入れをするサービスが大好評で、今回	12 月 21 日(土)～22 日(日)

		持って行った「龍」の絵は徳川家康自身が描いたものであり、2月に出立を控える最後のサービスということもあって大変多くの方にお買い求めいただくことができました。お城EXPOは全国最大規模のお城イベントであるため、今後も効果的な観光PRの場として積極的に取り組んでまいります。	
		「にっぽん城まつり2025feat.出張！お城EXPOin愛知」(名古屋市中小企業振興会館吹上ホール) 愛知のお城観光推進協議会のブースに出展し、観光PRや物販を行いました。岡崎城・家康館パンフレット、清海堀チラシなど1,000部を袋詰めし、2日間で約1,600部を配布。来場者数は前年度より減少しましたが、配布数や反応から高い関心がうかがえました。物販では、特別限定御城印(2025年桜版)やアクリルキーホルダー、クリアファイルを販売。初日は開場直後から混雑し、御城印を求める列ができるなど盛況でした。2日目には武将3人が交代で花押入り御城印を書くサービスを実施。ファンを中心に複数購入が相次ぎ、用意した550枚は終了1時間前に完売しました。完売後にはオカザえもんのクリアファイルに花押を施し、出張販売としては異例の売上となりました。また、武将隊は両日とも演武を披露。「初めて見たがとても良かった」という声も多く、既存ファン以外からの評価も高く、新たなファン層の開拓に繋がったと考えています。さらに竜神ちゃんエックスフォローキャンペーンを実施。ノベルティをきっかけに多くの方にフォローしていただき、フォロワー数も大幅に増加しました。今後もSNSを活用して岡崎城公園の魅力を広く発信するとともに、商品開発にも来場者のニーズを反映させていきたいと考えます。	3月1日(土)～ 3月2日(日)

(3) 収支状況

1) 収支状況

	項目	内訳	決算額(円)
収入	指定管理料収入		70,189,400
	利用料金収入		0
	事業収入		0
	便益施設に関する収入		5,073,035
	その他収入		9,988,811
収入計			85,251,246
支出	直接管理運営費	直接人件費、光熱水費、消耗印刷費、修繕費、清掃等委託料、保険料等	74,114,529
	(うち光熱水費・修繕費)	※精算項目	(795,400)
	事業費	事業に係る経費	0

	その他	本部経費、当期余剰金等	11,136,717
支出計			85,251,246
差引			0

2)　収支状況に対する自己評価

今年度は、大河ドラマの放映が終了し、いわゆる「アフター大河」期として岡崎城公園全体の来園者数が減少傾向にある中での運営となりました。そのような状況下においても、武将隊の活動に工夫を凝らし、収入の確保と園内の活性化を図ってまいりました。

具体的には、武将隊の写真販売の定期実施や、グッズ入りガチャの導入、有料公演「わし物語」の利用特典の充実、さらには武将の 2 人体制によるサービス提供など、来園者にとっての「お得感」や満足度を高める取り組みを実施しました。また、家康館入館後にガチャを回せるなどの仕組みにより、園内回遊性の向上と家康館の入館促進にも貢献しました。

その事により、便益施設収入が前年の 4,870,144 円から 5,073,035 円へと増加し、厳しい環境下でも一定の成果をあげることができました。一方で、「その他収入」である武将隊遠征による収入は前年の 12,500,104 円から 9,988,811 円へと減少しました。これは「アフター大河」の影響で外部派遣の機会が減少したことが主な要因であると考えます。収入確保のための新たな施策を講じ、収支バランスを意識した運用を心がけたことにより、計画的に執行できたと考えます。

(4) 市民意見の聴取・反映及びセルフモニタリング（利用者アンケート結果）

1)　武将隊認知度アンケート

① アンケート実施概要

実施期間	回答者数	アンケート実施方法
4 月 1 日（月）～3 月 31 日（月）	3,745	岡崎城、家康館、岡崎城公園駐車場にて配布

② 武将隊認知度

項目	知っていた	今回初めて知った	知らない	無回答	合計
回答数	1,359	1,118	1,128	140	3,745
割合	36.3%	29.9%	30.1%	3.7%	100.0%
要望事項					
・もっと市外、県外に来てほしい。					

(5) その他の自己評価

1)　利用者へのサービスに対する自己評価

項目	自己評価
利用案内	岡崎城の開門時には、武将隊による来場者のお出迎えを実施し、来園時からの印象づくりに努めました。また、平日には天守および三河武士のやかた家康館の館内ツアーを実施し、歴史的背景の紹介や見どころの解説を通じて、施設への理解促進と満足度向上を図りました。 さらに、武将の休憩時間を調整することで園内に常時誰かが滞在する状態を維持し、来園者との接点を極力途切れさせないよう運営しました。武将名刺については、特にお子さまや初めて来園された方を中心に配布し、記念性や交流の促進につなげるとともに、武将隊を通じて岡崎の魅力を効果的に発信し、観光施設としての付加価値向上にも寄与しました。

利用支援	土日祝日に実施している武将隊の定例演武や「わし物語」の終了時には、武将による来場者への観光案内を積極的に行いました。具体的には、園内の主要観光ポイントや土産品情報、今後開催予定のイベントについて口頭での PR を行い、来園者の回遊性向上と地域経済への波及を図りました。また、夏季の高温により演武を中止とした際にも、武将が柔軟に対応し、家康館内において展示内容の案内を実施するとともに、観光みやげ店「おかざき屋」ではおすすめ商品の紹介を行うなど、代替サービスの提供に努めました。これにより、急な対応変更時にも来園者への満足度を維持することができました。
安全安心	夏季に実施される「グレート演武」については、熱中症のリスクを考慮し、家康館前の気温が 35 度を超える場合には公演を中止とする運用を行いました。これにより、来場者および出演者の安全を最優先に配慮した対応を徹底しました。今後も気象状況に応じた柔軟な判断を行い、すべての来場者が安心して観覧できる環境づくりに努めてまいります。
情報提供	来場者の混乱を防ぐため、演武中止の判断後は、可能な限り速やかに案内表示や SNS を通じて情報提供を行うよう努めました。

2)　利用者のニーズの把握に対する自己評価

項目	自己評価
利用案内	「わし物語」開催時、会場である二の丸能楽堂は園内でもやや奥まった場所に位置しているため、来園者から場所がわかりづらいとの声が寄せられました。これを受け、武将が園内を練り歩いてイベントの案内や会場への誘導を行うなど、積極的な PR を実施しました。さらに、武将による園内放送をこまめに流すことで、より多くの来園者がスムーズに会場へ足を運べるよう工夫しました。今後も、来園者が迷うことなく目的地へ到達できるよう、わかりやすく親しみのある案内に努めてまいります。
利用支援	全国武将サミットにおいて、聴覚に障がいのある来場者から「手話通訳の配置を希望する」との強いご要望がありました。関係機関との調整を経て、当該イベントに手話通訳者を配置する対応を行いました。その結果、該当の来場者をはじめ多くの方から感謝の声をいただき、イベント全体としての満足度向上にも寄与しました。今後も多様な来場者のニーズに柔軟に対応し、誰もが安心して楽しめる環境づくりに努めてまいります。
安全安心	能楽堂でのイベント実施時、来場者から「甲冑を着用したり模造武器を持ち込んだ子どもが他の来場者と接触し危険である」といったご意見が複数寄せられました。これらの声を真摯に受け止め、イベント時の安全確保を最優先とするため、甲冑および模造武器を着用・携帯した状態での入場を禁止する対応を講じました。今後もすべての来場者が安心して観覧・参加できる環境づくりに努めてまいります。
情報提供	来園者アンケートにおいて、「武将隊の出演スケジュールを早めに知りたい」とのご要望が複数寄せられました。これを受け、スケジュール情報の発信タイミングを見直し、可能な限り早期に公式ホームページへ掲載できるよう努めました。今後も来園者が計画的に来訪できるよう、タイムリーな情報提供を心がけ、ニーズに即した運営に取り組んでまいります。

3)　苦情対応に対する自己評価

主な苦情内容	対応
甲冑を着て武器を持った子どもが会場内にいて危ないから禁止してほしい。	能楽堂で実施した「葵フェスティバル」などのイベント時、入場者に対してドレスコードを設け、甲冑、兜などの着用と、槍や太刀などの持ち込みを禁止しました。
《苦情対応に対する自己評価》 来園者からいただいたご意見・ご指摘については、迅速に内部で検証を行い、可能な限り速やかな対応に努めてまいりました。特に今回の対応に際しては、幼児連れの来園者から新たなご意見が出る可能性も考慮し、お子様にも楽しんでいただけるイベントを実施するなど、必ずフォローを行うよう心がけました。今後も、いただいたご意見を貴重なご提案として真摯に受け止め、より良い運営と来園者満足度の向上に努めてまいります。	

4 奥殿陣屋業務

(1) 事業の実施状況

1) 提案事業等

①岡崎城公園との連携事業

事業名	岡崎城公園との相互割引
実施期間	通年
概要	※P.4 岡崎城公園業務に記載

②北欧風庭園に関する事業

事業名	奥殿ガーデンクラブの運営		
活動日	基本的に毎週火曜日(年 39 回)	登録者数	40 人
概要	北欧風庭園の維持管理。維持管理には体験型事業として市民ボランティアの活用も取り入れる。DIY 体験を楽しめる市民参加型の庭園として、庭づくりを行う。		
自己評価	北欧風庭園の維持管理には、職員以外にボランティア団体「奥殿ガーデンクラブ」を立ち上げ毎週 1 回、花の育成、除草などを行っています。平均 7 人程度参加し、庭園の見せ方、育て方の技術をお互いに高め合っています。休憩時間にはお茶会を開催し、秋にはドライフラワーづくりすることで参加メンバー間の交流を深めています。今後も継続していくため、メンバーは常時募集をしています。		

③ 書院・金鳳亭に関する事業

書院	事業名	団体客受入事業			
	概要	通常は休憩スペースとして利用している書院において、机と椅子を配置することで、団体用の場所を確保する。7 人以上 26 人までの団体を受け入れ可能とする。			
	受入実績	団体数	19 件	人数	272 人
	自己評価	1 日 1 組限定で受入をしました。椅子席を用意し、利用者からはゆっくり食事ができたとのお声をいただけました。			
	事業名	和の雰囲気に合った事業展開(喫茶)			
	概要	和の甘味メニュー(抹茶、抹茶パフェ、ぜんざいなど)を提供する。			
	自己評価	日本庭園を見ながら、抹茶を使用した甘味を提供しました。夏は抹茶を使用したかき氷やアイスクリームで季節の日本庭園(蓬莱の庭)を模した甘味「蓬莱の庭シリーズ」を提供しました。また、東海オンエアのてつやさんのイメージカラーであるオレンジ色を表現した蒲郡みかんかき氷の提供もしました。今後も庭を見ながらゆっくりできる環境と飽きのこないメニューを提供していきます。			
	事業名	和の雰囲気に合った事業展開(事業)			
	概要	抹茶教室の開催、ひな人形展など和の雰囲気の事業を行う。			
	事業数	1 件(ひな人形展示) 別途自主事業として「親子抹茶教室」等を実施			
	自己評価	「ひな人形展示」を実施しました。※イベント実績の項目で記載			
金鳳亭	事業名	ポイントカードの活用			
	概要	リピーターを増やすためにポイントカードを発行する。500 円ごとにスタンプを 1 つ押し、10 個集まったら 500 円の割引券とする。			
	自己評価	金鳳亭・書院合わせて発行枚数は約 3,600 枚、287 回の割引利用があり、前年度より 10 回多くなりました。 割引利用が増加していることから、奥殿陣屋で飲食をされるリピーターが増えたことが伺えます。割引券の利用期間を 6 ヵ月有効にしたことによりポイントを貯めやすくなり、お得感を感じさせる方策が利用増加に繋がったものと考えます。			
	事業名	和の雰囲気に合った事業展開(食事)			
	概要	和を感じるメニューとして、竹の子ごはん、笹ずし、松茸ごはん、五目釜めし、岡崎おうはんの味ごはんという 5 つの定番メニューを季節ごとに提供する。			

	自己評価	日本庭園を眺めながら食べる、季節ごとのメニューは好評であり、ポイントカードの利用状況からもリピーターの獲得に繋がっていると考えます。また、地域連携・地域貢献も考え、地元の食材を積極的に利用しました。 アルコール消毒等の基本的な感染症対策にも注意をしながら営業しました。
	事業名	和の雰囲気に合った事業展開(特別メニューの提供)
	概要	和の季節メニューの提供時期に合わせて、数量限定の特別メニューを提供する。 (竹の子弁当、うなぎ釜めし、鮎釜めし、栗おこわ、麦とろご飯、ぼたん鍋、かも鍋、手づくり豆腐)
	自己評価	季節メニューにあわせて、その時期の食材を使用した特別メニューを数量限定(10～20食)で提供しました。特別メニュー目当てのリピーターの方も増えており、開店と同時に完売になる日も多くありました。今後、原材料費の高騰が進みますが、リピーターの増加や新規客獲得に向けて取り組んでまいります。

④ イベント

事業名	はるまつり ※同時開催「苗の配布」
開催日	4月27日(土)、28日(日)
概要	手づくり市と青空市(野菜販売)を中心に、奥殿陣屋の春を楽しんでいただける様々な内容でお届けする。岡崎市提供の花苗の無料配布も実施。
自己評価	春の野菜販売と庵を活用したワンコ写真展の他、広場では手づくり市を中心に開催しました。オリーブとブルーベリーの苗を配布する緑化木配布会も同時開催しました。奥殿陣屋に咲く春の花木とともにペットの写真を展示するワンコ写真展では沢山の応募があり、ペットと一緒に来園できる施設として認知されていると考えます。広場では小型犬用のドッグランを開設しました。その他、金鳳亭でお食事をされた方限定でアサリのお吸い物を提供しました。 グレート家康公「葵」武将隊の出仕もあり、大勢の来園者に楽しんでいただけました。今後も春の定番のイベントとして実施いたします。
事業名	親子造形センター作品展
開催日	8月2日(金)～9月1日(日)
概要	おかざき世界こども美術博物館内の親子造形センターで作成された風鈴を展示する。
自己評価	他施設との相互連携事業として開催。親子造形センターで作成された風鈴作品を書院で展示しました。涼しげな風鈴の音が館内に響いており、日本の夏を来園された方々に楽しんでいただけたものと考えます。同時に屋外にも風鈴を並べました。風鈴による季節感の創出は好評で、今後も引き続き実施いたします。
事業名	あきまつり
開催日	11月23日(土祝)、24日(日)
概要	手づくり市と青空市(野菜販売)を中心に、秋の実りを楽しんでいただける様々な内容でお届けする。
自己評価	秋の野菜販売と奥殿陣屋で栽培したさつまいもを使用した焼き芋販売、庵を活用したワンコ写真展、手づくり市等を開催しました。野菜販売につきましては地元生産者の野菜もあわせて購入される方が多く、普段から地域の野菜を販売していることのPRに繋がりました。焼き芋販売は好評ですぐに売り切れとなったことから、次回開催時の課題となりました。ワンコ写真展では主に秋の花とともに撮られた自慢のワンコの写真を展示しました。はるまつり同様、小型犬用ミニドッグランを開設してペット連れで来園された方に利用していただきました。ワンコ写真展は季節ごとに開催しましたが、ペットを通じて、奥殿陣屋には異なる魅力があることを発信できました。その他、金鳳亭では特別にお吸い物を豚汁に変更し提供しました。 はるまつり同様、今後も秋の定番として実施します。
事業名	ひな人形展
開催日	2月1日(土)～3月9日(日)
概要	代々奥殿陣屋に展示されているひな人形を展示する。

自己評価	昭和の年代別ひな人形を中心に、吊るし雛や花もちを艶やかに展示しました。市内の手芸作家の毎年変わる「吊るし雛」は、見学が目的の来園者に大変喜ばれています。愛知県内の博物館や資料館 34 施設が連携して行う「ひなまつりスタンプラリー」企画に参加をし、3 館以上回られて奥殿陣屋で景品交換をされた方は 55 人になりました。テレビや新聞に紹介される奥殿陣屋を代表する事業となっています。

2)　自主事業

①　イベント実施事業

事業名	野菜売店
開催日時	通年
概要	詰所横で地元の野菜を中心に販売をおこなう。
自己評価	地産の野菜販売を毎日行っています。基本は無人販売になりますが、春などの繁忙期は有人販売を行っており、季節の花苗や野菜苗なども販売しています。地元生産者とは、毎朝夕の納入時と引き取り時に情報交換を行っています。購入者は地元の方が多いため地産地消の一端を担っていると自負しています。今後も地域発展に貢献できるよう継続して行います。
事業名	展示即売会
概要	様々な手づくり作家等の展示即売会を年間通して開催する。
自己評価	15 団体、192 日の利用がありました。季節にあわせた様々な内容の出店により飽きが来ず、幅広い来園者に楽しんでいただけたと思います。
事業名	「庵」の活用
概要	市民の活動の場として有料で貸し出す。
自己評価	庵を展示即売だけでなく広く利用していただく為に実施しました。利用は 15 件となりました。書の体験会等で利用されました。リピートがある事から、庵の利用価値は高いと認識しています。また、貸し出しのない日は無料休憩所として開放し、来園者の方々に利用していただきました。
事業名	手づくり市
開催日	毎月第 1 日曜日　(4、5, 6、7、10、12、3 月) ※9 月,2 月は雨天中止 8 月、1 月は開催無し
概要	岡崎市近郊の手づくり作家による展示即売会を開催する。
自己評価	季節に合わせた品々が出品されるため、毎月楽しみに来園される方がおられます。天候による中止もありましたが、ワンコグッズ等、来園者の傾向にあわせた出展があり、幅広く楽しんでいただきました。今後も継続的に実施することで集客に結びつく事業となるよう取り組みます。
事業名	骨董市
開催日	毎月第 3 日曜日(6、7、8、10、11、12、1、2 月実施) ※4 月,5 月,9 月,3 月は雨天中止
概要	骨董品の業界団体と連携し、骨董市を開催する。
自己評価 事業名	岡崎市内において定期的に骨董市を開催している場所はなく、来園者から喜ばれています。天候による中止もありましたが、奥殿陣屋の雰囲気とも合っており、毎月継続して行うことで「骨董市も楽しめる奥殿陣屋」として多くの方に認知されています。骨董市を楽しみに来園される方に対して、奥殿陣屋の花木や各施設の魅力を合わせて楽しんでいただける事業としていきます。
事業名	トレッドゴードマーケット
開催日	毎月第 2 土曜日　(4、5、6, 7、9、10、11、12、3 月実施)※2 月は雨天中止、8 月、1 月は開催無し
概要	北欧風庭園での展示即売会を開催する。
自己評価	北欧風庭園を活用する目的で行っているマーケットです。「スウェーデンに学ぶ、自然と遊ぶ暮らし方」をコンセプトに、北欧文化を紹介しながら手づくり作家による作品やお菓子、植物、アンティークなどの展示即売会を開催しました。販売だけでなく、午前と午後の 2 回実施される生演奏は来園者を楽しませています。奥殿陣屋の北欧風庭園を活用していく事業でもあるので、利用者のニーズに応えながら継続実施してまいります。
事業名	和太鼓かがり火演奏会
開催日	年 6 回(4、5、10、11、12、3 月)、第 2 日曜日開催 (午前・午後の 2 回)

概　　要	地元奥殿町発祥の太鼓集団「かがり火」の演奏会を開催する。		
自己評価	継続開催による固定のファンも増えており、毎回 50 人程度の方が観覧されています。力強い和太鼓演奏の音は会場から離れた花ぞの苑や駐車場にも届き、来園者を楽しませています。10 月開催につきましてはグレート家康公「葵」武将隊とともに演奏し、武将隊ファンに知っていただくきっかけとなりました。来園者の増加にも貢献している事業となっており、今後もより多くの方への周知に努めます。		
事業名	じゃがいも掘り体験		
開催日	6 月 8 日(土)、9 日(日)	参加者数	計 130 組
概　　要	奥殿陣屋で育てたじゃがいもの収穫体験を開催する。		
自己評価	《参加者の声》 ・貴重な体験で子どもも大喜びでした、 ・親切に色々なアドバイスをありがとうございました。 ・畑仕事をする機会がないので、貴重な体験でした。		
	《自己評価》 いも掘りを通して土と親しむ自然体験の事業として行っています。天候に恵まれ、予定の 2 日間を計 130 組の方に楽しく体験をしていただきました。初めて参加される方には奥殿陣屋という施設の宣伝にも繋がったものと考えます。天候や獣害等、自然相手で実施に影響が出る事業ではありますが、奥殿陣屋の特性に沿った事業であり今後もニーズを反映させ継続実施していきます。		
事業名	歴史教室		
開催日	①7 月 21 日（日） ②3 月 16 日（日）	参加者数	①17 人 ②16 人
概　　要	地元歴史研究家を講師に招き、奥殿陣屋を中心とした歴史を学ぶ。		
自己評価	《参加者の声》 ・身近な文化財への見方が変わりました。いかに価値があるものかがわかりました。 ・初めての参加です。とてもわかりやすく楽しく受けました。また次回参加しようと思いました。		
	《自己評価》 岡崎の歴史についてわかりやすく面白い講義をすると評判の地元歴史研究家(市橋章男氏)を講師に迎え、伊賀八幡宮や六所神社等、市民が慣れ親しんでいるものの、初めて知ることができる内容を参加者はとても興味深く聞いていました。昼食には金鳳亭の食事をセットに組み入れ、金鳳亭の食事を知っていただく機会にもなりました。地元の歴史と奥殿陣屋の魅力を同時に発信できる場の提供は重要と考えています。		
事業名	奥殿陣屋とペット写真展		
開催日	8 月 17 日(土)～9 月 1 日(日)		
概　　要	奥殿陣屋の風景と一緒に撮ったペット写真展を行う。		
自己評価	書院の廊下に募集した奥殿陣屋で撮影されたペットの写真を展示しました。季節ごとの風景を背景に自慢のペットと撮った写真は書院を訪れる方の目を楽しませました。ペット連れの来園者は多く、ペットと過ごす場所として奥殿陣屋の利用を増加させるための方策として有効であることと考えます。		
事業名	さつまいも掘り体験		
開催日	10 月 5 日(土)、6 日(日)	参加者数	計 183 組
概　　要	奥殿陣屋で育てたさつまいもの収穫体験を開催する。		
自己評価	《参加者の声》 ・とても楽しかったです。ありがとうございました。 ・子どもが大喜びでした。貴重な体験をありがとうございました。 ・スタッフの方が親切で嬉しかったです。		
	《自己評価》 例年受ける獣害に対して柵等の対策を講じ、予定通り実施する事ができました。一部猛暑等により寂しい株がありましたが、参加者に数多く掘り上げてもらう事で満足していただけました。参加者からは「楽しかった」との声をいただくことができました。春のじゃがいも掘り体験と同		

	様、自然相手の事業になりますが奥殿陣屋人気の事業であり、施設のことを知っていただくきっかけになるため、継続実施していきます。
事　業　名	コスモス花摘み体験
開　催　日	10 月 13 日(日)
概　　要	花ぞの苑で咲くコスモスの摘み取り体験を開催。
自己評価	秋の代名詞と言えるコスモスの花摘み体験を実施しました。グレート家康公「葵」武将隊も加わり、親子連れを中心に楽しんでいただきました。コスモスは紅葉と並び秋の奥殿陣屋の見頃のひとつです。コスモスを通して今後もより多くの方へ奥殿陣屋の周知に努めます。
事　業　名	和太鼓演奏会
開　催　日	10 月 27 日(日)
概　　要	和楽器の発表会を開催する。
自己評価	和太鼓家の青木嵩晃氏の演奏や三味線などの和楽器演奏で場を盛り上げられました。青空の下、100 人近い観覧者のなか、かがり火太鼓とは違う力強い太鼓や三味線の演奏など、奥殿陣屋の和にあった催事が実施できました。
事　業　名	細川小学校伝統芸能発表会
開　催　日	11 月 10 日(日)
概　　要	地元細川小学校の郷土芸能クラブによる三河万歳・チャラボコの発表会を開催する。
自己評価	地元小学生が郷土芸能の継承を目的に活動をし、奥殿陣屋で発表をしていただいています。子どもたちにとって良い発表の場となり、保護者をはじめ多くの来園者の前で活気ある発表会を行うことができました。数少ない郷土芸能の発表会であり、利用者の増加にも繋がっております。
事　業　名	干支土鈴プレゼント
開催期間	1 月 4 日(土)
概　　要	年始の営業初日に金鳳亭でお食事された方に干支土鈴をプレゼントする。(100 人限定)
自己評価	新年最初の営業に配布している干支土鈴ですがこれを楽しみに集められている方もおられ、今年度も初日で配布終了となりました。奥殿陣屋の新年恒例イベントとして周知されており、話題性も高く、リピーターをはじめとする集客にも繋がっています。
事　業　名	七草がゆ
開　催　日	1 月 7 日(火)
概　　要	新春の 1 月 7 日に春の七草の入ったお粥を金鳳亭で販売する。
自己評価	春の七草を使用したお粥を販売しました。今年度は平日開催にもかかわらず 133 人の方に食していただきました。無病息災を願う毎年恒例の事業です。引き続き継続いたします。
事　業　名	親子抹茶教室
開　催　日	3 月 23 日(日)　　参加者数　17 組
概　　要	玄々斎宗室(裏千家 11 代家元)から受け継がれる茶道淡交会員を講師に、親子でお抹茶を楽しんでいただく。
自己評価	《参加者の声》 ・日本の伝統、お作法まで教えていただき、良い経験になりました。ありがとうございました。 ・茶道のことが少しわかってきました。春休みのよい思い出になりました。 ・厳しくなく、楽しく学べるような心遣いで、小さな子どもも楽しめました。
	《自己評価》 淡交会会員の方々の指導の下、親子でお茶の作法を学んでいただきました。子どもが点てたお抹茶を親がいただく流れを通し、子どもの真剣に学ぶ姿とあわせて親御さんも一緒に勉強する良い機会が提供できました。地元奥殿から輩出した偉人について茶道体験を通して知っていただく機会にもなるので、今後も継続する事業としていきます。
事　業　名	淡交会茶会
開　催　日	3 月 30 日(日)
概　　要	玄々斎宗室(裏千家 11 代家元)から受け継がれる茶道淡交会によるお茶会を開催する。
自己評価	地元奥殿から排出した偉人について茶道体験を通して知っていただく機会として、約 200 人

	と多くの方に参加していただきました。今後も継続して事業を行っていきます。

3)　その他

グレート家康公「葵」武将隊を 1 日代官として出仕し、来園者のおもてなしや体験イベントを実施しました。初めて奥殿陣屋へ来るファンも多く、新規来園者の獲得と市内回遊のきっかけになったと思います。今後も継続実施いたします。

(2) 施設の利用状況

1)　利用状況

	実績		増減	
	R6 年度	R5 年度	%	
来園者数(人)	76,253	76,469	99.7	△216
売上金額(円)	32,394,595	33,738,596	96.0	△1,344,001

2)　利用状況に対する自己評価

当施設が公の施設としての役割を果たすとともに、憩いの場所として安全・安心に利用できる施設を目指し管理してきました。金鳳亭・書院につきましては今までどおりの営業に戻しつつも、感染症対策は継続し、お客様の入れ替わる都度アルコール消毒薬で清拭することや手洗いの徹底など実施しました。来園者の減少につきましては、NHK 大河ドラマの影響が落ち着き減少したものと考えます。

今後も奥殿陣屋のPRのため各種広報やメディアを積極的に活用しながら、ホームページやSNSでは最新の情報を発信し、地元だけではなく、遠方からの来園者へのアピールを強化し、年間を通して来園者を増やすべく利用促進を図ってまいります。

(3) 収支状況

1)　収支状況

	項目	内訳	決算額(円)
収入	指定管理料収入		57,581,767
	利用料金収入		76,530
	事業収入		0
	便益施設に関する収入	売店収入、自動販売機収入	123,427
	その他収入		32,194,638
収入計			89,976,362
支出	直接管理運営費	直接人件費、光熱水費、消耗印刷費、修繕費、清掃等委託料、保険料等	80,606,616
	(うち光熱水費・修繕費)	※精算項目	(5,128,767)
	事業費	事業に係る経費	0
	その他	本部経費、当期余剰金等	9,369,746
支出計			89,976,362
差引			0

2)　　収支に対する自己評価

食事処の金鳳亭・書院の売上が主となります。収入につきましては、32,394,595 円となり、前年度 33,738,596 円に対して 96.0%、1,344,001 円の減収となりました。

理由といたしまして、NHK 大河ドラマ「どうする家康」放送終了に伴う観光客の減少と考えます。奥殿陣屋の持つ落ち着いた雰囲気のなかでの季節に沿った食事や喫茶を楽しめる魅力を積極的に発信し、増加に努めます。

支出につきましては、飲食部門は食材費の物価高騰がありましたが廃棄ロスも意識した仕入れをすることで経費の削減に努めました。施設管理については、関係法令や業務水準書を遵守したうえで業務の直営作業を積極的に進めることで効率的な業務の実施を図りました。

(4) 市民意見の聴取・反映及びセルフモニタリング（利用者アンケート結果）

1)　　実施概要

実施期間	回答者数	アンケート実施方法
7 月 2 日(火)～8 月 31 日(土) 2 月 1 日（土）～2 月 28 日（金）	361 人	金鳳亭・書院の利用者に職員が記入をお願いする。

2)　　アンケート結果概要

①属性

	項目	市内	市外	無回答	合計
①住所	回答数	124	237	0	361
	割合(%)	34.3	65.7	0	100

	項目	19 歳以下	20～30 代	40～50 代	60～70 代	80 歳以上	無回答	合計
②年齢	回答数	18	45	100	177	21	0	361
	割合(%)	5.0	12.5	27.7	49.0	5.8	0	100

	項目	男性	女性	無回答	合計
③性別	回答数	128	233	0	361
	割合(%)	35.5	64.5	0	100

	項目	初めて	2 回目	3 回目以上	無回答	合計
④来園回数	回答数	108	31	222	0	361
	割合(%)	29.9	8.6	61.5	0	100

② 調査結果

⑤スタッフの対応	項目	大変良い	良い	普通	悪い	非常に悪い	無回答	合計
	回答数	208	127	26	0	0	0	361
	割合(%)	57.6	35.2	7.2	0	0	0	100
⑥施設の状態	項目	大変良い	良い	普通	悪い	非常に悪い	無回答	合計
	回答数	158	167	36	0	0	0	361
	割合(%)	43.8	46.3	9.9	0	0	0	100
⑦施設の安全性	項目	大変良い	良い	普通	悪い	非常に悪い	無回答	合計
	回答数	126	179	55	1	0	0	361
	割合(%)	34.9	49.6	15.2	0.3	0	0	100
⑧トイレの衛生	項目	大変良い	良い	普通	悪い	非常に悪い	無回答	合計
	回答数	78	146	132	5	0	0	361
	割合(%)	21.6	40.4	36.6	1.4	0	0	100
⑨メニュー内容	項目	大変良い	良い	普通	悪い	非常に悪い	無回答	合計
	回答数	136	177	46	2	0	0	361
	割合(%)	37.7	49.0	12.7	0.6	0	0	100
⑩土産商品内容	項目	大変良い	良い	普通	悪い	非常に悪い	無回答	合計
	回答数	59	148	150	4	0	0	361
	割合(%)	16.3	41.0	41.6	1.1	0	0	100
⑪交通の利便性	項目	大変良い	良い	普通	悪い	非常に悪い	無回答	合計
	回答数	37	115	176	32	1	0	361
	割合(%)	10.2	31.9	48.8	8.8	0.3	0	100
⑫駐車場の利便性	項目	大変良い	良い	普通	悪い	非常に悪い	無回答	合計
	回答数	57	118	161	24	1	0	361
	割合(%)	15.8	32.7	44.6	6.6	0.3	0	100

⑬寛げたか	項目	大変良い	良い	普通	悪い	非常に悪い	無回答	合計
	回答数	203	121	37	0	0	0	361
	割合(%)	56.2	33.5	10.3	0	0	0	100

記述回答	評価事項	要望事項
	・季節ごとの食事、催事、ほどほどの混み具合が落ち着けて気持ちいいです。 ・初めて来ましたが、静かで落ち着いた時間が過ごせました。 ・のんびりくつろげて最高でした。駐車場が広くて、車にも安心です。 ・スタッフの方の笑顔にいやされました。いちごのかき氷美味しかったです。	・男女一緒のトイレは使用したくない。 ・トイレの便座が冷たい。ウォシュレットもあるといい。 ・以前よりも市の予算が少ないと感じます。皆さん頑張っていると感じるので、市の助力を検討願います。

3)　利用者アンケートに対する自己評価

◆金鳳亭

食事の提供を主な目的としている金鳳亭では、特別感のある限定メニューや年間を通し四季折々の季節に合ったメニューを提供することで、リピーターをはじめ、奥殿陣屋に来ていただいた方々に満足していただいたものと考えます。トイレに関する要望につきましては改善の必要性を感じています。来園された方が「また来たい」と言っていただけるような食事の提供とサービスの向上を今後も続けてまいります。

◆書院

静かで落ち着いた雰囲気が好評であり、書院から見える日本庭園については、年 2 回の池清掃や定期的な苔の除草を実施するなど、その美しい庭園を維持できるよう細心の注意を払って管理しています。コイの餌やりはお子様連れの方々に喜ばれています。書院のメニューは和に合わせて提供しており、抹茶を中心に甘味メニューの充実、夏季限定のかき氷等の季節限定メニューなどを提供しニーズに応えるように取り組んでいます。職員の接遇含め、癒しの場を提供できるよう努めます。

(5) その他の自己評価

1)　利用者へのサービスに対する自己評価

項目	自己評価
利用案内	接遇意識の向上に努めています。常に爽やかな対応を心がけ、利用者の目線に立った接客に努めてきました。園内表示につきましては、奥殿陣屋の四季の写真の掲示や花の資料配布に加え、花ぞの苑にフォトスポットの設置をすることで、来園者が楽しく写真撮影ができる場を提供しました。園内看板につきましては劣化具合を都度確認し、必要に応じて手直しや内容の更新を行いました。
利用支援	奥殿陣屋はバリアフリー化が進んでいない為、高齢者や体の不自由な方々の来園に対してはそれぞれの状況に応じた対応を取りました。臨時乗り入れ案内や誘導、車椅子貸し出しや職員による車椅子の移動補助を行いました。引き続き全ての来園者が満足できるよう支援に努めます。
安全安心	日々の園内巡視による異常の早期発見と改善をすることで「安全・安心」な施設の維持に努めました。木で作られた柵や階段など補修、取替を順次進めています。異常を発見した場合には、必要に応じて一時的な安全対策を行ったうえで、緊急度に応じた修繕を実施しました。また、村積山登山道につきましても、登山者への聞き取りと職員による直接確認を行い、危険木発見時には市へ報告を行いました。

情 報 提 供	各種メディアへ奥殿陣屋の見どころを発信し、紹介されるよう努めました。取材や撮影に対しては積極的に協力し、「干支葉ボタン」等をテレビや新聞で取り上げていただきました。お出かけナビやSNS（フェイスブック・インスタグラム）等の情報更新に力を入れ、季節の花々などの奥殿陣屋の魅力を発信することで利用促進を図りました。

2)　利用者のニーズ把握に対する自己評価

項目	自己評価
施 設 管 理	安全安心な施設を提供するために園内巡視と来園者からの声を重視し、危険の早期発見に努めました。軽微な補修は可能な限り直営で行い、迅速な対応と安全・安心な施設を提供してきました。その結果、事故発生をゼロにできたものと考えます。
事 業 運 営	「はるまつり」「あきまつり」では苗木の配布、ワンコ写真展、野菜販売等を通して奥殿陣屋の魅力を幅広い年代に知っていただき、施設の付加価値を高めました。「手づくり市」、「骨董市」、「トレッドゴードマーケット」「かがり火太鼓演奏会」など定期的に行うイベントに加え、「歴史教室」「親子抹茶体験」等、奥殿陣屋の特色を活かした事業やイベントを企画実施してまいりました。また、グレート家康公「葵」武将隊 1 日出仕により、武将隊ファンの奥殿陣屋来園のきっかけづくりと市内周遊を図りました。登山者に対しては「村積山ウォーキングマップ」を積極的に配布し、未経験者には登山道の紹介を行いながら奥殿陣屋でひと休みしていただけるようアピールをしました。おでかけナビやSNSを利用した季節ごとのお花情報やイベント情報を常に最新でお届けできるよう更新に努めました。

3)　苦情対応等に対する自己評価

主な苦情内容	対応
報告すべき苦情はありませんでした。	―
《苦情対応に対する自己評価》 「安全・安心な施設の提供」を常に意識した管理運営を行った結果、報告すべき苦情を受けることはありませんでした。高齢の来園者が多いため、園内での斜面や高低差、段差などの意見は引き続き受けております。危険については軽微であっても見落とさず適切な処置に努めました。ご意見をいただいた方には丁寧に説明し、必要に応じサポートすることで納得していただくように取り組みました。	